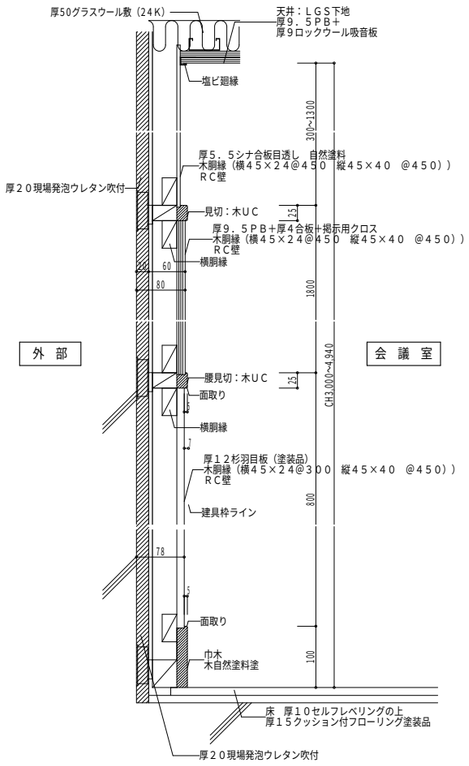
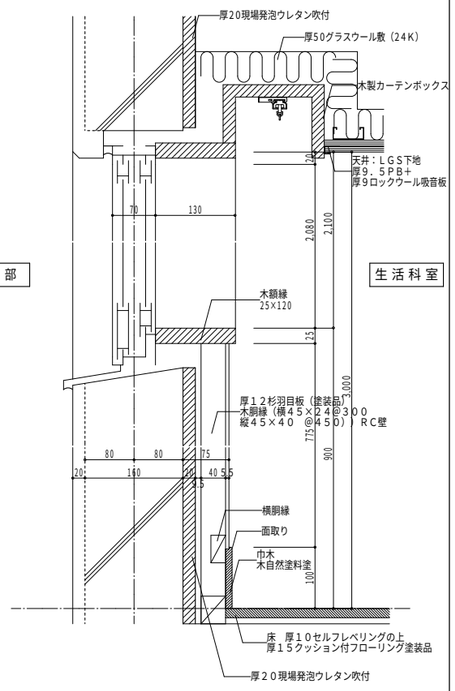
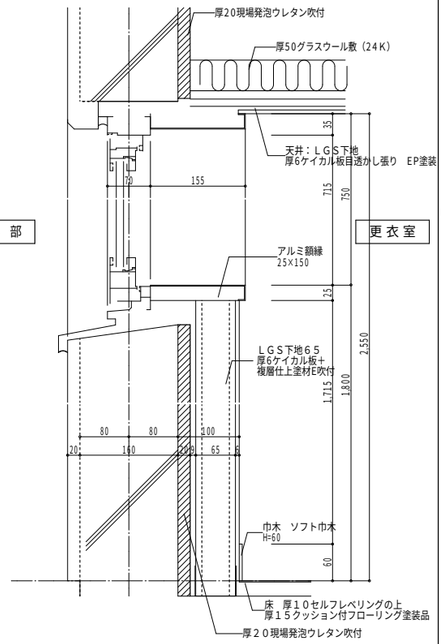
A部　会議室壁納まり詳細図　S＝1／5



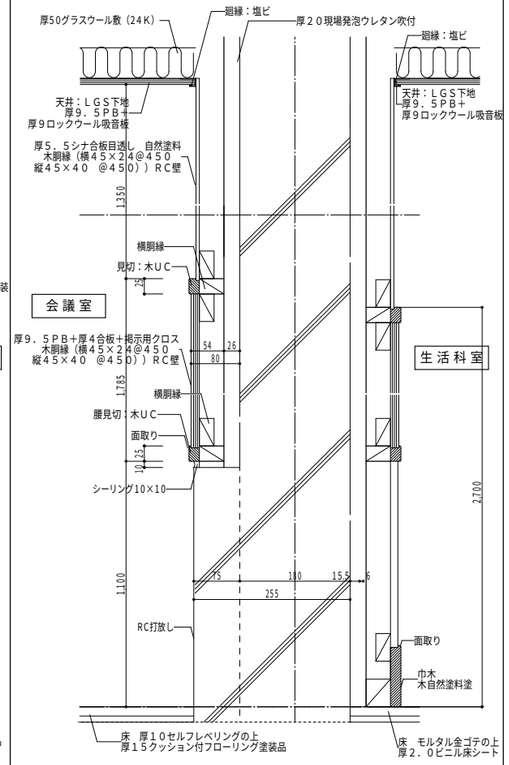
B部　生活科室壁納まり詳細図　S＝1／5



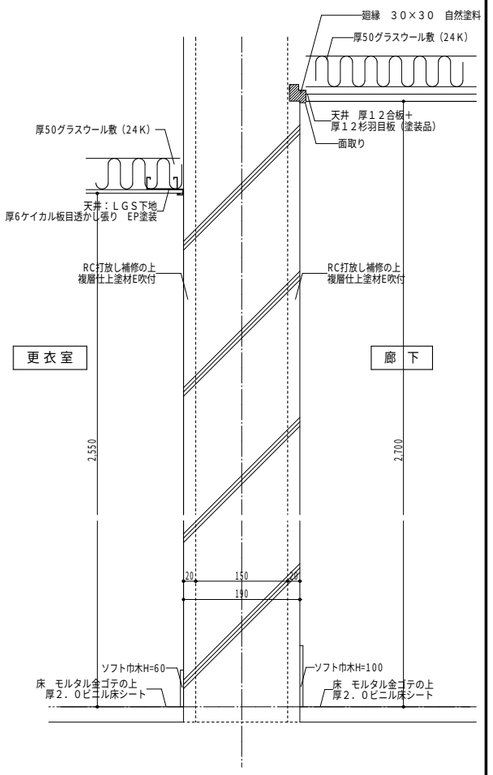
C部　更衣室壁納まり詳細図　S＝1／5



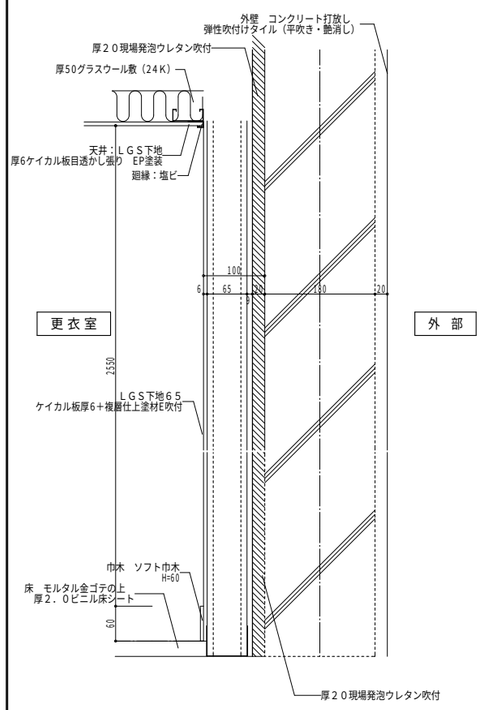
D部　生活科室壁納まり　S＝1／5



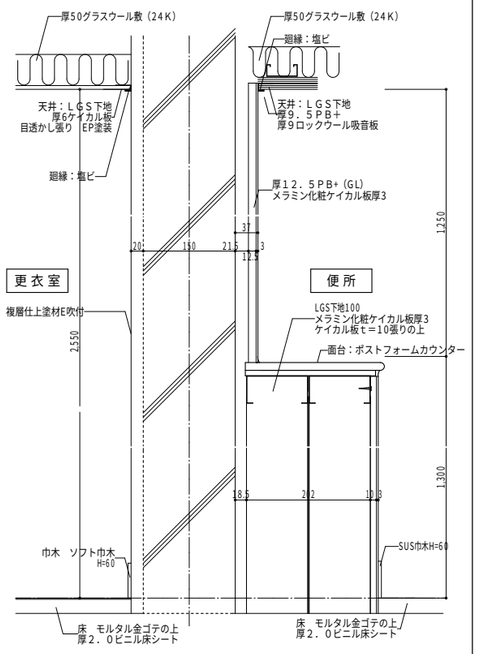
E部　更衣室壁納まり詳細図　S＝1／5



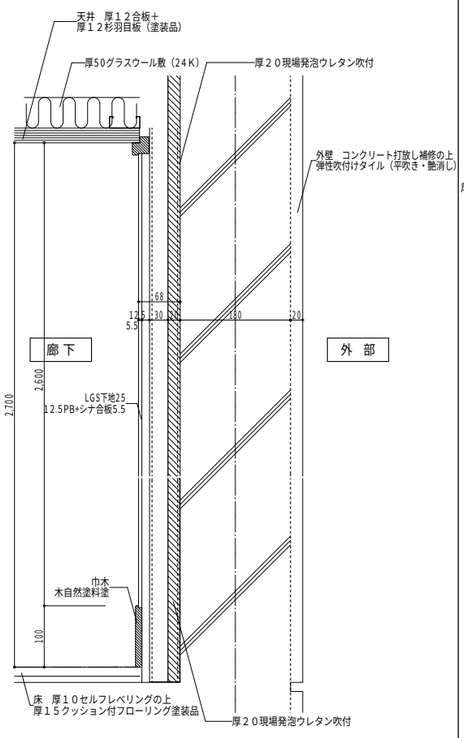
F部　更衣室壁納まり詳細図　S＝1／5



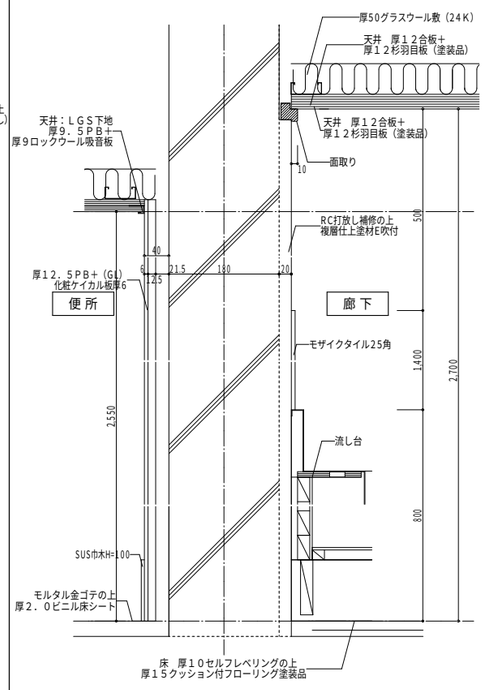
G部　トイレ壁納まり詳細図　S＝1／5



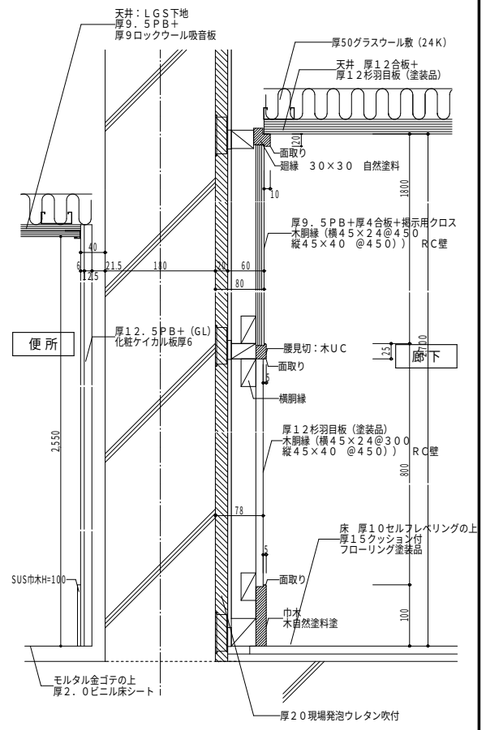
I部　廊下壁納まり詳細図　S＝1／5



J部　廊下壁納まり詳細図　S＝1／5



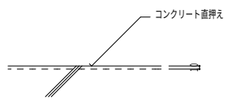
K部　玄関壁納まり詳細図　S＝1／5



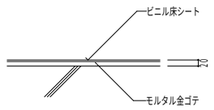
※注記

株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号　１４３３７９　伊藤　公	工事名 井田川小学校校舎増築等工事	設計番号
日付 2020.2.12	1級建築士登録番号　３１７９７６　太田　武志	図面名 校舎棟　雑詳細図 - 2	縮尺 A3:1/10 / 図面番号 A - 32

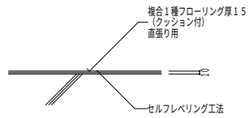
F－1　コンクリート直押え、塗床等　S＝1／10



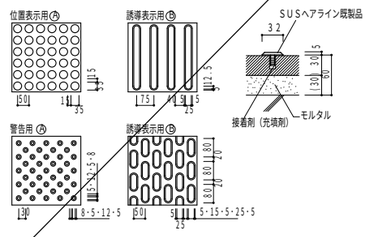
F－2　ビニル床シート、ビニル床タイル、合成ゴム成形タイル貼　S＝1／10



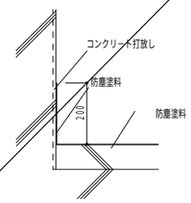
F－3　クッション付フローリング　S＝1／10



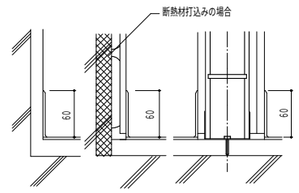
F－4　視覚障害者用誘導鋲　S＝1／10



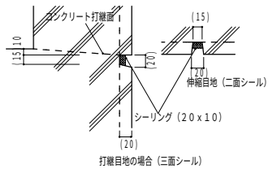
H－1　コンクリート打放し防塵塗料巾木　S＝1／10



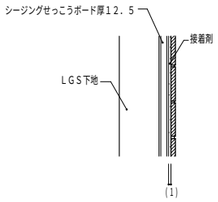
H－2　PVC巾木　S＝1／5



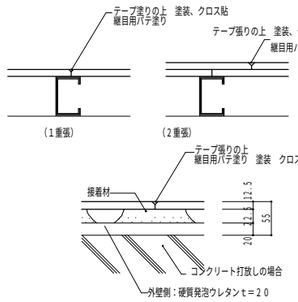
W－1　コンクリート打放の上塗装など（内外共）　S＝1／5



W－2　タイル直貼工法（接着材貼）　S＝1／5

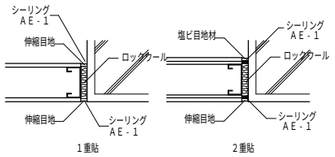


W－3　ボード類の上塗装クロスなど　S＝1／5



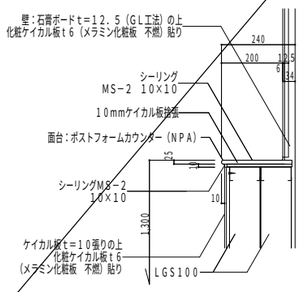
塗装・クロス貼等

W－4　壁異種下地の場合　S＝1／5

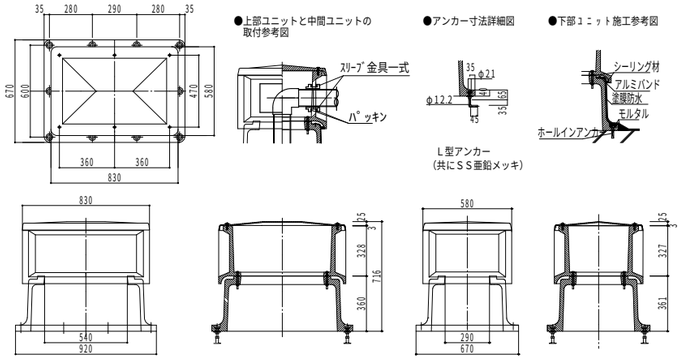


仕様	ロックウールは40kg／mとする
場所	
備考	図示

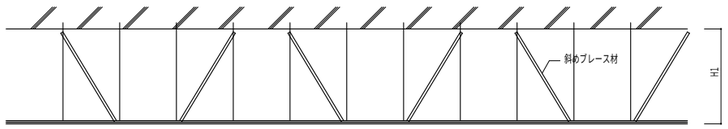
W－5　WC小便器　面台　S＝1／10



ハト小屋詳細図　S＝1／20



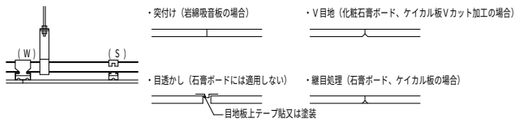
C－1　天井下地（振れ止め斜めブレース）　S＝1／5



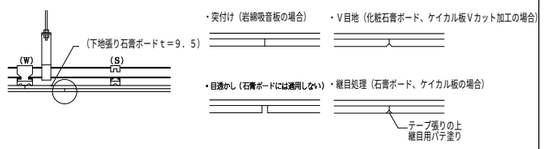
H1	1300以下	1500以下
斜めブレース材	L-40x40x3	[-60x30x10x1.6

仕様	斜めブレース材はXY方向共に12.5m以内ごとに一対設けること
場所	スラブ天井間が1300を超える部分
備考	照明器具・設備その他天井に設置する物は、別吊り、別ブレースを設ける

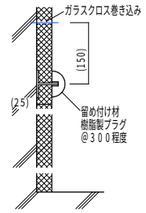
C－2　ボード類（下地張のない場合）の上塗装・クロス張など　S＝1／5



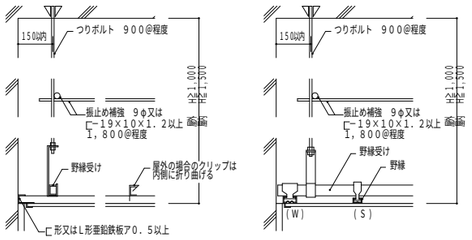
C－3　ボード類（下地張のある場合）の上塗装・クロス張など　S＝1／5



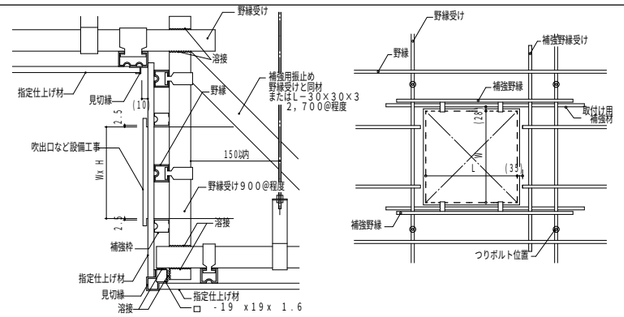
W－6　グラスウール吸音板ガラスクロスt＝25　S＝1／5



C－4　軽量鉄骨天井下地補強、下り壁、天井、点検口　S＝1／5

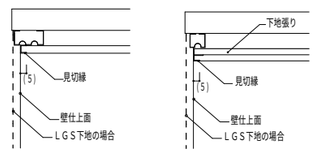


天井下地がH1.5m以上の（2階倉庫）天井下地に用いる

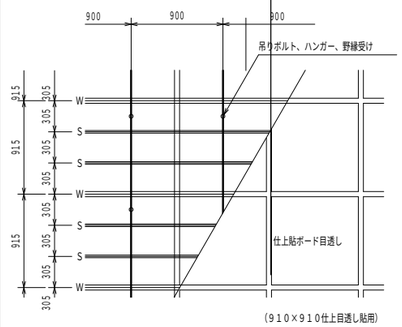


仕様	内部仕上表に依る・電気亜鉛メッキ（亜鉛の付着量120g／m）
場所	
備考	

C－5　廻縁　S＝1／5

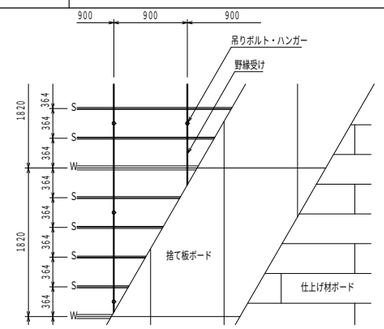


C－6　LGS天井下地詳細図－1　S＝1／30



（910×910仕上目透し貼用）

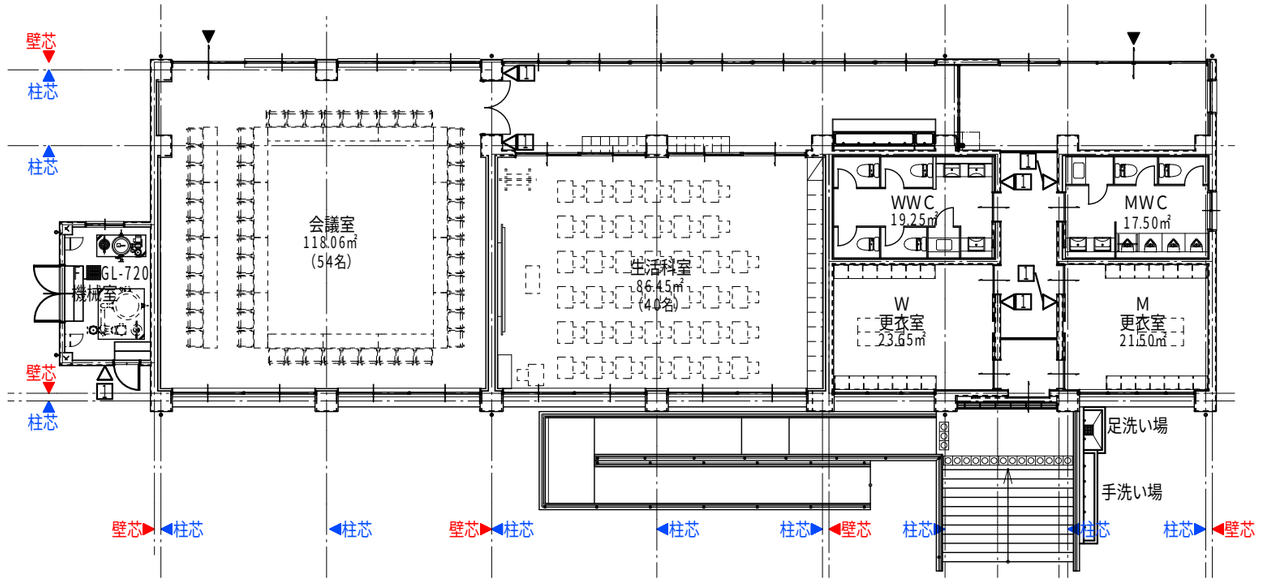
C－7　LGS天井下地詳細図－2　S＝1／30



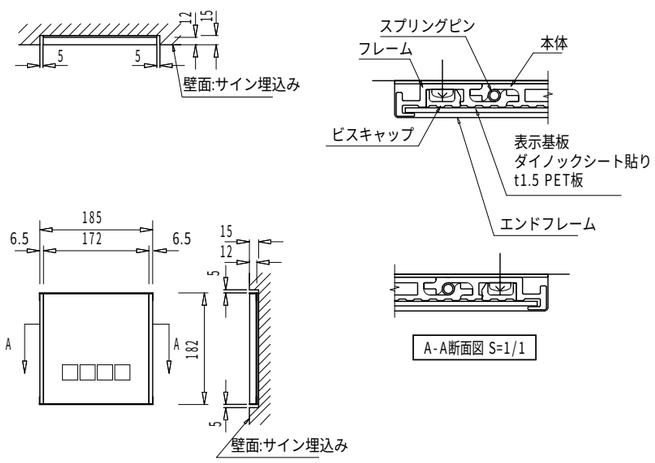
（910×1820直貼用）

株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号 143379 伊藤 公 1級建築士登録番号 317976 太田 武志	工事名 井田川小学校校舎増築等工事	設計番号
日付 2020.2.12		図面名 校舎棟　雑詳細図－3	縮尺 A3:1/10 / 図面番号 A－33

キープラン



1	室名サイン（平付）	S=1/5	7ヶ所

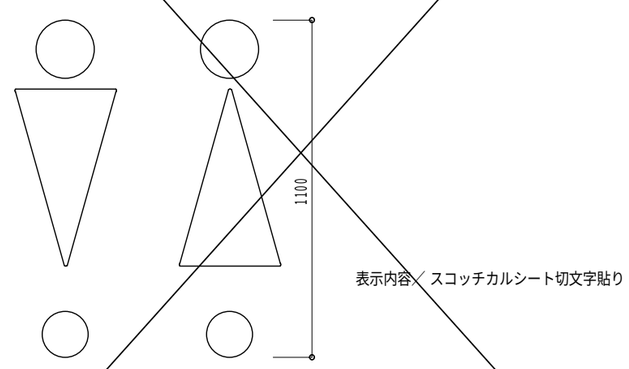


表示基板／ t1.5 PET板（クリア、片面マット）
表示基板／ ダイノックシート貼り

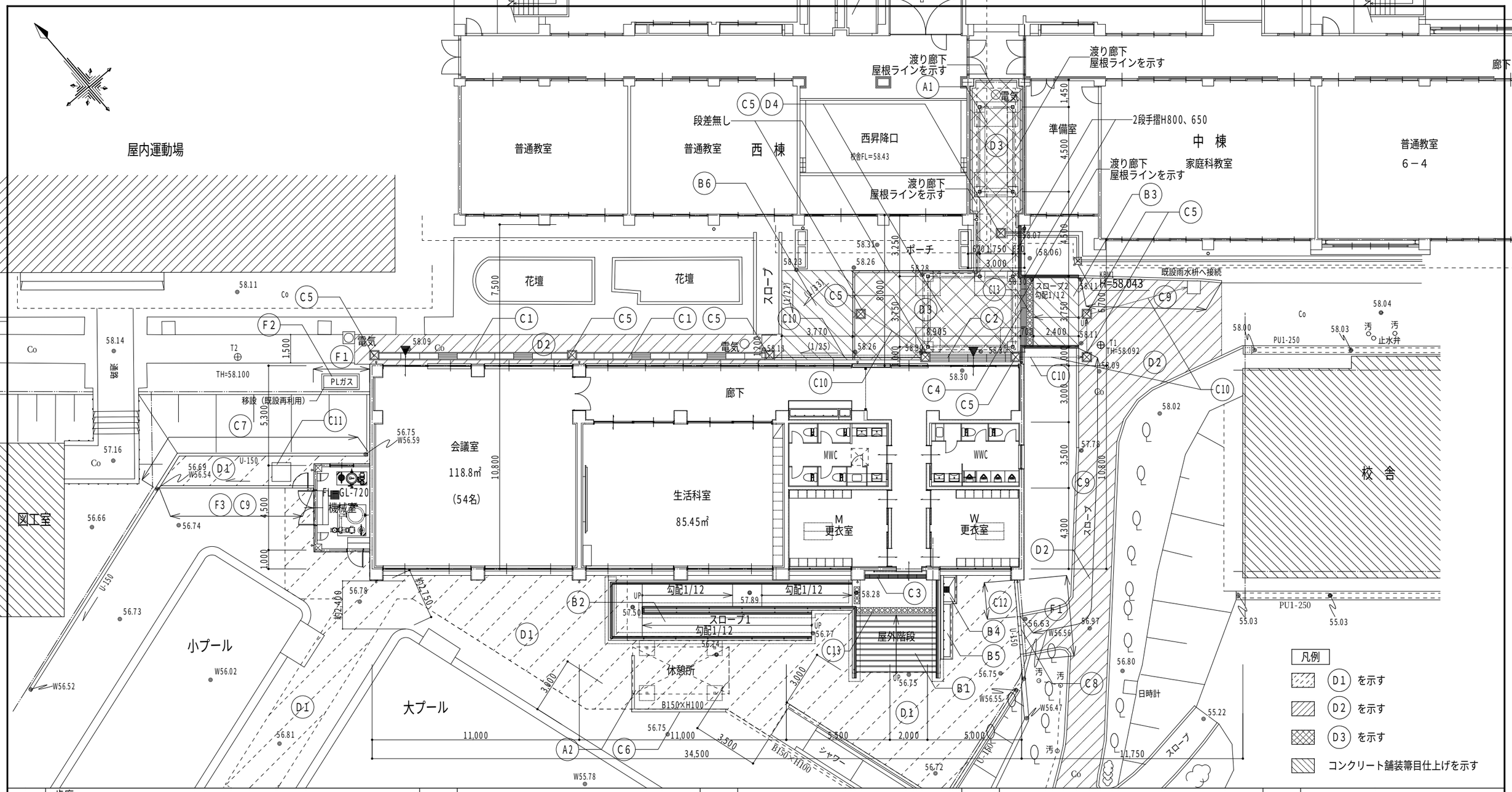
壁固定／ ナベタ ッピンネジ（呼び4）
　　躯体の状況に応じた固定方法とすること。
※表示基板の取外しは専用キーを使用します。

本体／ アルミ押出形材（アルマイトシルバー、クリア塗装）
フレーム／ アルミ押出形材（アルマイトシルバー、クリア塗装）
表示内容／ スコッチカルシート貼り、インクジェットシート貼り
ビスキャップ／ EVA成形品（ナチュラル色）
エンドフレーム／ アルミ押出形材（アルマイトシルバー、クリア塗装）

2	ピクトサイン	S=1/5	1ヶ所

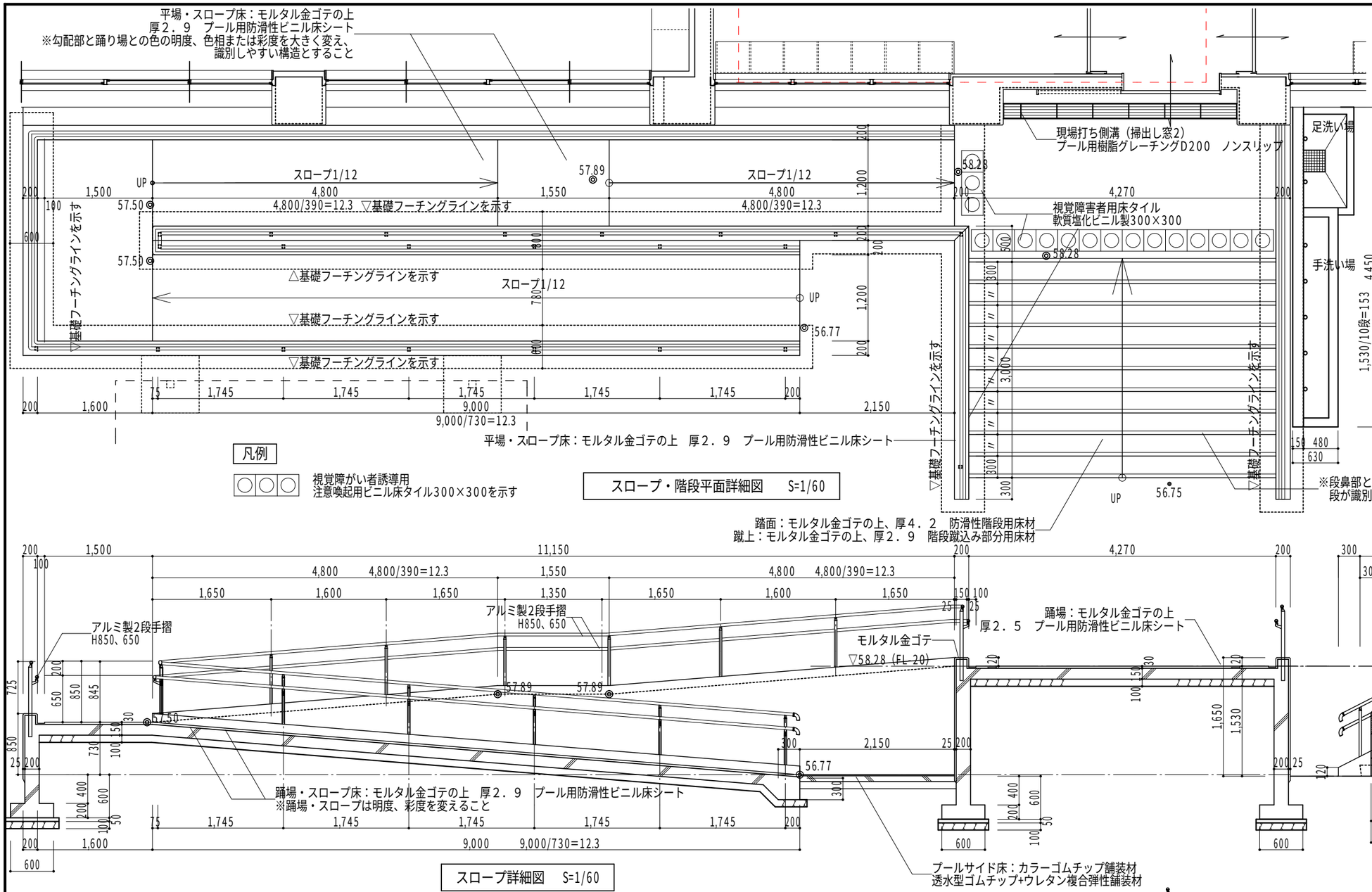


株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115				1級建築士登録番号 143379 伊藤 公	工事名 井田川小学校校舎増築等工事		設計番号
日付				1級建築士登録番号 317976 太田 武志	図面名 校舎棟 サインキープラン・サイン詳細図	縮尺 A3:1/100	図面番号 A-34
2020.2.12							



A1	歩廊 鉄骨造　鉄骨ＤＰ塗 屋根：厚０．８カラーガルバリウム鋼板　ルーフデッキ　Ｈ８８	B5	コンクリート製手洗い場 ２５角モザイクタイル仕上	C5	現場打ち集水桝 スチール製細目ノンスリップグレーチング	C11	受水槽基礎　W1,500×D1,500×H150 ワイヤーメッシュ6φ@100	D4	ウッドデッキ点検口
A2	アルミ製シェルター　W5120×D2500 アーキラインシェルター　AR-F型 900N/m2　両支持仕様 W25 H25 屋根材ポリカボネート板 2.0t　（LIXIL）同等品	B6	コンクリート舗装箒目仕上にて擦付け（勾配1/25以下）	C6	現場打ち側溝（プールサイド）B150×H100 ゴム製側溝蓋　既設再利用	C12	コンクリート縁石　150×200	F1	既設メッシュフェンスH=1200、門扉再設置 ※既設基礎再利用
B1	屋外階段 踏面：モルタル金ゴテの上　厚４．２　防滑性階段用　蹴上厚　2.9　H=153 専用段鼻：ノンスリップシート　アルミ製2段手摺H850、650	C1	現場打ち側溝（北側） コンクリート蓋、一部スチール製 細目ノンスリップグレーチングD300	C7	既設Ｕ－１５０　底打ちレベル調整	C13	視覚障害者用床タイル 軟質塩化ビニル製300×300	F2	PLガス基礎　※ガス庫既設再利用 ワイヤメッシュφ150
B2	スロープ1 踊場・スロープ床：モルタル金ゴテの上　厚２．９　プール用防滑性ビニル床シート アルミ製2段手摺H850、650	C2	現場打ち側溝（掃出し窓1） ステンレス製ノンスリップ縦目細目グレーチングD350	C8	Ｕ－１５０	D1	弾性モルタル（ゴムチップ）厚20プライマーの上 木ゴテ仕上げ　コンクリート厚80　FC=21　SL=15 ワイヤーメッシュ6φ150×150　再生砕石材厚100	F3	メッシュフェンスH=1800 門扉設置
B3	スロープ2 スロープ床：コンクリート舗装箒目仕上 アルミ製2段手摺H850、650	C3	現場打ち側溝（掃出し窓2） プール用樹脂グレーチングD200　ノンスリップ	C9	地先境界ブロックＡ型	D2	コンクリート舗装復旧　コンクリート木ゴテ仕上 コンクリート（Ｆ＝２１Ｎ　ＳＬ＝１５㎝） ワイヤーメッシュ　６φ－１５０×１５０　再生砕石材ｔ100		
B4	コンクリート製足洗場 ２５角モザイクタイル仕上 ３００角鋳鉄製グレーチング	C4	現場打ち側溝（スロープ） ステンレス製ノンスリップ縦目細目グレーチングD350	C10	VP管φ100	D3	ウッドデッキ コンクリート舗装の上、厚３０人工木デッキ		

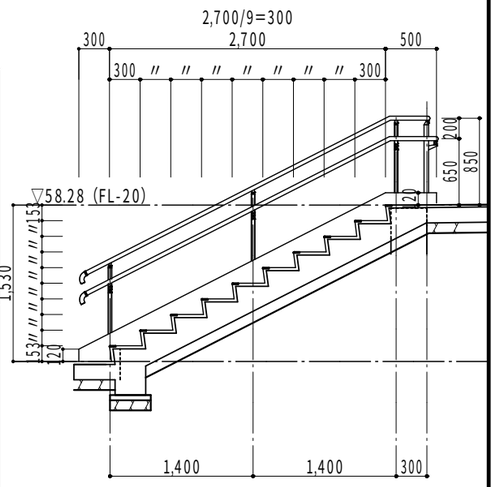
株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号 143379 伊藤 公	工事名			設計番号
		井田川小学校校舎増築等工事			
日付	1級建築士登録番号 317976 太田 武志	図面名		縮尺	図面番号
2020.2.12		校舎棟　外構図		A3:1/200	A－35



凡例

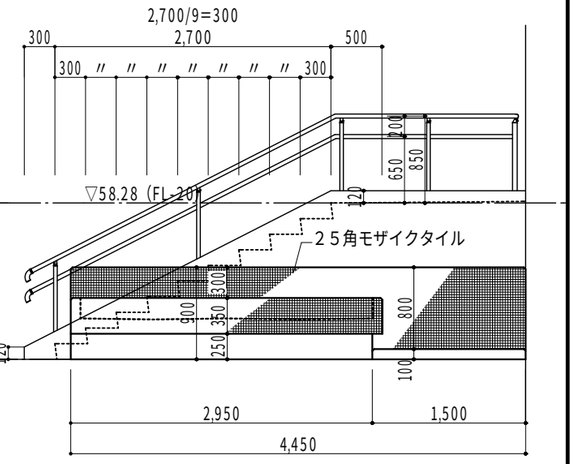
視覚障がい者誘導用
注意喚起用ビニル床タイル300×300を示す

スロープ・階段平面詳細図　S=1/60

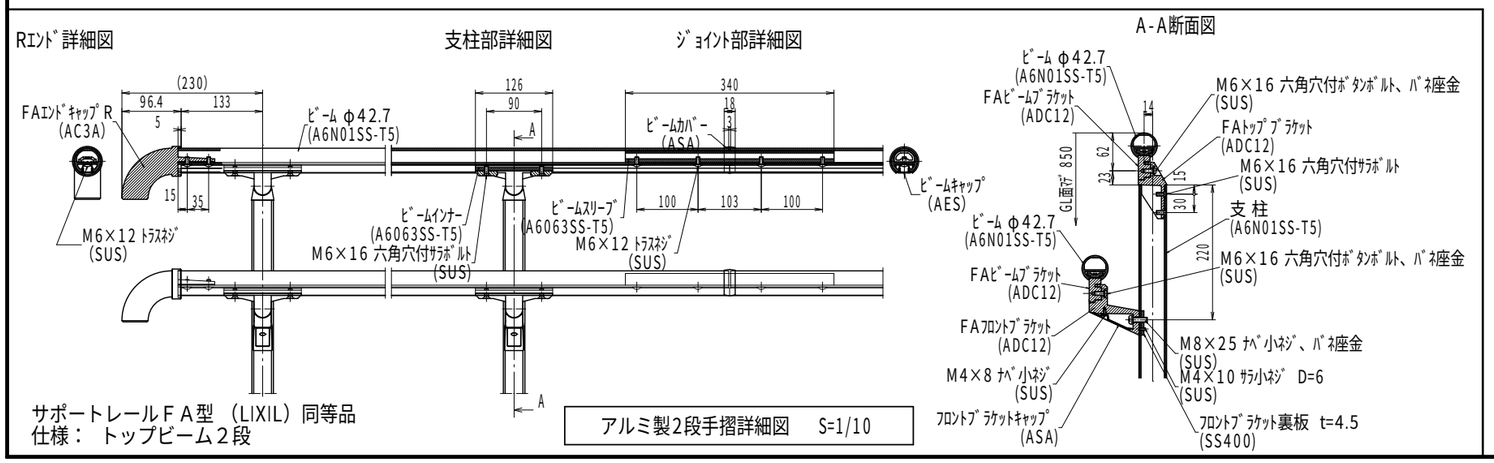


階段詳細図　S=1/60

スロープ詳細図　S=1/60

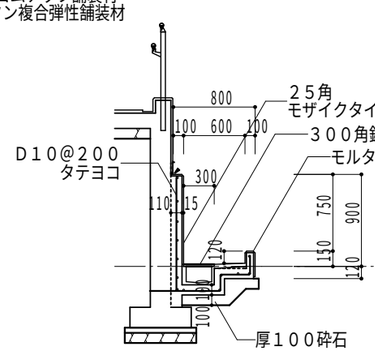


手洗い・足洗い正面図　S=1/60

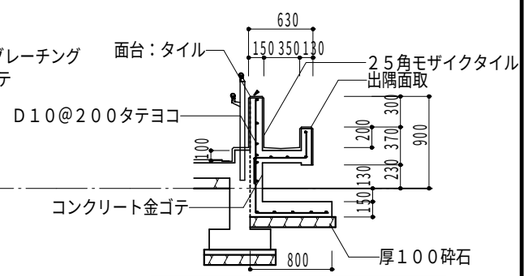


サポートレールＦＡ型（LIXIL）同等品
仕様：　トップビーム２段

アルミ製2段手摺詳細図　S=1/10

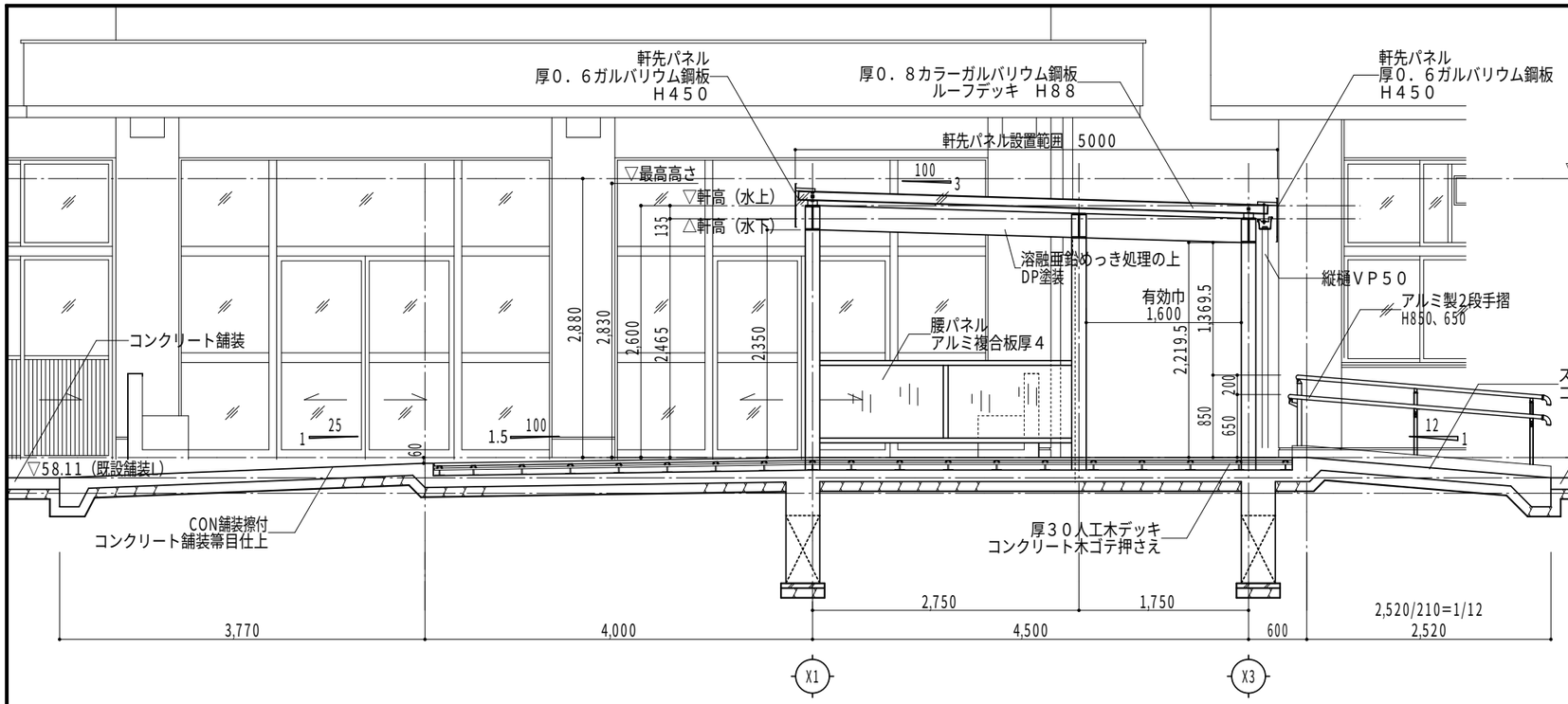


足洗い断面詳細図　S=1/60

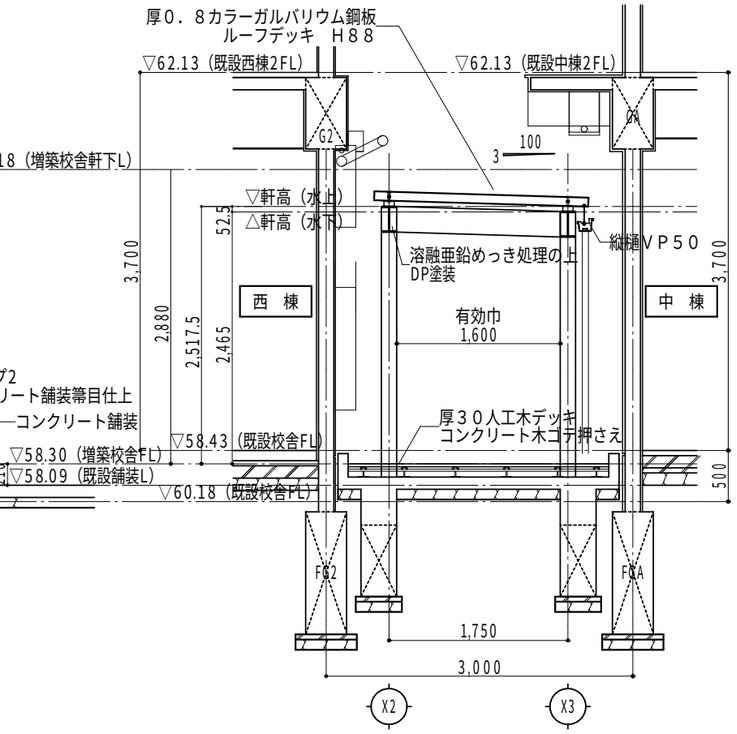


手洗い断面詳細図　S=1/60

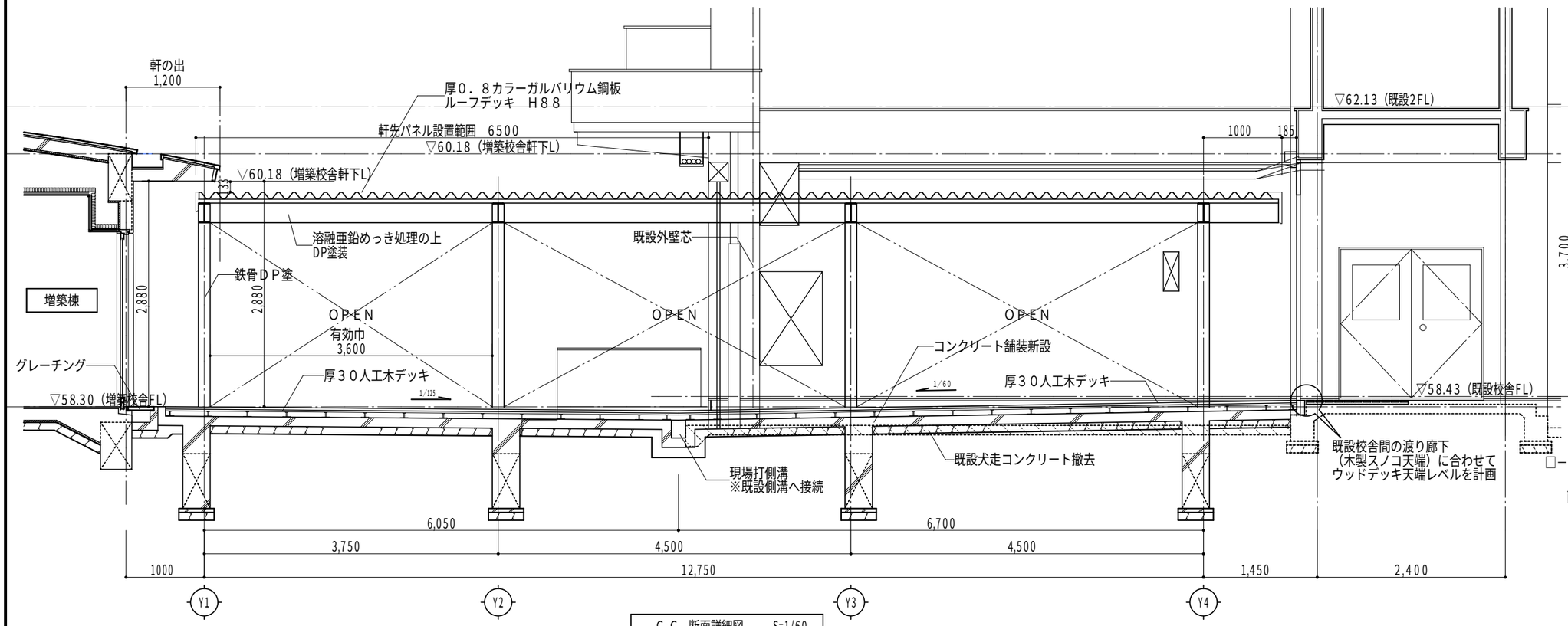
株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号 143379 伊藤 公	工事名 井田川小学校校舎増築等工事	設計番号
日付 2020.2.12	1級建築士登録番号 317976 太田 武志	図面名 校舎棟　外構詳細図 - 1	縮尺 A3:1/60,1/10 / 図面番号 A－36



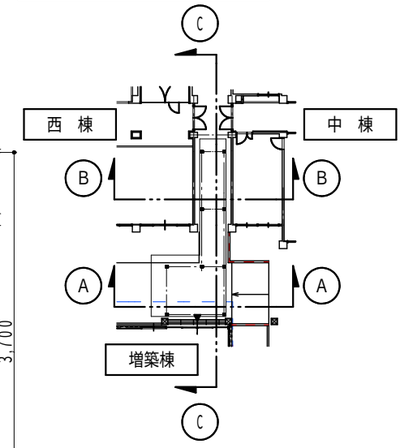
Ａ－Ａ　断面詳細図　S=1/60



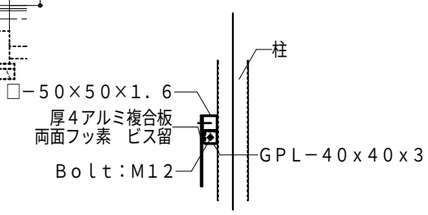
Ｂ－Ｂ　断面詳細図　S=1/60



C-C　断面詳細図　S=1/60



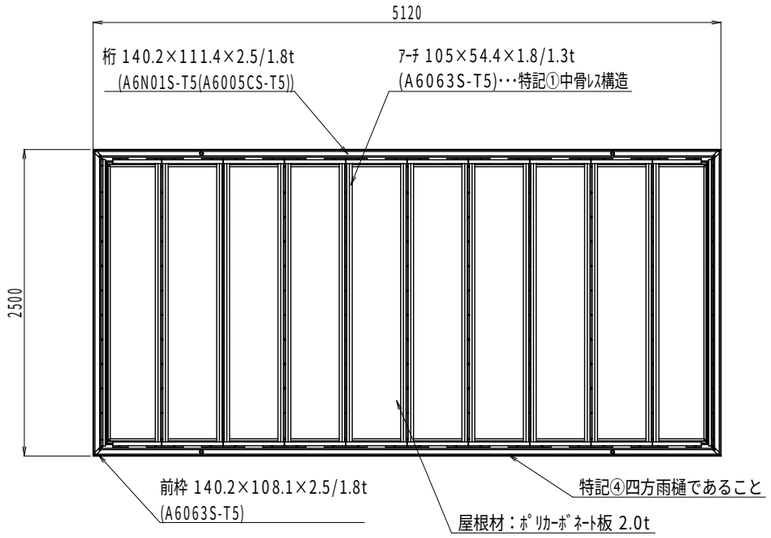
断面位置図



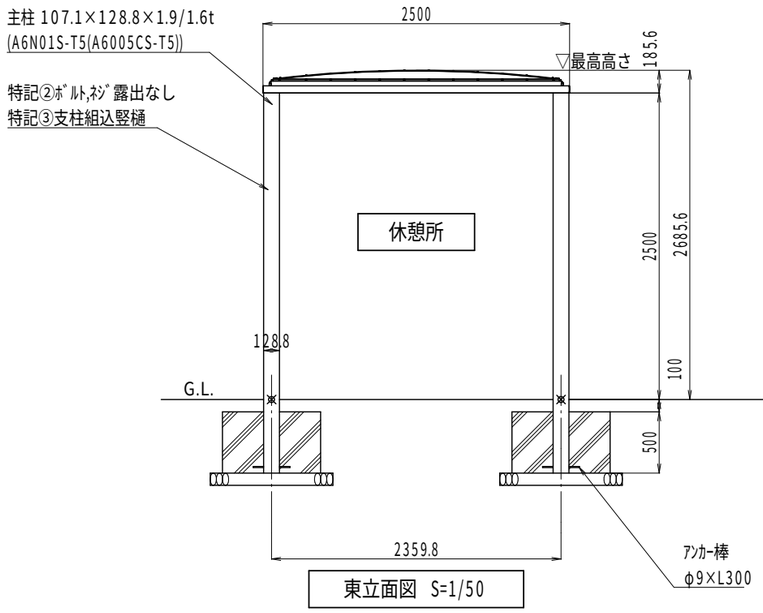
腰パネル詳細図　S=1/10

※人工木は自己消化性合成木材とする。
（リフォジュール（株）「プラスッド」同等品）

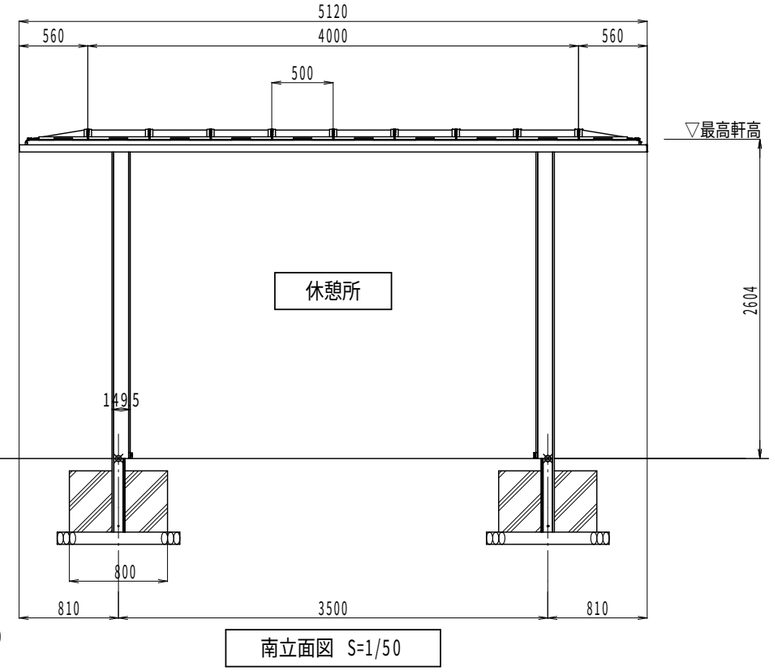
株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号 143379 伊藤 公	工事名 井田川小学校校舎増築等工事	設計番号
日付 2020.2.12	1級建築士登録番号 317976 太田 武志	図面名 校舎棟　外構詳細図 - 2 / 縮尺 A3:1/60	図面番号 A－37



平面図　S=1/50

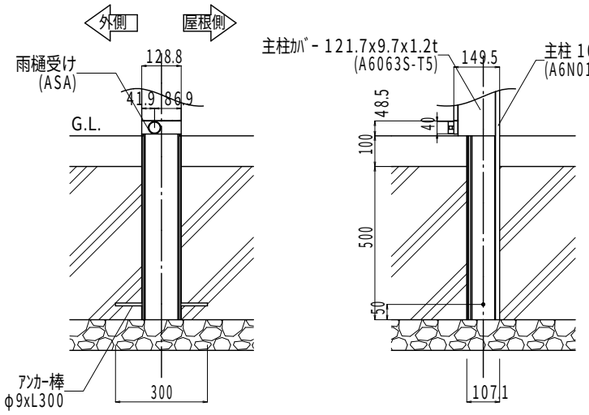


東立面図　S=1/50

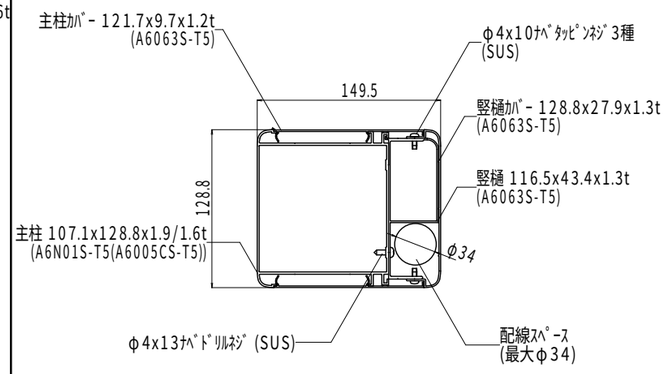


南立面図　S=1/50

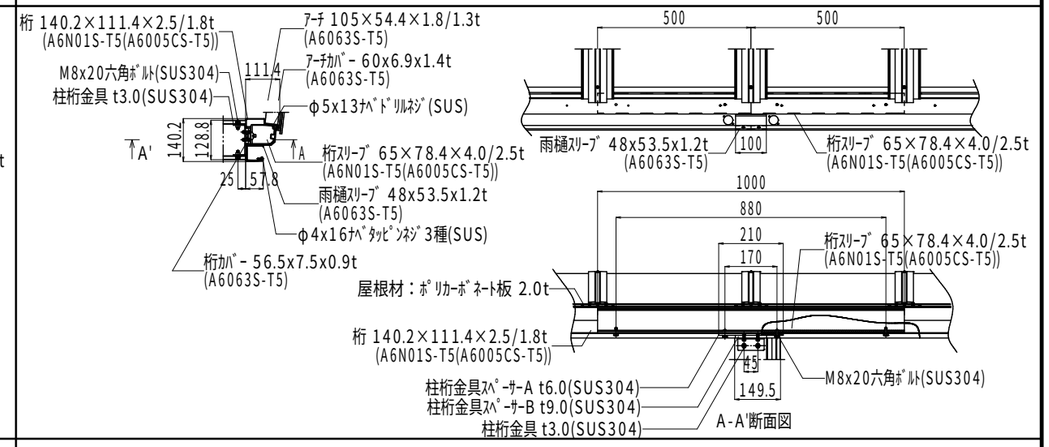
柱埋込み部詳細図　S=1/20



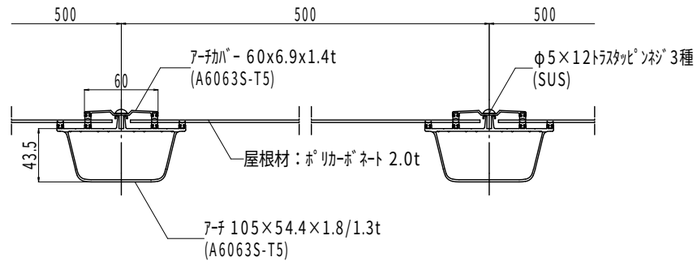
柱断面詳細図　S=1/5



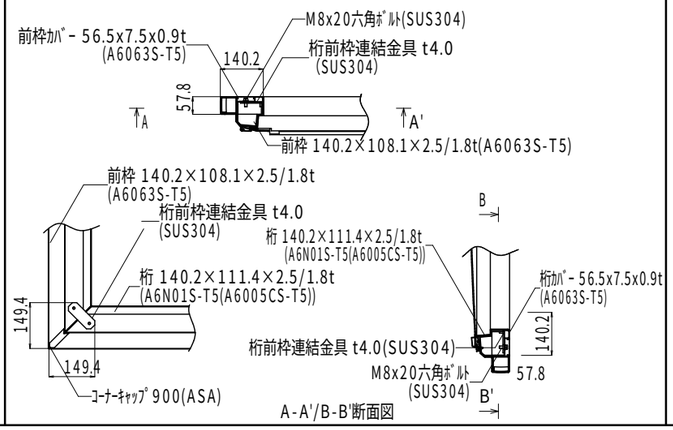
両支持桁連結部詳細図　S=1/20



アーチ部詳細図　S=1/5



桁,前枠詳細図　S=1/20



主要部材寸法表

部　材　名	外径x厚さ	材　質	表面処理
主柱	107.1×128.8×1.9/1.6t	JIS H4100 A6N01S-T5(A6005CS-T5)	陽極酸化塗装複合被膜
桁	140.2×111.4×2.5/1.8t		
ｱｰﾁ	105×54.4×1.8/1.3t	JIS H4100 A6063S-T5	
前枠	140.2×108.1×2.5/1.8t		
屋根材	2.0t	ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ(ｸﾘｱﾏｯﾄ)　認定番号DW-9054	片面耐候

(寸法単位:mm)

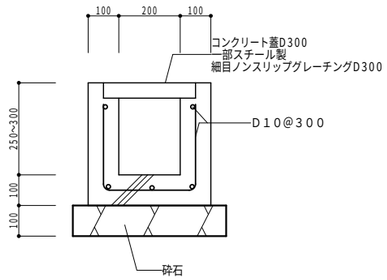
※屋根材はﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ板とする。
※基礎はV0=34m/s、地表面粗度区分III、長期地耐力度50(kN/㎡)の時の寸法です。

(特記事項)
①ｱｰﾁのみで屋根材を支えるものとする。
②支柱表面にﾎﾞﾙﾄ,ﾈｼﾞが見えない構造とする。
③丸竪樋が露出しないものとする(竪樋は支柱組込構造とする)
④屋根枠の四方は雨樋構造とする。

ｱｰｷﾗｲﾝｼｪﾙﾀｰAR-F型 900N/m2　単体 51型
両支持仕様 W25 H25　(LIXIL) 同等品

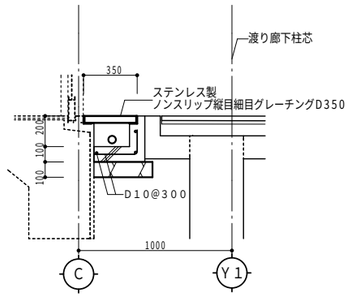
株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号 143379 伊藤 公	工事名 井田川小学校校舎増築等工事	設計番号
日付 2020.2.12	1級建築士登録番号 317976 太田 武志	図面名 校舎棟　外構詳細図 - 3	縮尺 A3:1/50,20,5 / 図面番号 A－38

C1 現場打ち側溝（北側） S＝1／10



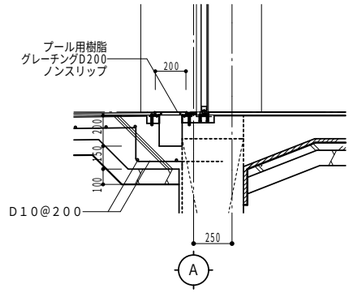
※グレーチング…カネソウ「QXB　T－2」同等品

C2 現場打ち側溝（掃出し窓1） S＝1／20

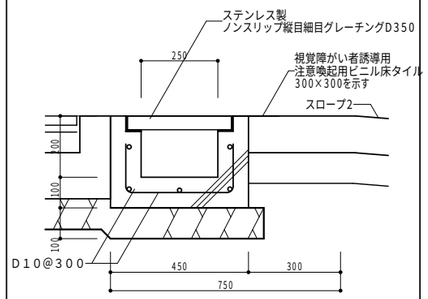


※グレーチング…カネソウ「DQ－W－A」同等品

C3 現場打ち側溝（掃出し窓2） S＝1／20

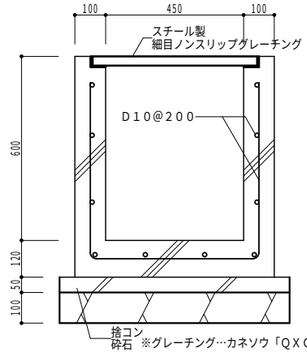


C4 現場打ち側溝（スロープ） S＝1／20



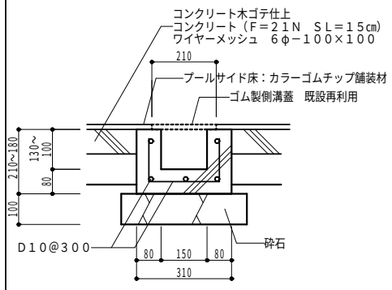
※グレーチング…カネソウ「DQ－W－A」同等品

C5 現場打ち集水枡 S＝1／10

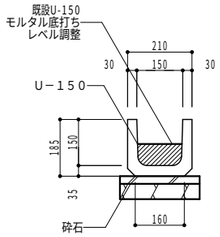


※グレーチング…カネソウ「QXC」同等品

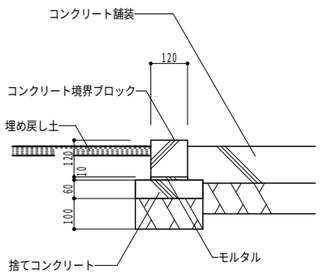
C6 現場打ち側溝（プールサイド）B150×H100 ゴム製側溝蓋　既設再利用 S＝1／10



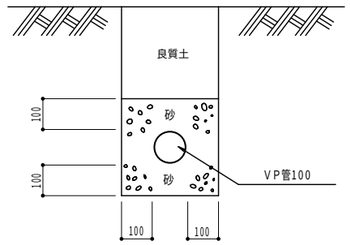
C7 C8 既設U－150底打ちレベル調整 S＝1／10



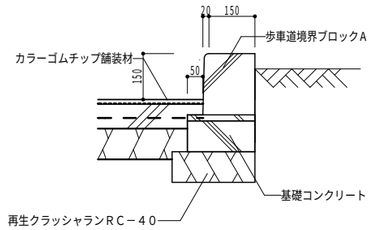
C9 地先境界ブロックA型 S＝1／10



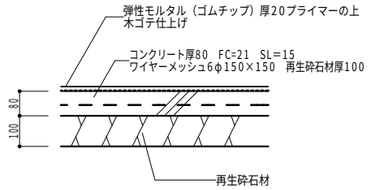
C10 塩化ビニル管 S＝1／10



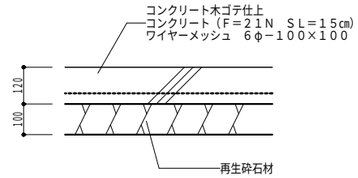
C12 コンクリート縁石 S＝1／10



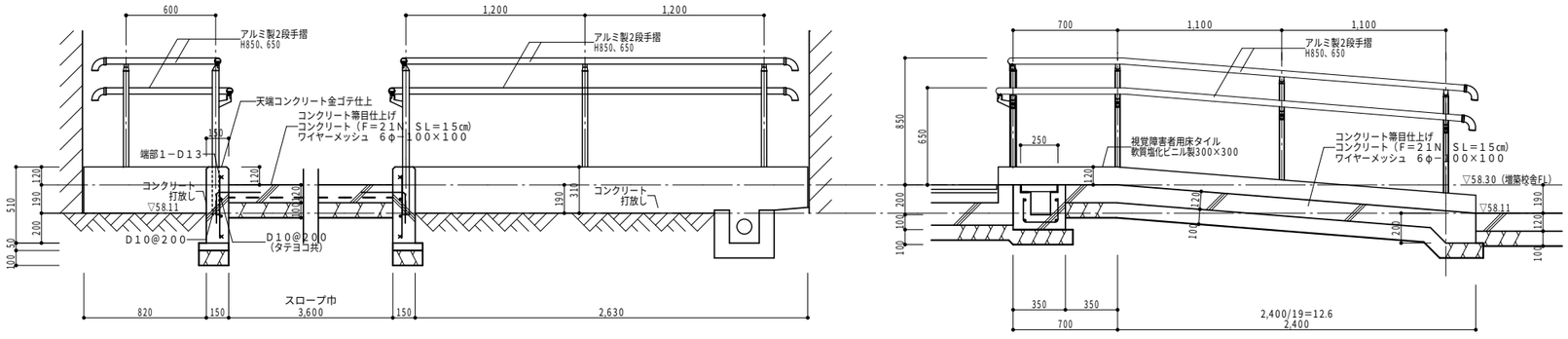
D1 カラーゴムチップ舗装材 S＝1／10



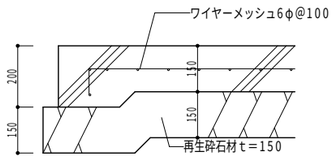
D2 コンクリート舗装 S＝1／30



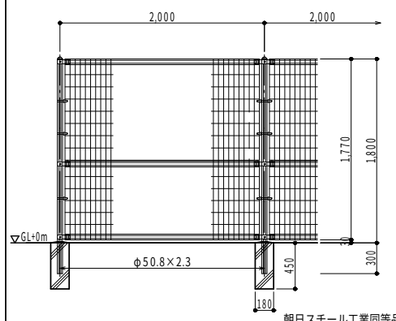
B3 スロープ2詳細図（勾配1／12） S＝1／20



F2 既設PLガス基礎2000×850×150 S＝1／10

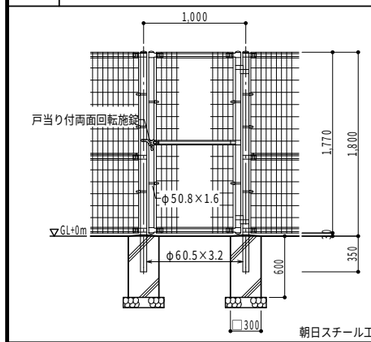


F3 ネットフェンスH1800詳細図 S＝1／60



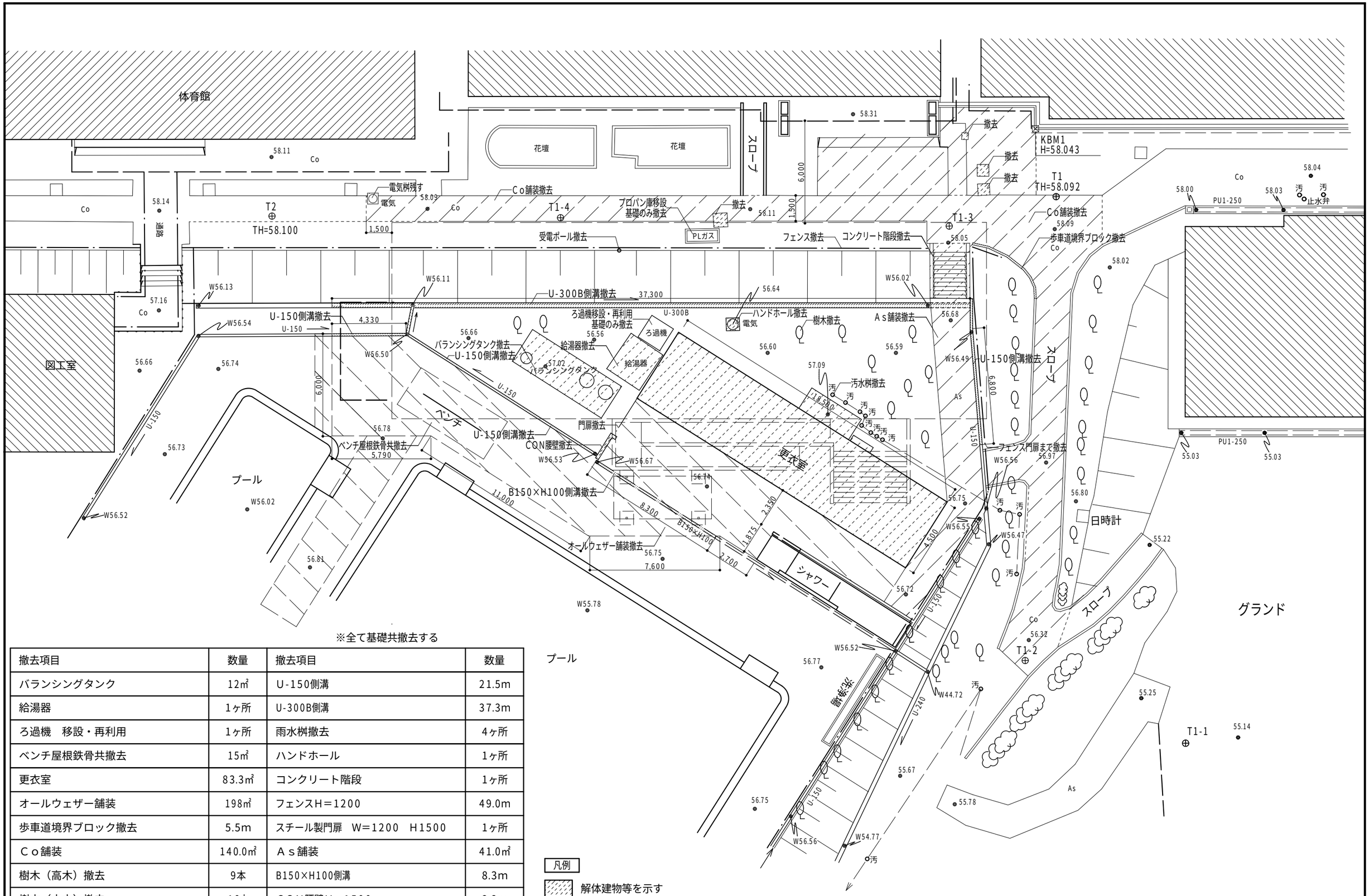
朝日スチール工業同等品

F3 ネットフェンス片開き門扉H＝1800詳細図 S＝1／60



朝日スチール工業同等品

株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号 143379 伊藤 公	工事名 井田川小学校校舎増築等工事	設計番号
日付 2020.2.12	1級建築士登録番号 317976 太田 武志	図面名 校舎棟　外構詳細図－4	縮尺 A3:1/60 / 図面番号 A－39



※全て基礎共撤去する

撤去項目	数量	撤去項目	数量
バランシングタンク	12㎡	U-150側溝	21.5m
給湯器	1ヶ所	U-300B側溝	37.3m
ろ過機　移設・再利用	1ヶ所	雨水桝撤去	4ヶ所
ベンチ屋根鉄骨共撤去	15㎡	ハンドホール	1ヶ所
更衣室	83.3㎡	コンクリート階段	1ヶ所
オールウェザー舗装	198㎡	フェンスH＝1200	49.0m
歩車道境界ブロック撤去	5.5m	スチール製門扉　W＝1200　H1500	1ヶ所
Ｃｏ舗装	140.0㎡	Ａｓ舗装	41.0㎡
樹木（高木）撤去	9本	B150×H100側溝	8.3m
樹木（中木）撤去	16本	ＣＯＮ腰壁Ｈ＝1500	2.2m
樹木（低木）撤去	10本	受電ポール撤去	1ヶ所
既設PLガス基礎撤去W2,000×D850×H150	1ヶ所		

凡例

- 解体建物等を示す
- 既設コンクリート舗装撤去範囲を示す
- 既設プールサイド舗装撤去範囲を示す

株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号 143379 伊藤 公	工事名 井田川小学校校舎増築等工事	設計番号
日付 2020.2.12	1級建築士登録番号 317976 太田 武志	図面名 校舎棟　現況配置図 / 縮尺 A3:1/200	図面番号 A－40

建物概要					
給食室棟　全体		今回増築部		今回増築部	
用途	学校（給食室棟）	用途	学校（ワゴンプール）	用途	学校（調理員用トイレ棟）
耐火要求	準耐火建築物	耐火要求	（ロ-2）準耐火建築物	耐火要求	（ロ-2）準耐火建築物
階数	1階	階数	1階	階数	1階
構造	ＲＣ造　一部Ｓ造	構造	Ｓ造（重量鉄骨）	構造	Ｓ造（重量鉄骨）
延べ床面積（増築後）	203.60㎡	床面積（増築部）	16.00㎡	床面積（増築部）	6.80㎡
最高高さ	4150㎜	最高高さ	2780㎜	最高高さ	3120㎜
軒高	3850㎜	軒高	2675㎜	軒高	3010㎜

Ｓ53年　耐火建築物　124.95㎡　　R2年調理員用トイレ　準耐火建築物　6.8㎡
H5年　準耐火建築物　44.175㎡　　H1年　給食休憩室　13.142㎡
H25年　準耐火建築物　9.45㎡
R1年　準耐火建築物　9.02㎡
R2年　準耐火建築物　16.00㎡
延べ面積　203.60㎡

シックハウス対策
・内装材料の種別は規制対象外かＦ☆☆☆☆（ＪＩＳ・ＪＡＳ）とする。
・天井裏、収納スペース、床下、壁下地などの建材は全てＦ☆☆☆（ＪＩＳ・ＪＡＳ）以上とする。
クロスＦ☆☆☆☆　接着剤　Ｆ☆☆☆☆　ポリ合板　Ｆ☆☆☆☆　塗装（ＶＰ）Ｆ☆☆☆☆
合板　Ｆ☆☆☆☆　メラミン化粧板　Ｆ☆☆☆☆　　塗装（ＥＰ）Ｆ☆☆☆☆　塗装（ＯＰ）Ｆ☆☆☆☆

外部仕上表（給食室棟）

部位	改修工事			仕上						
屋根	○	既設	S53年新築部分	露出屋根防水SC-515（8層）アスファルト防水シルバー仕上 下地均シモルタル厚25M/M	鼻隠し	○	既設	S53年新築部分	――――
			H5年増築部分	カラー鋼板厚0.6ルーフデッキ（三晃金属同等品以上）裏打断熱材：ポリエチレンフォーム厚4 （東レペフ同等品以上）勾配3/100軒先鼻隠し：カラー鋼板厚0.6パネル加工				H5年増築部分	鼻隠しパネル　カラー鋼板厚0.6　パネル加工
			H25年増築部分	重ね折板屋根タイトフレーム留８８型　ガルバリウム鋼板　厚0.6				H25年増築部分	鼻隠し化粧パネルH300　ガルバリウム鋼板
			R1年増築部分	アルミ亜鉛合金めっき鋼板（ガルバリウム鋼板）　厚0.6ルーフデッキ（三晃金属同等品以上） 裏打断熱材：無機質高充填フォーム プラスチック系断熱材　FP030RF-0552				R元年増築部分	鼻隠し幕板 h=300　カラーガルバリウム鋼板t=0.5
		改修後	R2年増築部分	アルミ亜鉛合金めっき鋼板（ガルバリウム鋼板）　厚0.6ルーフデッキ（三晃金属同等品以上） 裏打断熱材：無機質高充填フォーム プラスチック系断熱材　FP030RF-0552			改修後	R2年増築部分	鼻隠し幕板 h=300　カラーガルバリウム鋼板t=0.5
外壁	○	既設	S53年新築部分	モルタル刷毛引アクリルリシン吹付　サッシ廻りチオコーキング	外部巾木	○	既設	S53年新築部分	立上り　モルタルコテミガキH-450 犬走り　モルタルコテミガキ
			H5年増築部分	センチュリーボード厚14（横貼りスタッコ調三井木材同等品以上）防火材444号 アスファルトフェルト17kg				H5年増築部分	コンクリート打放し　モルタル金ゴテ仕上げ
			H25年増築部分	木質系繊維混入セメント珪酸カルシウム板　厚16塗装品 横張り金物工法（品番：EFX241　ニチハ株式会社同等品）				H25年増築部分	モルタルハケ引
			R2年増築部分	窯業系サイディングボード　横張り金具留め（通気工法） 防火構造（不燃下地）PC030BE-9202				R元年増築部分	モルタルハケ引
		改修後	増築後	窯業系サイディングボード　横張り金具留め（通気工法） 防火構造（不燃下地）PC030BE-9202			改修後	R2年増築部分	モルタルハケ引

外部仕上表（調理員用トイレ棟）

屋根	アルミ亜鉛合金めっき鋼板（ガルバリウム鋼板）　厚0.6ルーフデッキ（三晃金属同等品以上） 裏打断熱材：無機質高充填フォーム プラスチック系断熱材　FP030RF-0552
外壁	窯業系サイディングボード　横張り金具留め（通気工法） 防火構造（不燃下地）PC030BE-9202
外部巾木	モルタル金ゴテ仕上げ
鼻隠し	鼻隠し幕板 h=300　カラーガルバリウム鋼板t=0.5

内部仕上表（既設）

階数	室名	内装制限と排煙設備 排煙方法	内装材料	法的根拠	床	巾木	腰壁	腰壁H	壁	天井	CH	備考
1	給食室（西）	－	㊭	（5）	モルタルコテミガキ下地	―――	陶器質タイル□100		モルタルコテミガキ　AVP	アスベストン厚6M/M目スカシ	2700~3000	ハッチ、消毒ゴムマット800×600
					デッキメント仕上				一部モルタル刷毛引き石綿吹付押工厚2	アクリル系リシン取付		（ステンレス枠付）、ピット、手洗
	給食室（東）	－	㊭	（5）	モルタルコテミガキ下地	モルタルコテミガキ	―――		モルタルコテミガキ　AVP	アスベストン厚6M/M目スカシ	2700	手洗、消毒ゴムマット1600×600
					デッキメント仕上					アクリル系リシン取付		ゴムマット1600×600
	給食室	－	㊭	（5）	モルタル金ゴテ仕上　耐摩耗耐衝撃性	陶器質タイル　一段貼り　100角	―――		LGS下地フレキシブルボード　厚6　不燃材1001号	LGS下地　石綿ケイ酸カルシウム板厚6不燃材1001号	2400~2555	
					モルタル床仕上材　（美州興産セラレヅンＥＭ同等品以上）	モルタル金コテ仕上　H=100			LGS下地　PB厚9　VE吹付　（西面の一部）	目透し貼りアクリルリシン吹付		
						ソフト巾木　H=100						
	ワゴンプール-1	－	㊭	（5）	モルタル金ゴテ仕上　耐摩耗耐衝撃性	陶器質タイル　一段貼り　100角	―――		LGS下地フレキシブルボード　厚6　不燃材1001号	LGS下地　石綿ケイ酸カルシウム板厚6不燃材1001号	2400~2555	
					モルタル床仕上材　（美州興産セラレヅンＥＭ同等品以上）	モルタル金コテ仕上　H=100				目透し貼りアクリルリシン吹付		
						ソフト巾木　H=100						
	便　所	－	㊭	（六）	磁器モザイクタイル	―――	―――		100角タイル	アスベストン厚6M/M目スカシ　AVP	2500	
	前室	－	㊭	（六）	モルタルコテミガキ	モルタルコテミガキ	―――		モルタルコテミガキ AVP	無孔プラスターボード　厚9M/M　目スカシEP	2500	
	食品庫	－	㊭	（六）	緑取タタミ敷	モルタルコテミガキ　ジュラクサテン吹付	―――		モルタルコテミガキ　ジュラクサテン吹付	プリントボード	2500	
	検収室	－	㊭	（5）	2液系エポキシ樹脂塗装　厚膜タイプ平滑仕上	ソフト幅木H＝60	―――		軽鉄下地　耐水P.B.厚12.5EP塗	軽鉄下地P.B.厚9.5EP塗	2350	
									腰壁：軽鉄下地　耐水P.B.厚12.5張の上、化粧ケイカル板厚6			
	洗浄室	－	㊭	（六）	防滑工法　薄膜型エポキシ樹脂系防塵塗料　（ケミクリートEPカラー同等品）	防滑工法　薄膜型エポキシ樹脂系防塵塗料　（ケミクリートEPカラー同等品）H=100	耐水P.B.厚12.5の上化粧ケイカル板厚6　アルミ見切	ＦＬ+1000㎜	耐水P.B.厚12.5 EP塗　軽鉄下地	ケイ酸カルシウム板厚6　突き付け　ＥＰ塗装　軽鉄下地	2150	

内部仕上表（改修後）

階数	室名	内装制限と排煙設備 排煙方法	内装材料	法的根拠	床	巾木	腰壁	腰壁H	壁	天井	CH	備考
1	ワゴンプール-2	－	㊭	（六）	防滑工法　薄膜型エポキシ樹脂系防塵塗料　（ケミクリートEPカラー同等品）	防滑工法　薄膜型エポキシ樹脂系防塵塗料　（ケミクリートEPカラー同等品）H=100	耐水P.B.厚12.5の上化粧ケイカル板厚6　アルミ見切	ＦＬ+1000㎜	耐水P.B.厚12.5 EP塗　軽鉄下地	ケイ酸カルシウム板厚6　突き付け　ＥＰ塗装　軽鉄下地	2150	
	調理員用トイレ	－	㊭	（六）	防滑工法　薄膜型エポキシ樹脂系防塵塗料　（ケミクリートEPカラー同等品）	防滑工法　薄膜型エポキシ樹脂系防塵塗料　（ケミクリートEPカラー同等品）H=100	耐水P.B.厚12.5の上化粧ケイカル板厚6　アルミ見切	ＦＬ+1000㎜	耐水P.B.厚12.5 EP塗　軽鉄下地	ケイ酸カルシウム板厚6　突き付け　ＥＰ塗装　軽鉄下地	2400	

内装制限と排煙設備

(記号)
自　■ 排煙方法
機　自然排煙
－　機械排煙
　　なし

(記号)
㊭　■ 内装材料
　　天井、壁　準不燃材料以上
㊭　壁　不燃材料
㊭　天井、壁　不燃材料（下地共）
㊭　天井、壁　難燃材料以上
－　なし

※ じゅうたん、カーテン等は防炎物品を使用

法的根拠

(記号)
(一)　■ 排煙免除
(二)　（建築基準法）　令第　１２６条の２　第１項　１号
(三)　令第　１２６条の２　第１項　２号
(四)　令第　１２６条の２　第１項　３号
(五)　令第　１２６条の２　第１項　４号
(六)　（建設省告示）　平１２　建告１４３６号　第４号　ハ－１
(七)　平１２　建告１４３６号　第４号　ハ－２
(八)　平１２　建告１４３６号　第４号　ハ－３
　　平１２　建告１４３６号　第４号　ハ－４

(記号)
(1)　■ 内装制限
(2)　（建築基準法）　令第　１１２条　第５項～第９項
(3)　令第　１２０条　第２項
(4)　令第　１２３条　第１項２号　第３項３号
(5)　令第　１２８条の３　第１項３号　第５項
(6)　令第　１２８条の４　第１項～第４項
(7)　令第　１２８条の５　第１項～第７項
(8)　（建設省告示）　平　５　建告１４４７号
　　昭５６　建告１１１１号

内装の防火材料と認定番号

(記号)				(記号)			
(A)	不燃	NM8576	繊維強化セメント板　（フレキシブル板・パーライト板）	(N)	不燃	NM9754	(紙壁紙　1級)+法定不燃材料
(B)	不燃	NM8577	化粧繊維強化セメント板（不燃化粧パネル・カラースレート）	(O)	不燃	NM9849	(織物壁紙　1級)+法定不燃材料
(C)	不燃	NM8812	石こうボード　（不燃石こうボード　12．5，15mm）	(P)	不燃	NM9944	(無機質壁紙　1級)+法定不燃材料
(D)	不燃	NM8613	不燃積層石こうボード（不燃ジアトーン　9．5mm）	(Q)	準不燃	QM9823	石こうボード　（準不燃石こうボード9．5，12．5mm）
(E)	不燃	NM8615	無機繊維強化石こうボード(強化石こうボード12．5，15，21mm)	(R)	準不燃	QM9824	化粧石こうボード　（準不燃ジアトーン9．5mm）
(F)	不燃	NM8599	ロックウール吸音板（岩綿吸音板）	(S)	準不燃	QM9826	シージング石こうボード　（9．5，12．5mm）
(G)	不燃	NM8601	吹付けロックウール	(T)	準不燃	QM9406	(ビニル壁紙　2級)+法定不燃材料
(H)	不燃	NM8605	グラスウール保温板	(U)	準不燃	QM9489	(化学繊維壁紙　2級)+法定不燃材料
(I)	不燃	NM8684	塩化ビニル樹脂フィルム張り／金属板	(V)	準不燃	QM9816	(塗料)+法定準不燃材料　（SOP,VE,TEP）
(J)	不燃	NM8578	繊維混入けい酸カルシウム板	(W)	準不燃	QM9812	(有機質砂壁状塗料)+法定準不燃材料　（合成樹脂系リシン）
(K)	不燃	NM8585	(塗料)+法定不燃材料　（SOP,VE,TEP）	(X)	準不燃	QM9814	(繊維壁材材)+法定準不燃材料　（じゅらく）
(L)	不燃	NM8572	(有機質砂壁状塗料)+法定不燃材料　（合成樹脂系リシン）	(Y)	難燃	RM9340	難燃処理合板
(M)	不燃	NM0530	ハイクリンスカット押入ボード　クロス（P-1）	(Z)	不燃	NM1864	石こうボード　（不燃石こうボード9．5mm）

塗料の種別と略号

合成樹脂塗料	SOP　合成樹脂調合ペイント	模様塗料	TEP　合成樹脂エマルション模様塗料
	VP　塩化ビニル樹脂エナメル		MP　多彩模様塗料
	AP　アクリル樹脂エナメル		
	FP　フタル酸樹脂エナメル	透明塗料	LC　ラッカークリア
	UE　ポリウレタン樹脂エナメル		AC　アクリル樹脂ラッカークリア
	FUE　ふっ素樹脂エナメル		UC　ポリウレタン樹脂ラッカークリア
	XE　エポキシ樹脂エナメル		
	CE　塩化ゴム系塗料	ローラー　仕上塗料	MR　マスチック塗材
	LE　ラッカーエナメル		
合成樹脂エマルション塗料	EP　合成樹脂エマルションペイント	着色材	OS　オイルステイン
	GEP　つや有り合成樹脂エマルションペイント	防塵塗料	FLP　フロアー防塵塗料
	NAD　非水分散形塗料	艶出し材	W　ワックス

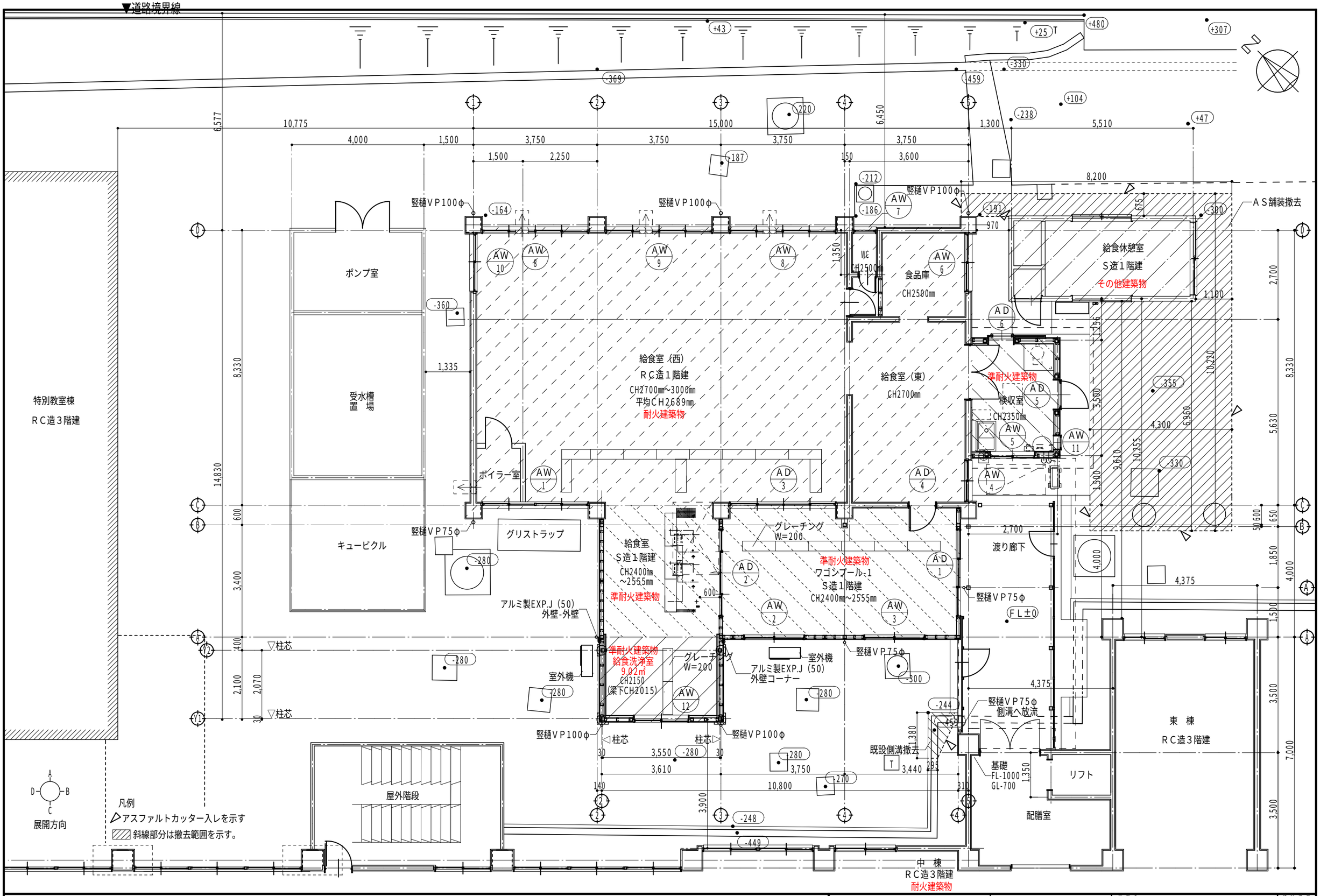
材料の種別と略号

■ 材料・仕上げ
RC直　コンクリート直均し
RC－A（化）　コンクリート化粧打放し仕上げ
RC－A　コンクリート打放し仕上げ（標仕　表6.2.1　A種）
RC－B　コンクリート打放し仕上げ（標仕　表6.2.1　B種）
RC－C　コンクリート打放しのまま（標仕　表6.2.1　C種）
GB－R　石膏ボード
GB－P　吸音用穴ある石膏ボード
GB－F　強化石膏ボード
GB－D　化粧石膏ボード
GB－S　シージング石膏ボード
FK　繊維強化セメント板（けい酸カルシウム板）タイプ２

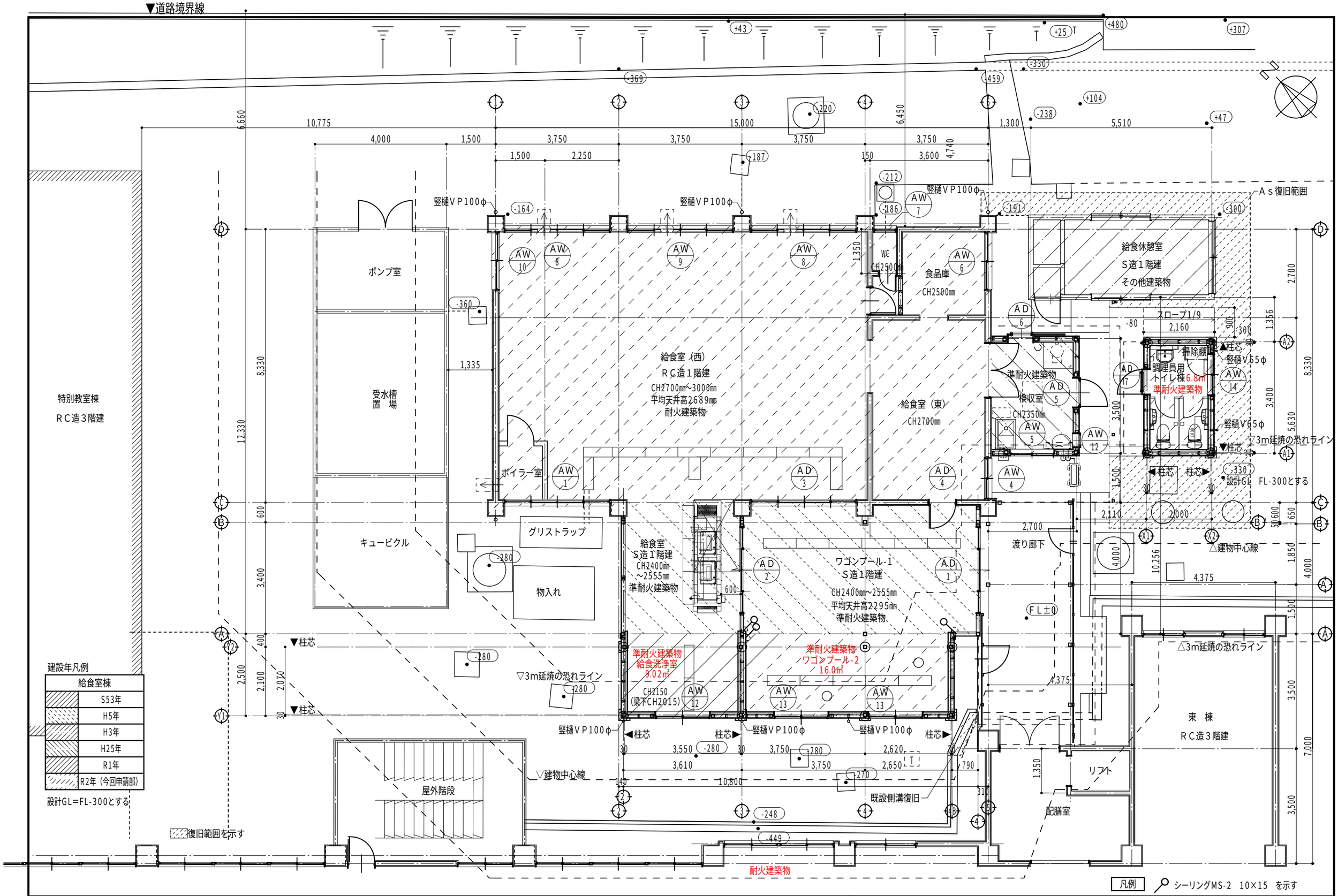
■ 回り縁
㊭ 木製
Ⓐ アルミ
Ⓒ 硬質塩ビ
Ⓑ ブラインドBOX
Ⓓ カーテンBOX
軽量鉄骨下地
木造下地
天井点検口

※注記

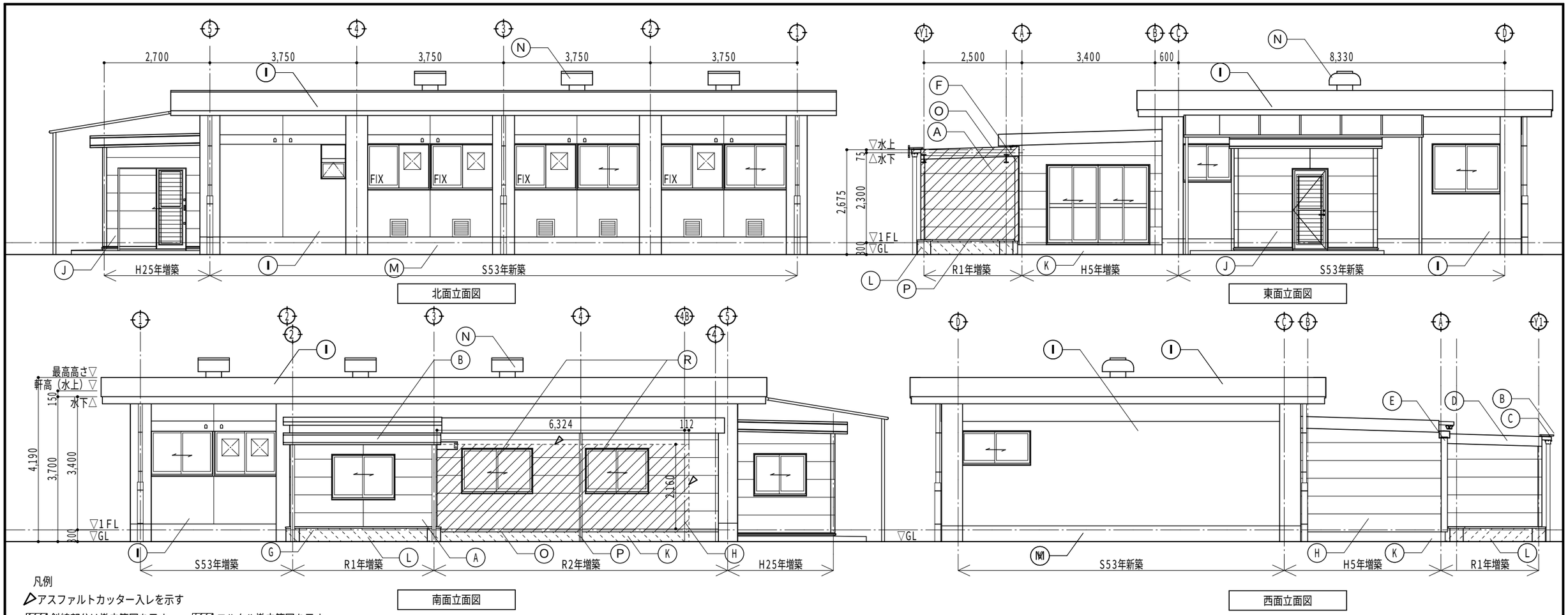
株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139　FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号 143379　伊藤　公	工事名 井田川小学校校舎増築等工事	設計番号
日付 2020.2.12	1級建築士登録番号 317976　太田　武志	図面名 給食室棟ワゴンプール、調理員用トイレ棟 仕上表（既設）（改修後）	縮尺 A3:1/100
			図面番号 A－41



株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号 143379 伊藤 公 1級建築士登録番号 317976 太田 武志	工事名 井田川小学校校舎増築等工事	設計番号
日付 2020.2.12		図面名 給食棟ワゴンプール、調理員用トイレ棟 平面図（既設）	縮尺 A3:1/100
			図面番号 A-42



株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号 143379 伊藤 公	工事名 井田川小学校校舎増築等工事	設計番号
日付 2020.2.12	1級建築士登録番号 317976 太田 武志	図面名 給食室棟ワゴンプール、調理員用トイレ棟 平面図（改修後）	縮尺 A3:1/100 / 図面番号 A-43

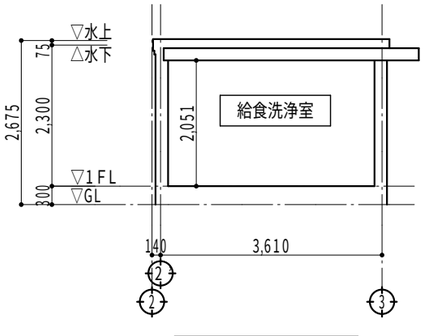


凡例

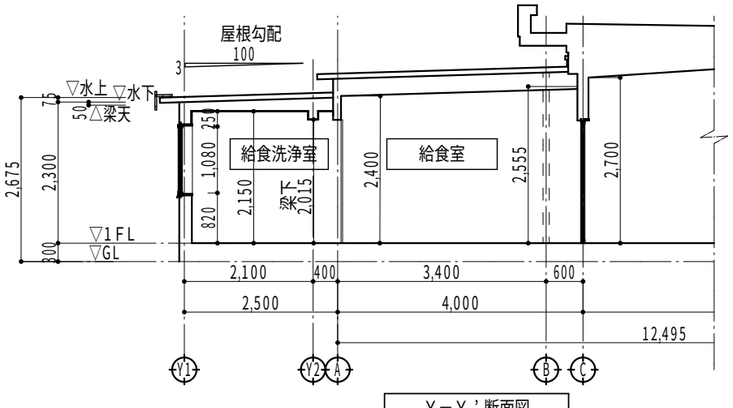
▷アスファルトカッター入レを示す

斜線部分は撤去範囲を示す　　モルタル撤去範囲を示す。

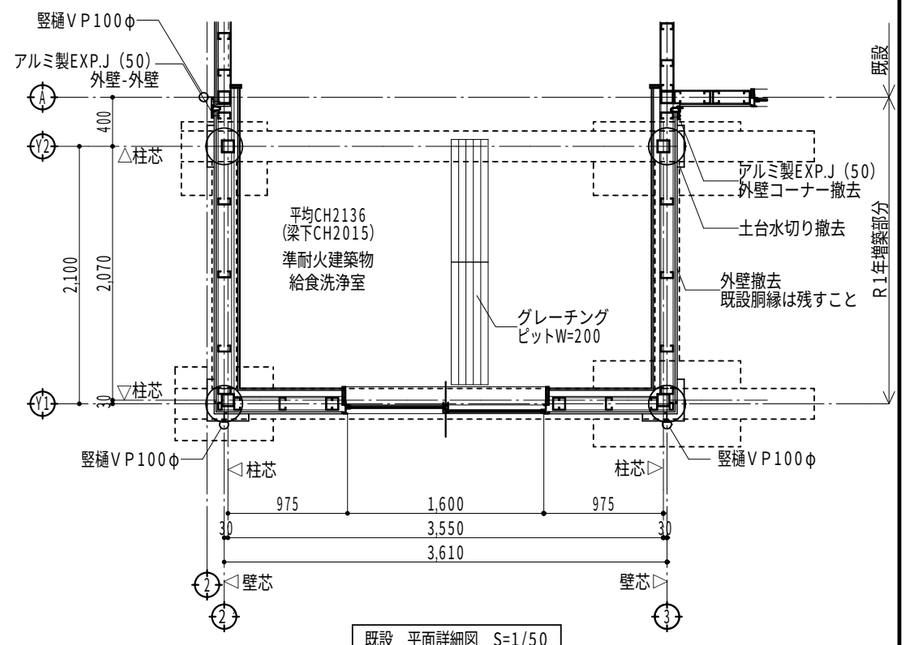
A	窯業系サイディングボード　横張り金具留め（通気工法） 防火構造（不燃下地）PC030BE-9202	F	アルミ製EXP.J（50）　外壁コーナー	K	コンクリート打放し　ノロ補修	P	土台水切り
B	鼻隠し幕板h＝300　カラーガルバリウム鋼板t＝0.5	G	ガルバリウム鋼板水切りt＝0.35	L	モルタルハケ引き	Q	竪樋VP75φ
C	アルミ亜鉛合金めっき鋼板（ガルバリウム鋼板）　厚0.6 ルーフデッキ（三晃金属同等品以上）	H	センチュリーボード厚14　防火材444号	M	モルタルコテミガキ	R	アルミサッシ
D	けらば包み：屋根同材	I	モルタル刷毛引アクリルリシン吹付	N	ルーフファン		
E	アルミ製EXP.J（50）　外壁-外壁	J	木質系繊維混入セメント珪酸カルシウム板 厚16	O	けらば包み		



X－X’断面図

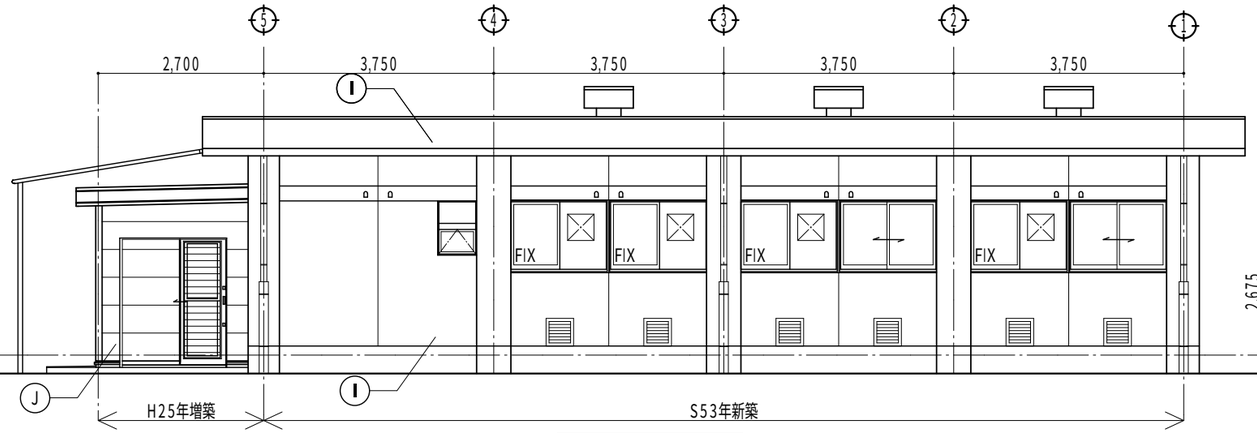


Y－Y’断面図

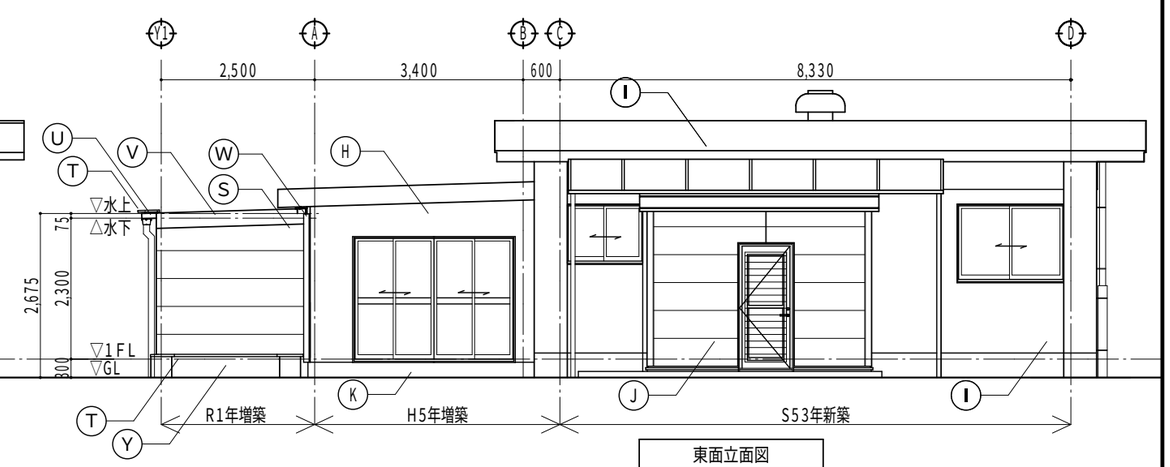


既設　平面詳細図　S=1/50

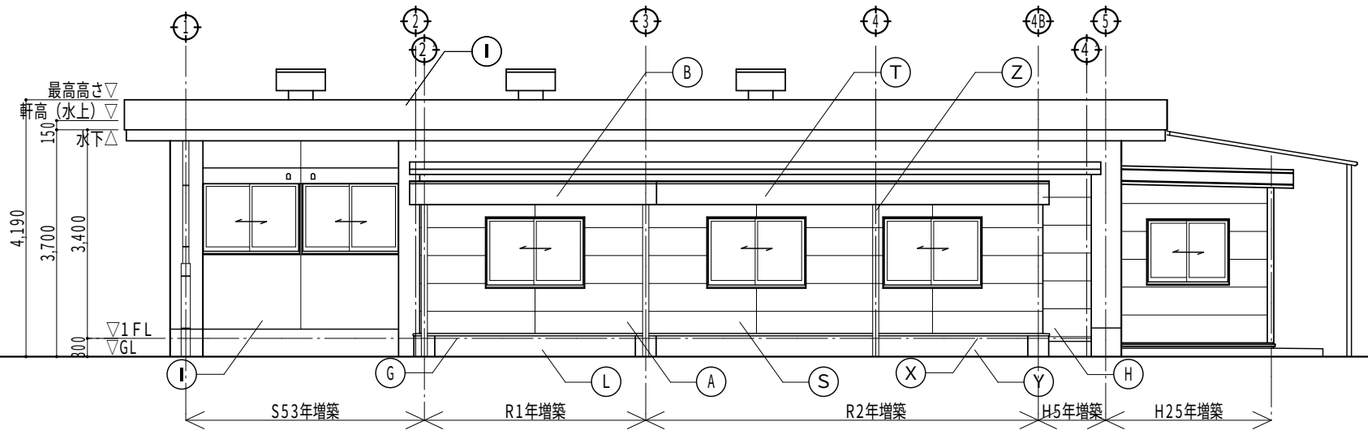
株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号 143379 伊藤 公	工事名 井田川小学校校舎増築等工事			設計番号
日付 2020.2.12	1級建築士登録番号 317976 太田 武志	図面名 給食室棟 ワゴンプール 立面図・断面図・平面詳細図（既設）	縮尺 A3:1/100	図面番号 A－44	



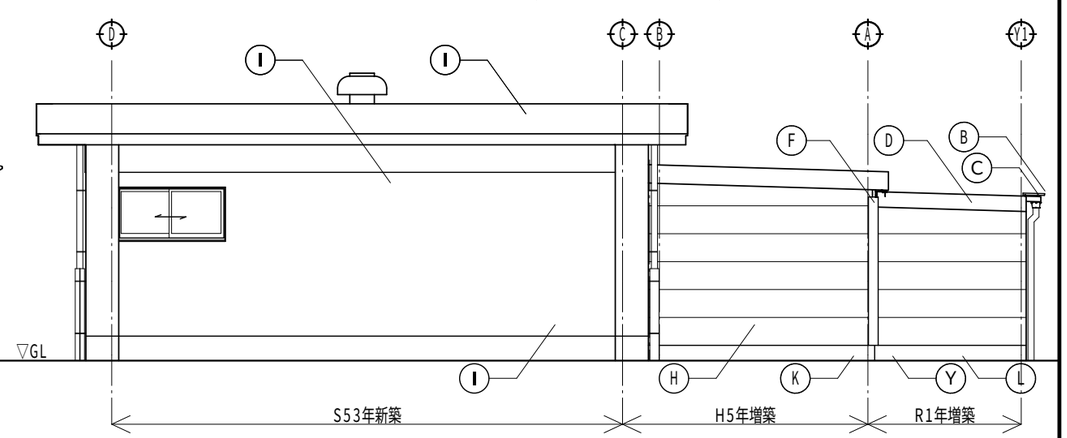
北面立面図



東面立面図



南面立面図



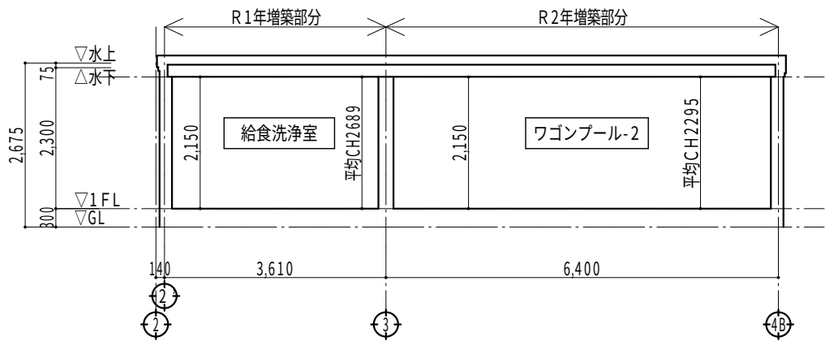
西面立面図

既設部分

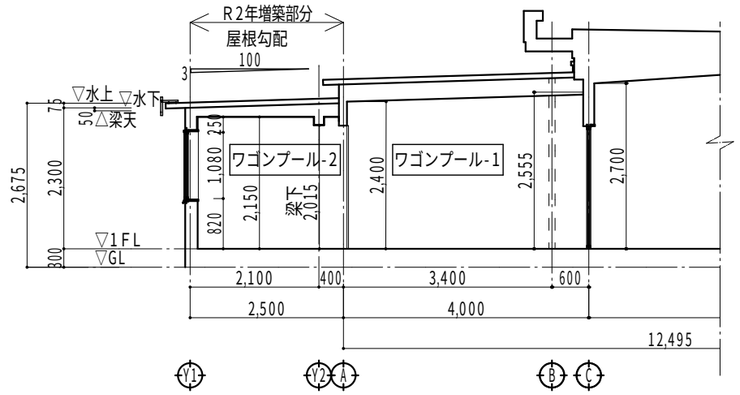
A	窯業系サイディングボード　横張り金具留め（通気工法） 防火構造（不燃下地）PC030BE-9202	F	アルミ製EXP.J（50）　外壁コーナー	K	コンクリート打放し	P	土台水切り
B	鼻隠し幕板h＝300　カラーガルバリウム鋼板t＝0.5	G	ガルバリウム鋼板水切りt＝0.35	L	モルタルハケ引き	Q	竪樋VP75φ
C	アルミ亜鉛合金めっき鋼板（ガルバリウム鋼板）　厚0.6 ルーフデッキ（三晃金属同等品以上）	H	センチュリーボード厚14　防火材444号	M	モルタルコテミガキ	R	アルミサッシ
D	けらば包み：屋根同材	I	モルタル刷毛引アクリルリシン吹付	N	ルーフファン		
E	アルミ製EXP.J（50）　外壁-外壁	J	木質系繊維混入セメント珪酸カルシウム板 厚16	O	けらば包み		

増築部分

S	窯業系サイディングボード　横張り金具留め（通気工法） 防火構造（不燃下地）PC030BE-9202	W	アルミ製EXP.J（50）　外壁コーナー
T	鼻隠し幕板h＝300　カラーガルバリウム鋼板t＝0.5	X	土台水切りガルバリウム鋼板t＝0.35
U	アルミ亜鉛合金めっき鋼板（ガルバリウム鋼板）　厚0.6 ルーフデッキ（三晃金属同等品以上）	Y	モルタルハケ引き
V	けらば包み：屋根同材	Z	竪樋VP100φ

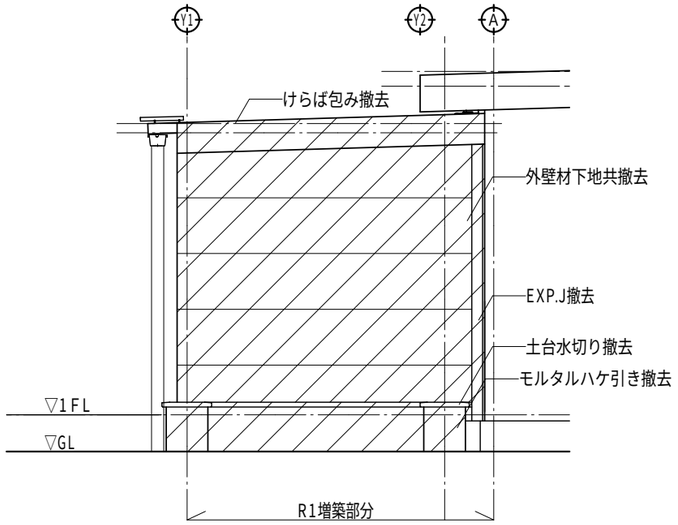


X－X’断面図

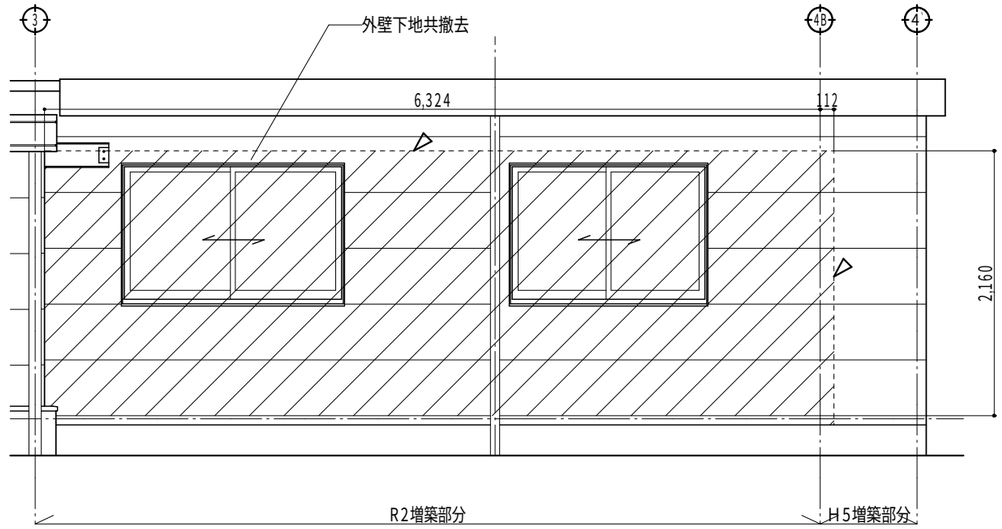


Y－Y’断面図

株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号　143379　伊藤 公	工事名			設計番号
日付	1級建築士登録番号　317976　太田 武志	井田川小学校校舎増築等工事			
2020.2.12		図面名	縮尺	図面番号	
		給食室棟ワゴンプール　立面・断面図（改修後）	A3:1/100	A－45	



東立面図（既設）

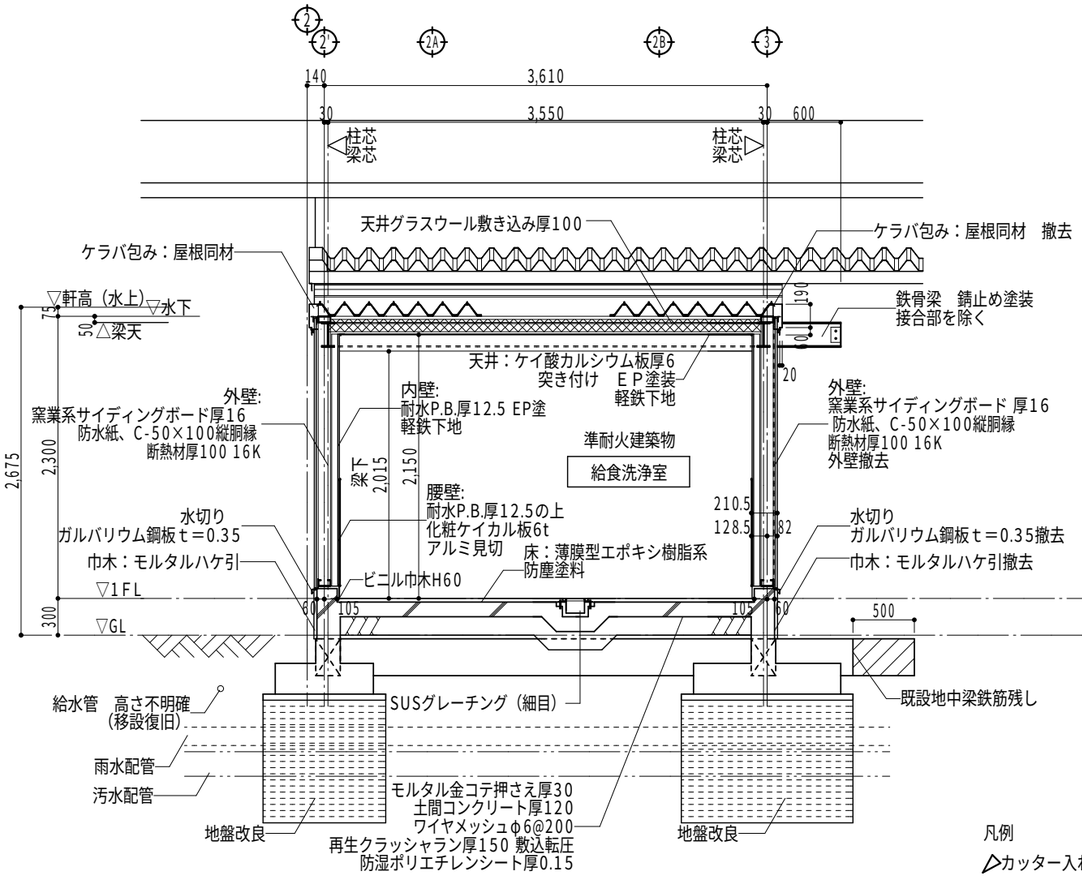


南立面図（既設）

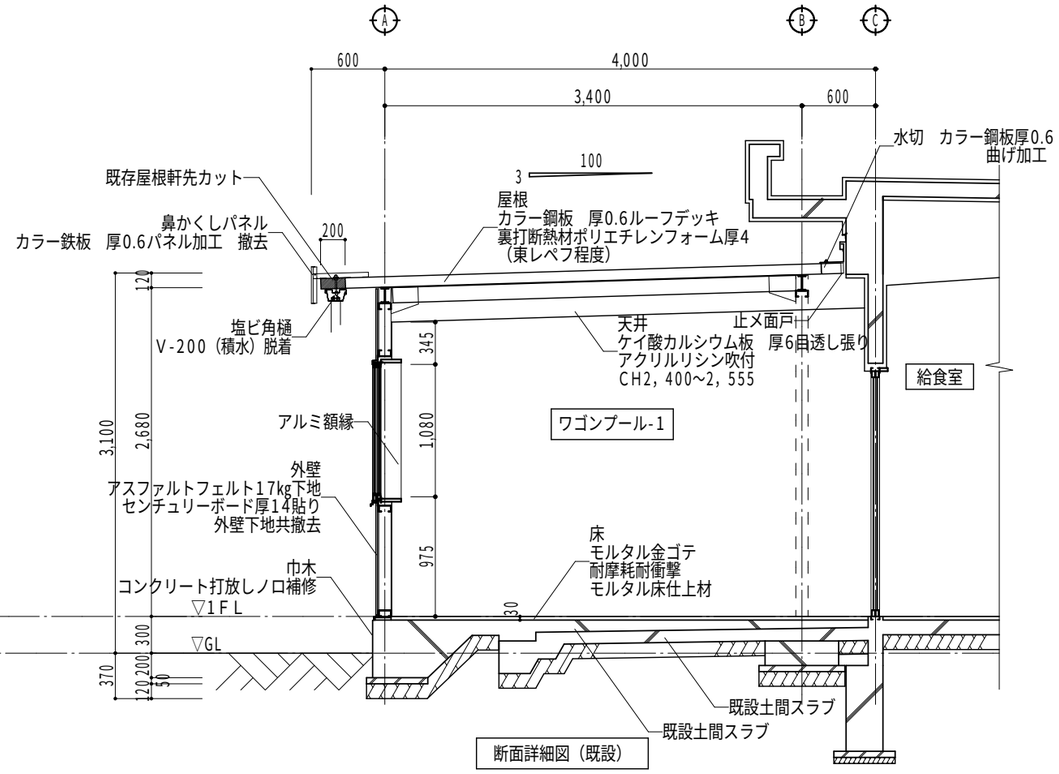
凡例

カッター入れ位置を示す

斜線部分は撤去部分を示す。



断面詳細図-1（既設）



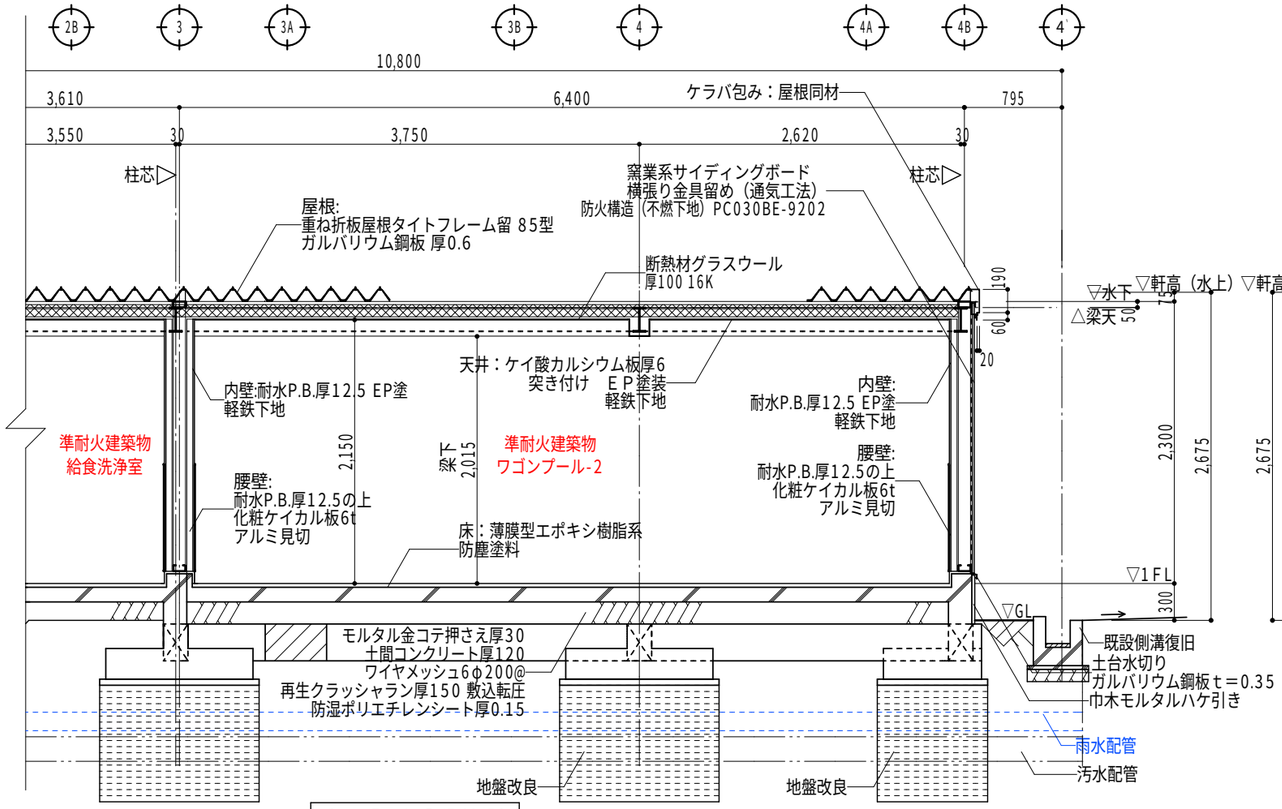
断面詳細図（既設）

凡例

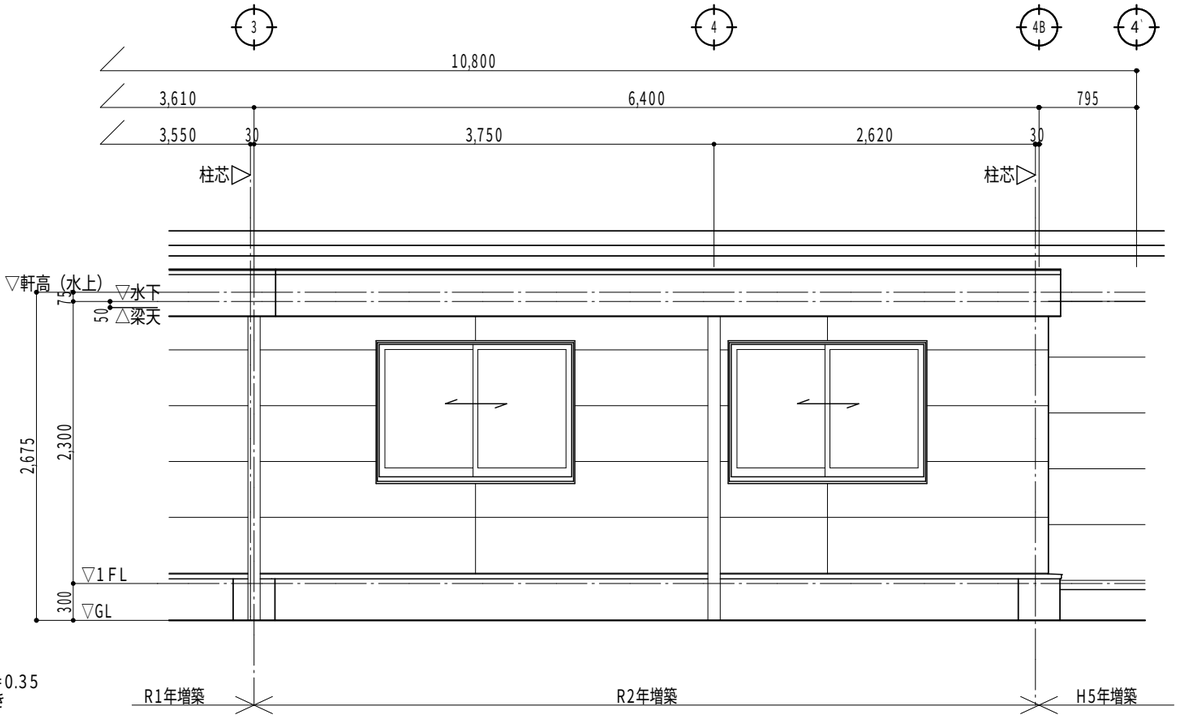
カッター入れを示す

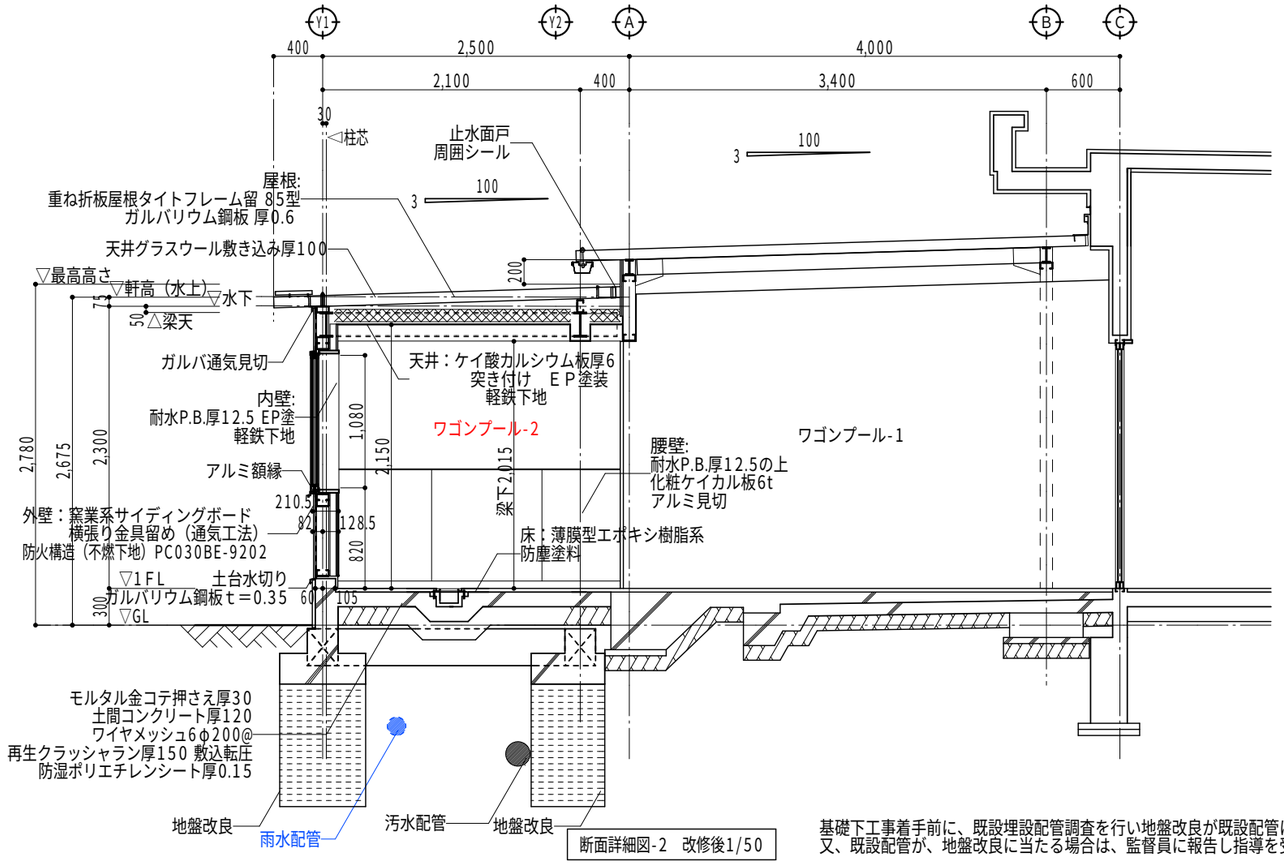
斜線部分は撤去範囲を示す。

株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号 143379 伊藤 公	工事名 井田川小学校校舎増築等工事			設計番号
日付 2020.2.12	1級建築士登録番号 317976 太田 武志	図面名 給食室棟ワゴンプール　断面詳細図（既設）	縮尺 A3:1/50		図面番号 A-46

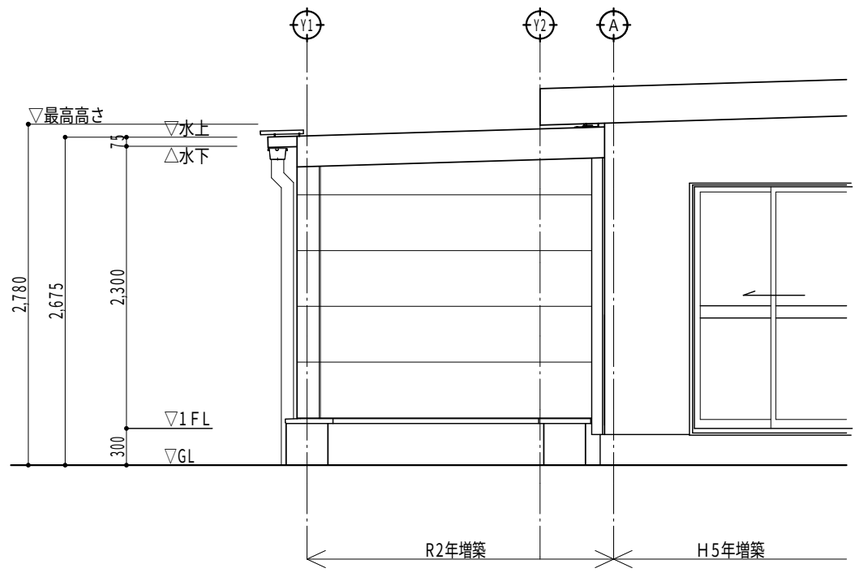


断面詳細図-1　改修後1/50



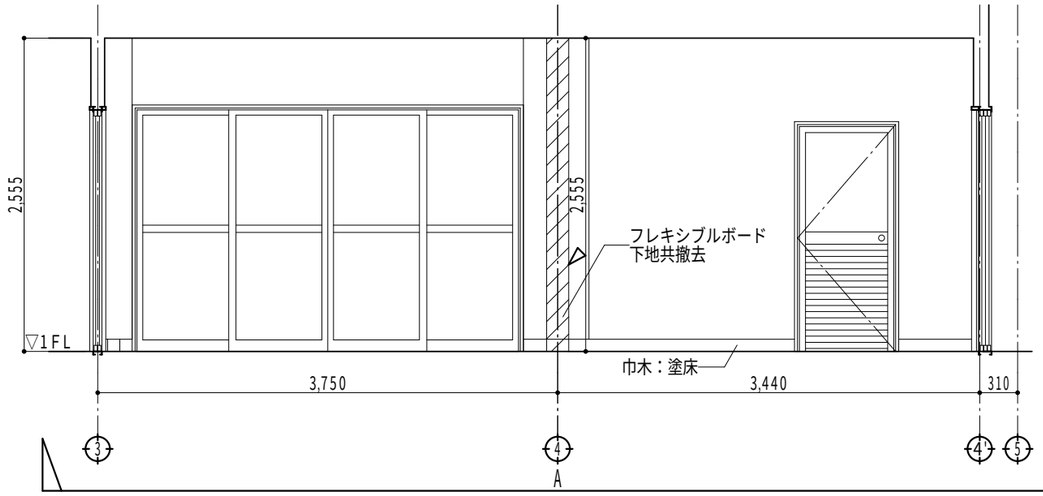


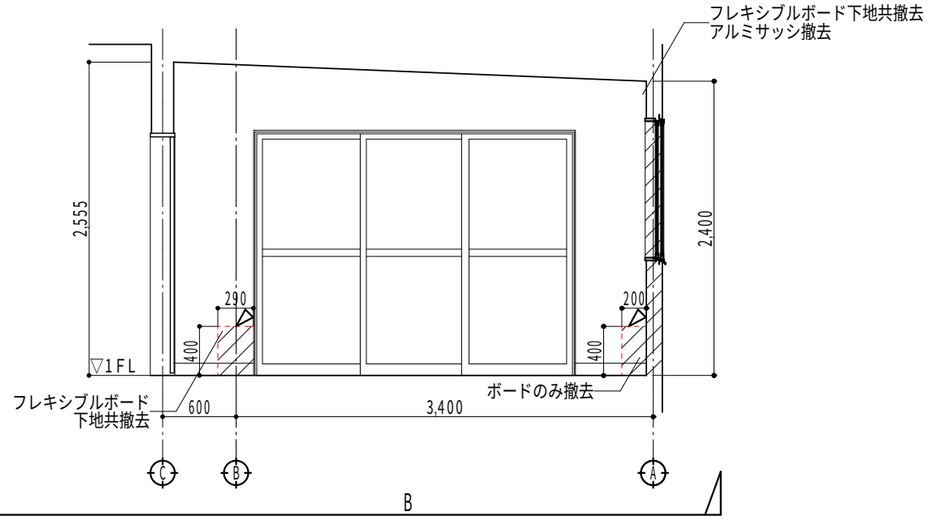
断面詳細図-2　改修後1/50

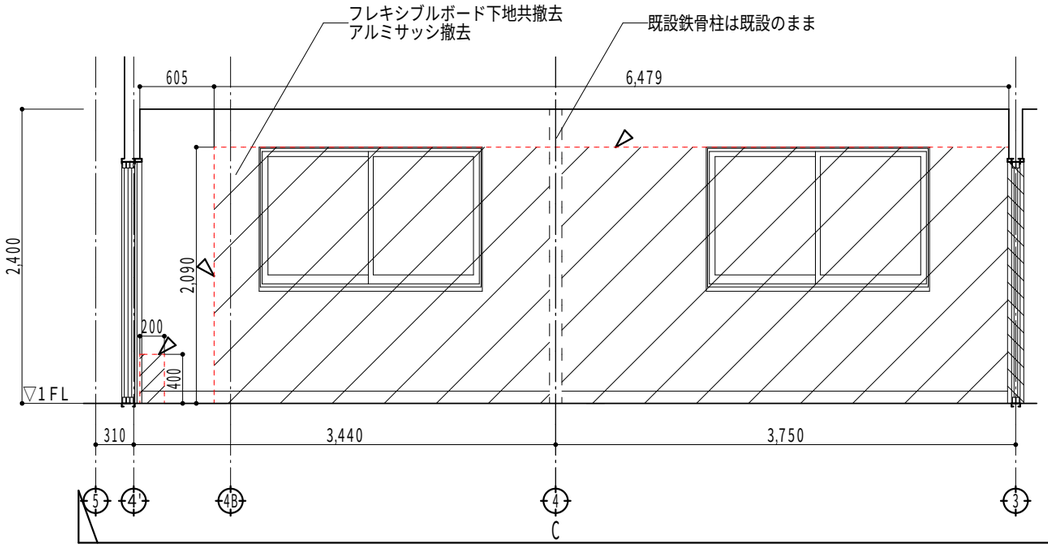


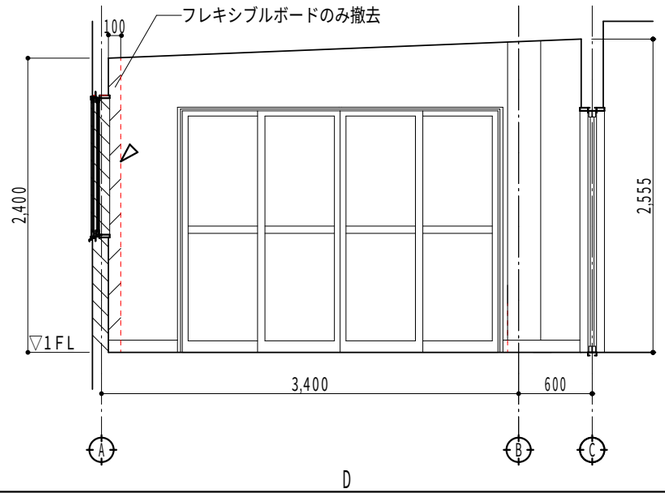
基礎下工事着手前に、既設埋設配管調査を行い地盤改良が既設配管に当たらない事を確認すること
又、既設配管が、地盤改良に当たる場合は、監督員に報告し指導を受けること

株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号 143379 伊藤 公	工事名 井田川小学校校舎増築等工事	設計番号
日付 2020.2.12	1級建築士登録番号 317976 太田 武志	図面名 給食室棟ワゴンプール 断面詳細図 (改修後) 縮尺 A3:1/50	図面番号 A-47







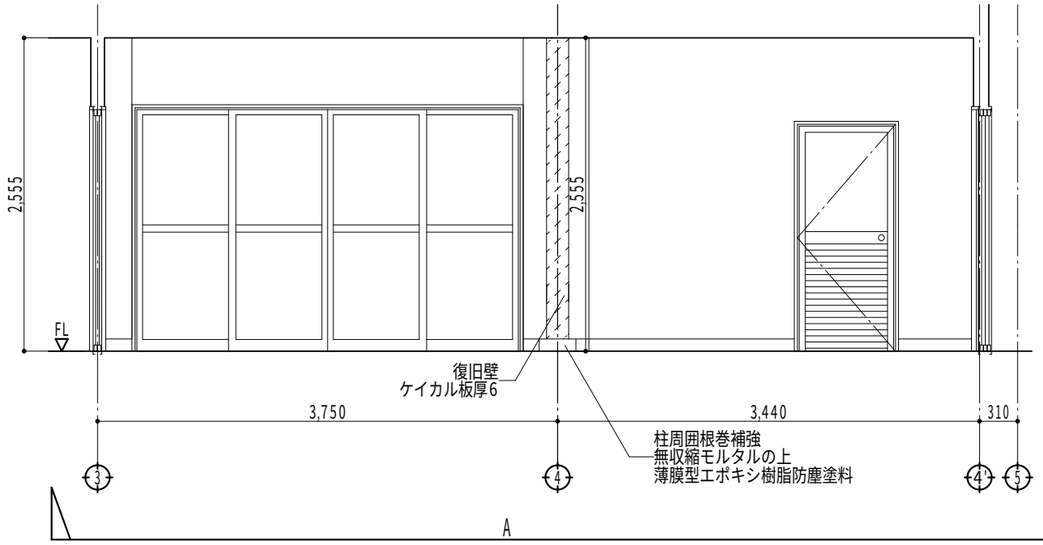


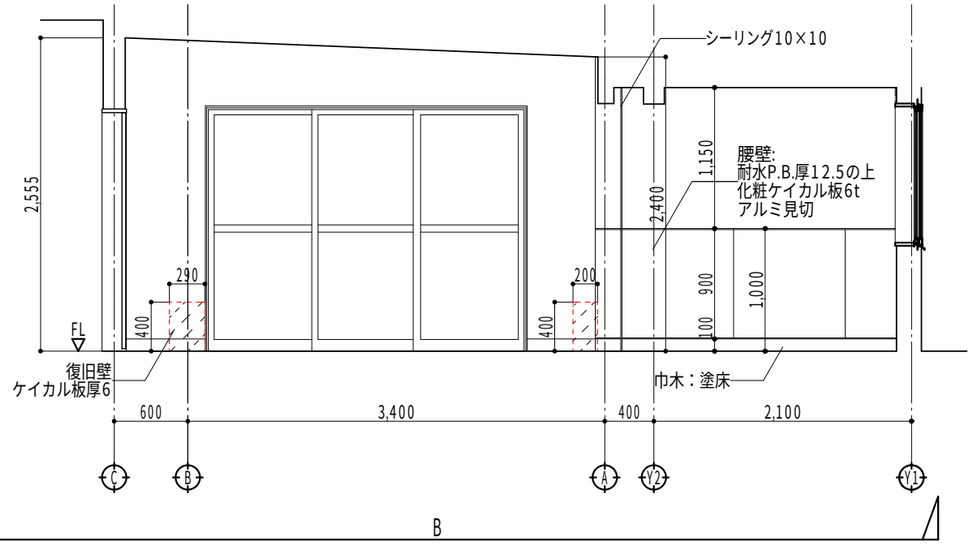
凡例

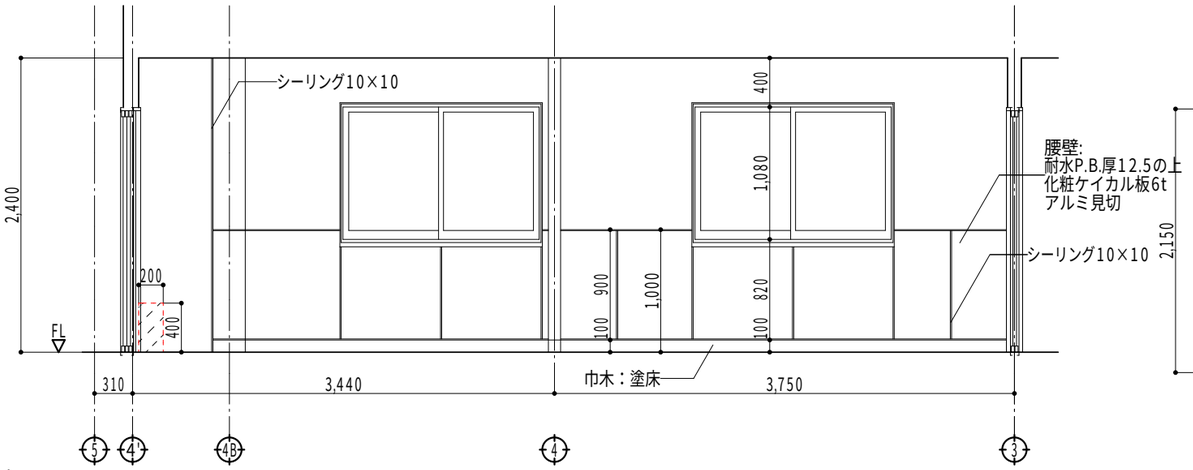
カッター入れ位置を示す

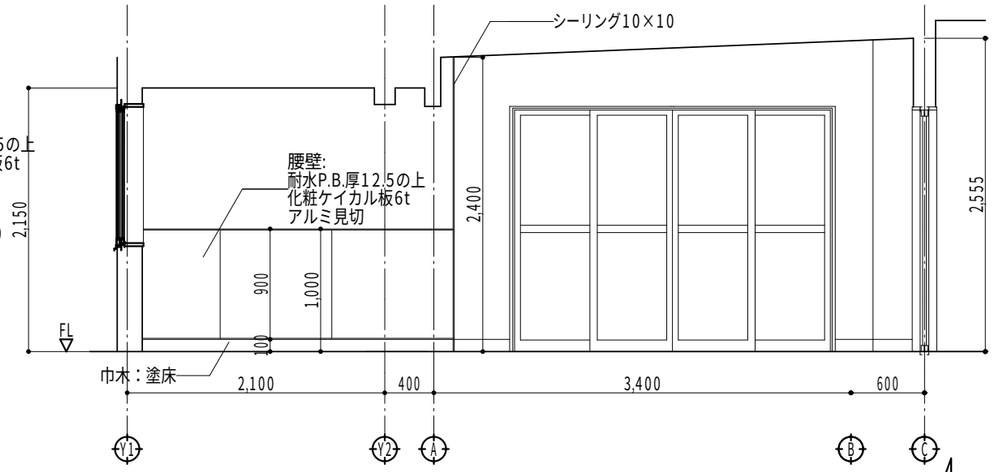
斜線部分は撤去部分を示す

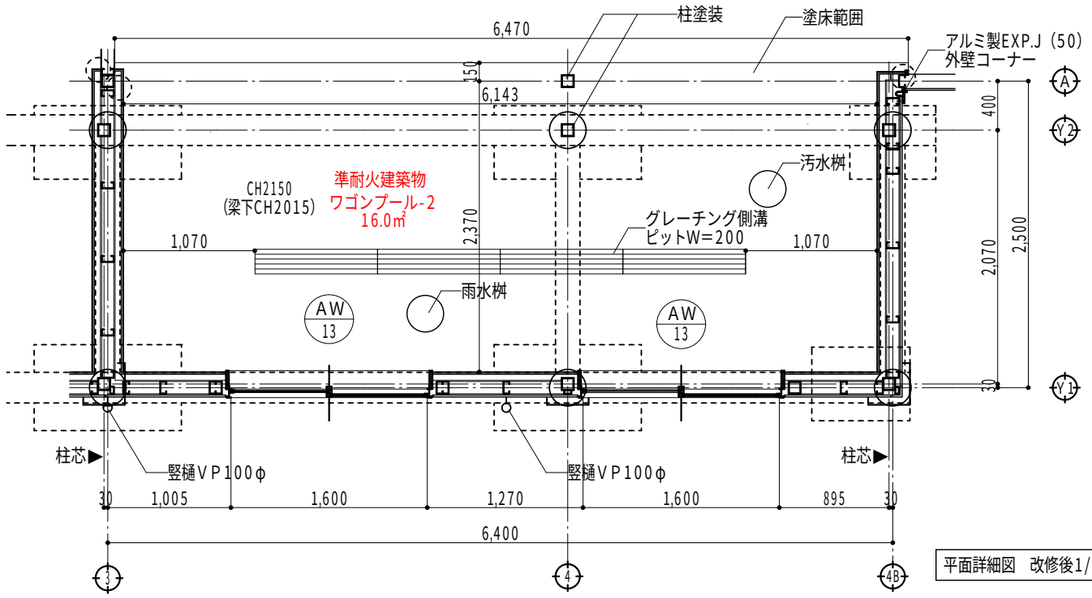
株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号 143379 伊藤 公	工事名			設計番号
		井田川小学校校舎増築等工事			
日付	1級建築士登録番号 317976 太田 武志	図面名		縮尺	図面番号
2020.2.12		給食室棟ワゴンプール 展開図（既設）		1/50	A－48









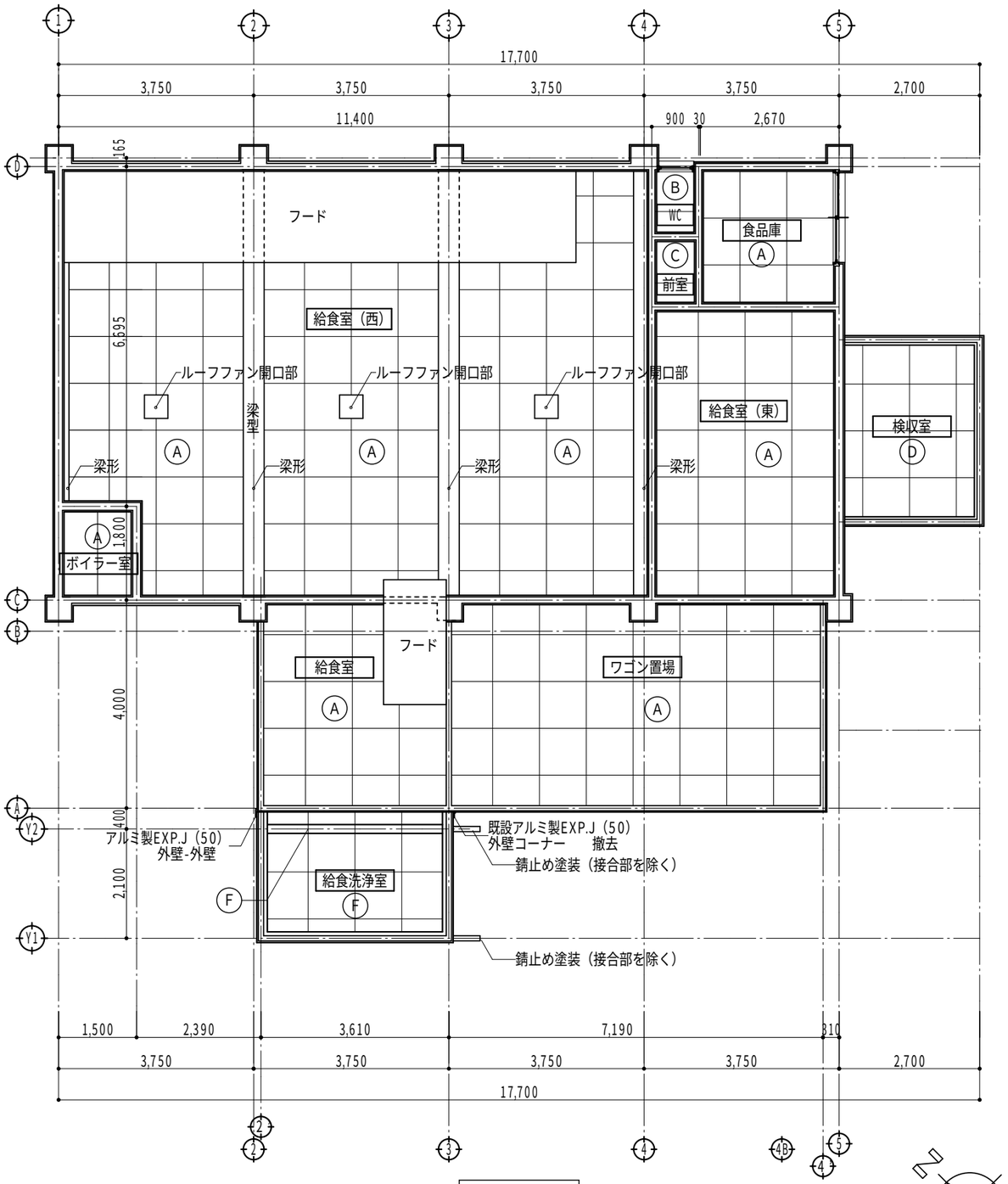


平面詳細図　改修後1/50

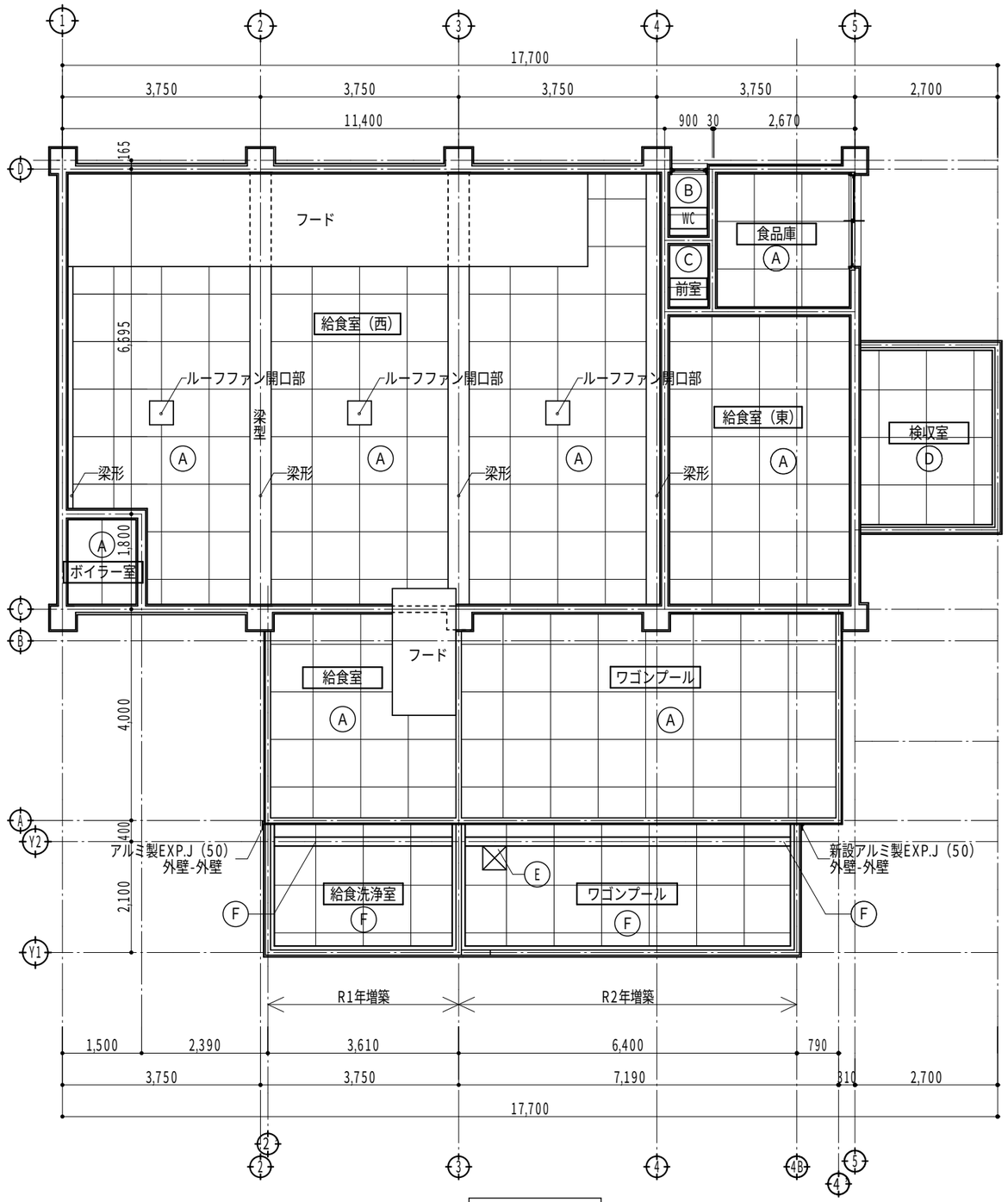
凡例

斜線部分は復旧壁を示す

株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号 143379 伊藤 公	工事名			設計番号
		井田川小学校校舎増築等工事			
日付	1級建築士登録番号 317976 太田 武志	図面名		縮尺	図面番号
2020.2.12		給食室棟ワゴンプール　展開図（改修後）		1/50	A－49



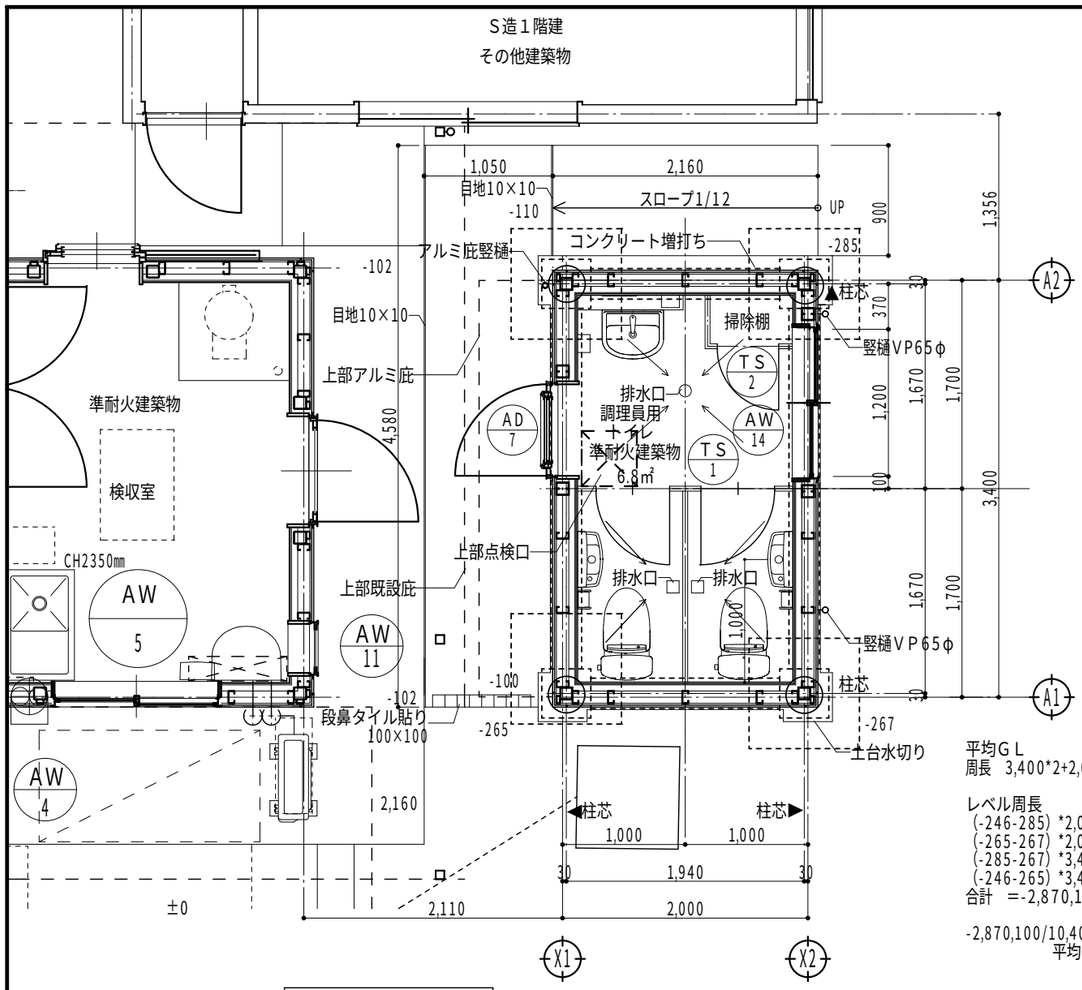
天井伏図（既設）



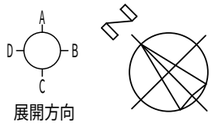
天井伏図（改修後）

A	ケイ酸カルシウム板 6mm目透し貼り アクリルリシン吹き
B	ケイ酸カルシウム板 6mm目透し貼り 塩化ビニル樹脂エナメル塗り
C	ケイ酸カルシウム板 9mm目透し貼り アクリルリシン吹き
D	ユニットパネル
E	天井点検口450×450
F	ケイ酸カルシウム板 6mm突付け アクリルリシン吹き　ＥＰ塗装

株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号 143379 伊藤 公	工事名 井田川小学校給食洗浄室増築工事	設計番号
日付 2020.2.12	1級建築士登録番号 317976 太田 武志	図面名 給食室棟ワゴンプール 天井伏図（既設）（改修後）	縮尺 A3:1/100
			図面番号 A－50



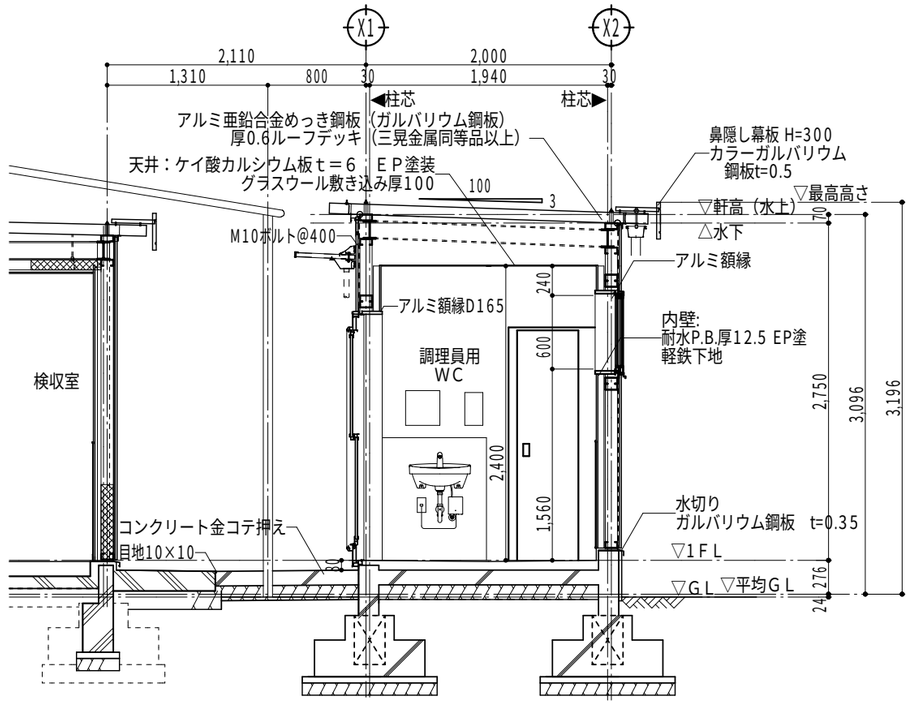
平面詳細図　S=1/50



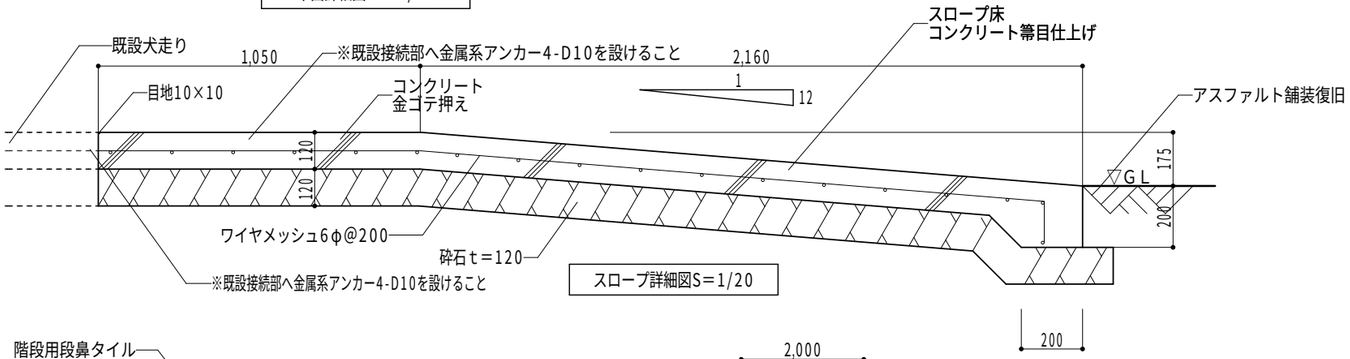
平均ＧＬ
周長　3,400*2+2,000*2=10,400

レベル周長
(-246-285) *2,000/2=-53,1000
(-265-267) *2,000/2=-53,2000
(-285-267) *3,400/2=-938,400
(-246-265) *3,400/2=-868,700
合計　=-2,870,100

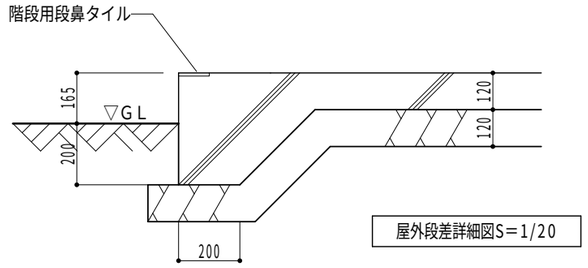
-2,870,100/10,400=275.97
平均ＧＬ-276



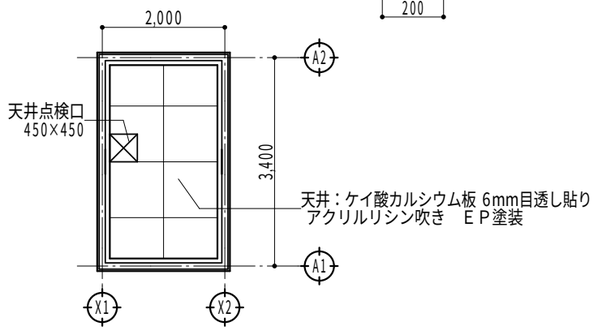
断面詳細図-2　S=1/50



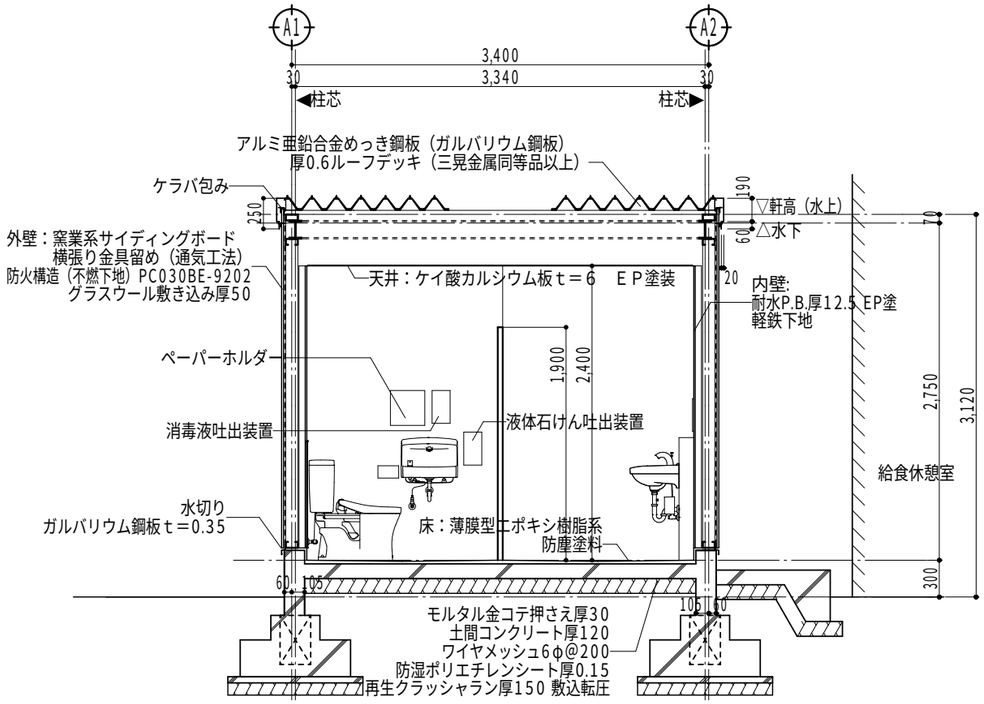
スロープ詳細図S＝1/20



屋外段差詳細図S＝1/20

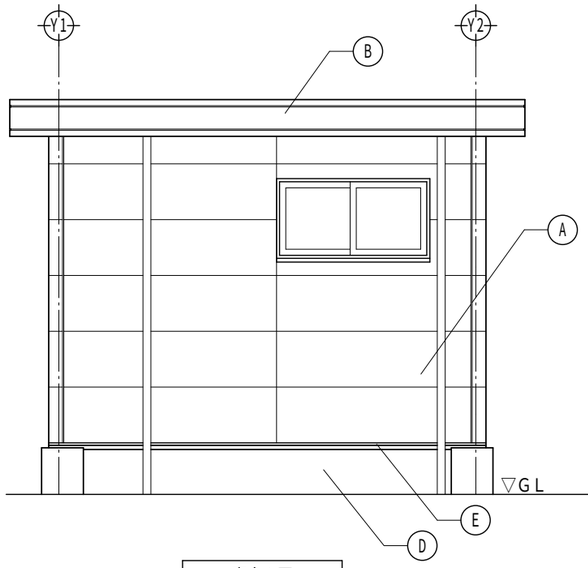


調理員用トイレ棟天井伏図　S=1/100

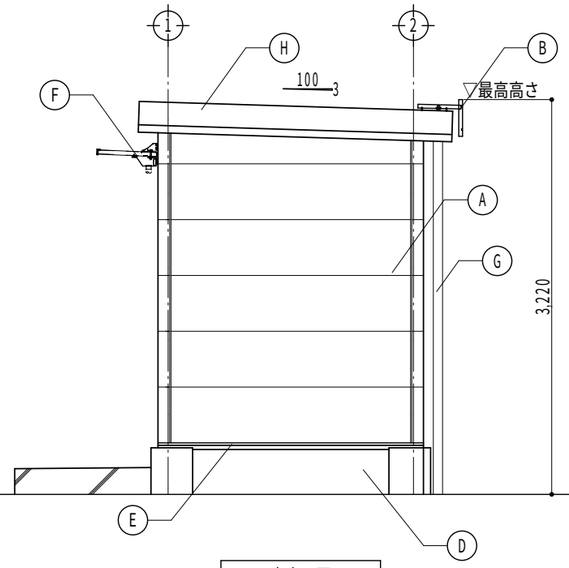


断面詳細図-1　S=1/50

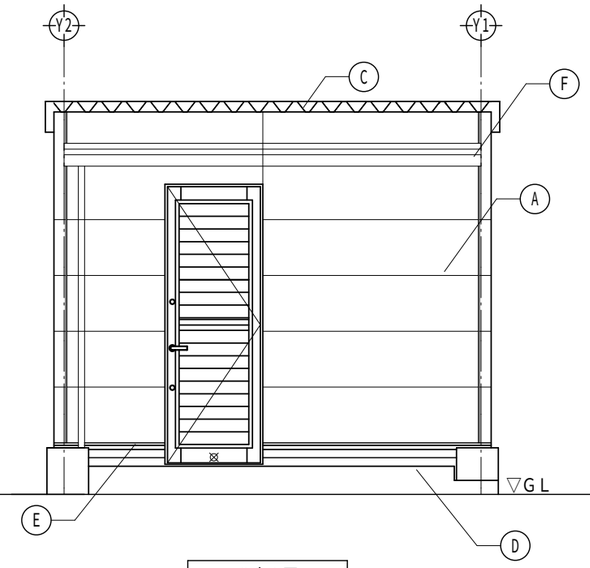
株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号 143379 伊藤 公	工事名 井田川小学校校舎増築等工事	設計番号
日付 2020.2.12	1級建築士登録番号 317976 太田 武志	図面名 調理員用トイレ棟 平面詳細図・断面詳細図・天井伏図 / 縮尺 A3:1/50	図面番号 A-51



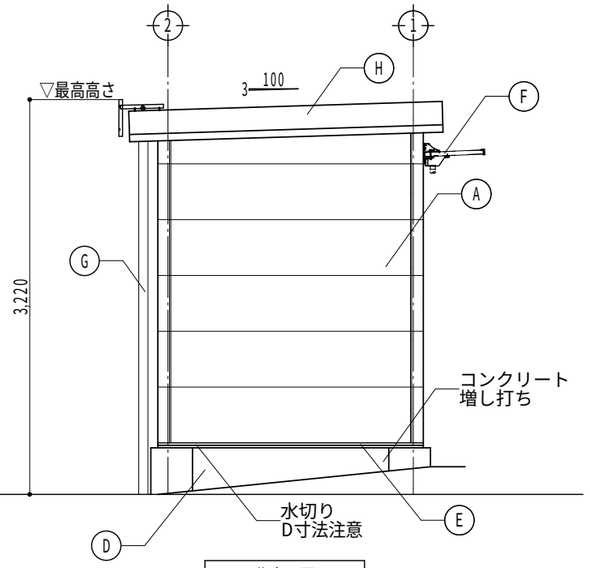
東立面図



南立面図

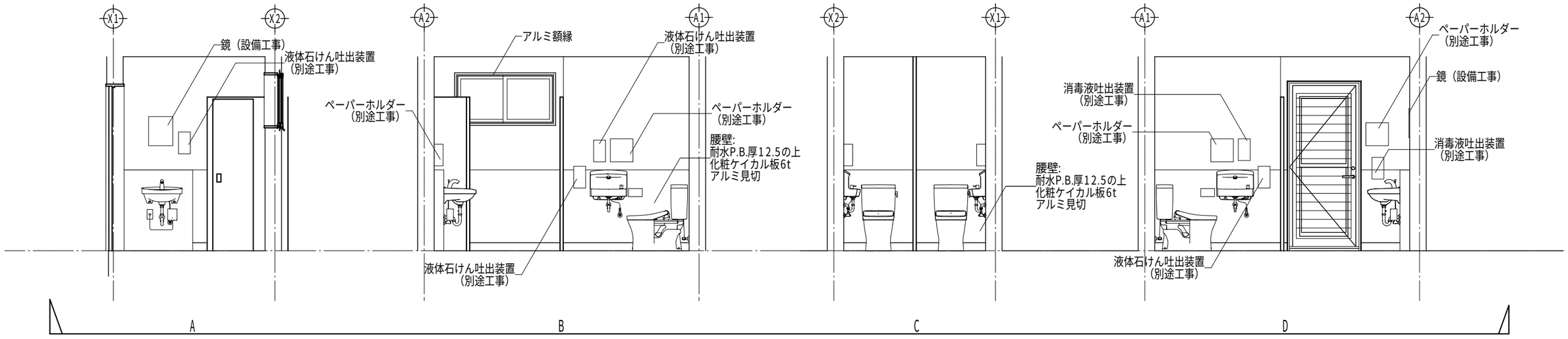


西立面図



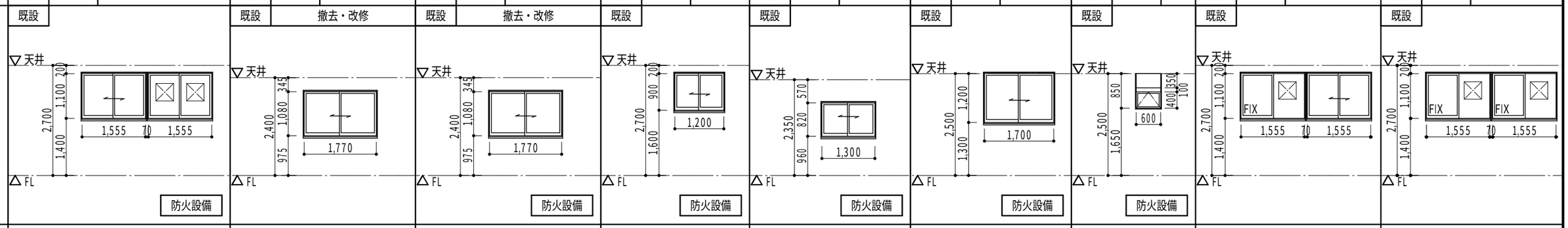
北立面図

A	窯業系サイディングボード　横張り金具留め（通気工法） 防火構造（不燃下地）PC030BE-9202	D	モルタルハケ引き	G	竪樋VP65φ
B	鼻隠し幕板h＝300　カラーガルバリウム鋼板t＝0.5	E	ガルバリウム鋼板t＝0.35	H	けらば包み
C	アルミ亜鉛合金めっき鋼板（ガルバリウム鋼板）　厚0.6 ルーフデッキ（三晃金属同等品以上）	F	アルミ製逆勾配庇　出幅500×巾3400		

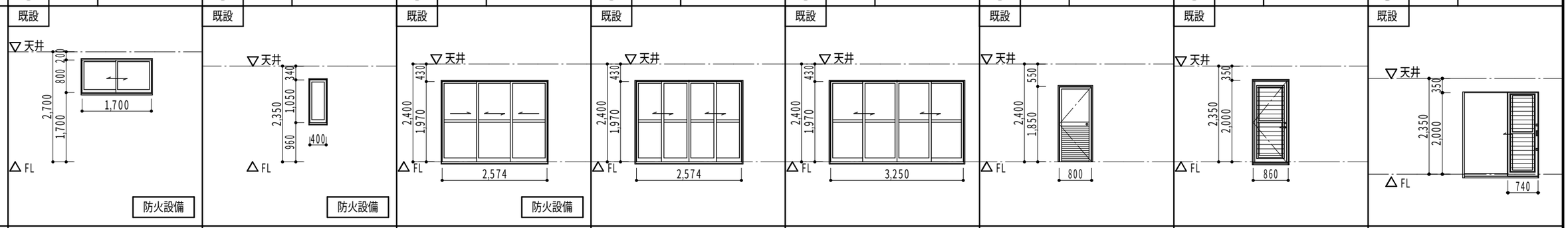


株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号 143379 伊藤 公	工事名 井田川小学校校舎増築等工事			設計番号
日付 2020.2.12	1級建築士登録番号 317976 太田 武志	図面名 調理員用トイレ棟　立面図・展開図	縮尺 A3:1/50		図面番号 A-52

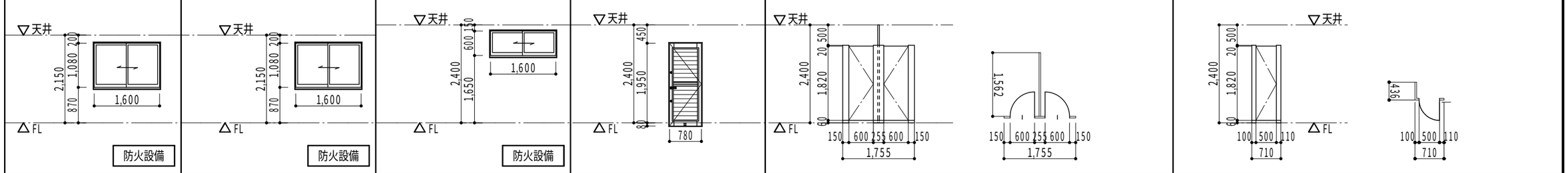
符号・数量 取付場所	1 AW 1ヶ所 給食室	2 AW 1ヶ所 ワゴンプール	3 AW 1ヶ所 ワゴンプール	4 AW 1ヶ所 給食室(東)	5 AW 1ヶ所 検収室	6 AW 1ヶ所 食品庫	7 AW 1ヶ所 WC	8 AW 2ヶ所 給食室(西)	9 AW 1ヶ所 給食室(西)
姿　図	既設	既設 撤去・改修	既設 撤去・改修	既設	既設	既設	既設	既設	既設
形式見込	アルミ製２連引違い窓	アルミ製半外付け型引違い窓　見込70	アルミ製半外付け型引違い窓　見込70	アルミ製引違い窓	アルミ製引違い窓	アルミ製引違い窓	アルミ製内倒し嵌殺し窓	アルミ製引違い窓及びFIX窓	アルミ製FIX窓
仕　上	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト
硝　子	t=6.8ラフワイヤー硝子、アルミパネルｔ=3.0	t=5.0透明硝子	t=6.8網入みがき硝子	t=6.8ラフワイヤー硝子	t=6.8透明網入硝子	t=6.8ラフワイヤー硝子	t=6.8ラフワイヤー硝子	t=4.0型板硝子、t=3.0アルミパネル	t=4.0型板硝子、t=3.0アルミパネル
金　物	クレセント、附属金物一式	クレセント、附属金物一式	クレセント、附属金物一式	クレセント、附属金物一式	クレセント、附属金物一式	クレセント、附属金物一式	附属金物一式	クレセント、附属金物一式	附属金物一式
備　考	ステンレス可動網戸	サラン可動網戸	サラン可動網戸	ステンレス可動網戸	－	ステンレス可動網戸	ステンレス固定網戸	ステンレス可動網戸	－



符号・数量 取付場所	10 AW 1ヶ所 給食室(西)	11 AW 1ヶ所 検収室	1 AD 1ヶ所 ワゴンプール	2 AD 1ヶ所 給食室	3 AD 1ヶ所 ワゴンプール	4 AD 1ヶ所 ワゴンプール	5 AD 1ヶ所 検収室	6 AD 1ヶ所 検収室
姿　図	既設	既設	既設	既設	既設	既設	既設	既設
形式見込	アルミ製FIX窓	アルミ縦滑出し窓	アルミ製３枚引違い戸　見込105	アルミ製４枚引違い戸	アルミ製４枚引違い戸	アルミ製片開きドア	アルミ製通風片開き戸	アルミ通風片引き戸
仕　上	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト
硝　子	t=6.8mmラフワイヤー硝子	複層ガラス　透明	t=6.8mm網入みがき硝子	t=5.0mm透明硝子	t=5.0mm透明硝子	－	複層ガラス 型板　(3+A12+4)	複層ガラス 型板　(3+A12+4)
金　物	附属金物一式	附属金物一式	引手、クレセント、附属金物一式	引手、クレセント、附属金物一式	クレセント、附属金物一式	シリンダー錠、丁番、附属金物一式	シリンダー錠付、附属金物一式	シリンダー錠付、附属金物一式
備　考	－	網戸付	サラン可動網戸、SUSレールカバー	SUSレールカバー	SUS床見切、SUSレールカバー	ドアチェック	網戸付、横格子付	網戸付、横格子付、

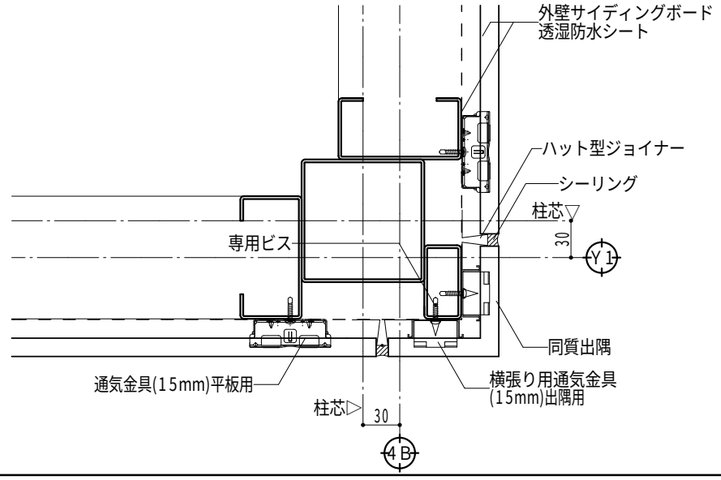


符号・数量 取付場所	12 AW 1ヶ所 給食洗浄室	13 AW 2ヶ所 ワゴンプール-2	14 AW 1ヶ所 調理員用トイレ	7 AD 1ヶ所 調理員用トイレ	1 TS 1ヶ所 調理員用トイレ	2 TS 1ヶ所 調理員用トイレ
姿　図	既設	新設	新設	新設	新設	新設
形式見込	アルミ製引違い窓	アルミ製引違い窓　アルミ額縁	アルミ製引違い窓　アルミ額縁	採風勝手口ドア　アルミ額縁	トイレブース	トイレブース
仕　上	アルミ　シルバー色	アルミ　シルバー色	アルミ　シルバー色	アルミ　シルバー	メラミン化粧板	メラミン化粧板
硝　子	t=6.8㎜透明網入硝子	t=6.8㎜透明網入硝子	t=6.8㎜透明網入硝子	複層ガラス 型板	――――	
金　物	網戸付、クレセント、付属金物一式	網戸付、クレセント、付属金物一式	網戸付、クレセント、付属金物一式	シリンダー錠付、附属金物一式	グレビティヒンジ、アルミ笠木、 ＳＵＳ巾木、アルミアールエッジ	金　物：グレビティヒンジ、アルミ笠木、ＳＵＳ巾木、アルミアールエッジ 戸当たり帽子掛
備　考	認定番号：EB-2562	認定番号：EB-2562	認定番号：EB-2562	網戸付、横格子付	表示錠、戸当たり帽子掛、非常時外開き	

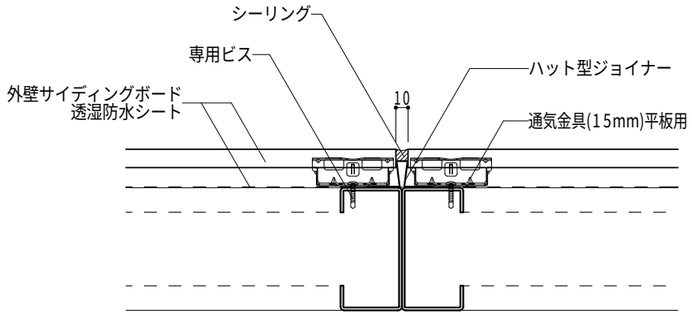


株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号 143379 伊藤 公	工事名：井田川小学校給食洗浄室増築工事	設計番号
日付：2020.2.12	1級建築士登録番号 317976 太田 武志	図面名：給食室棟ワゴンプール、調理員用トイレ棟建具表（既設）（改修後）	縮尺：A3:1/50
			図面番号：A－53

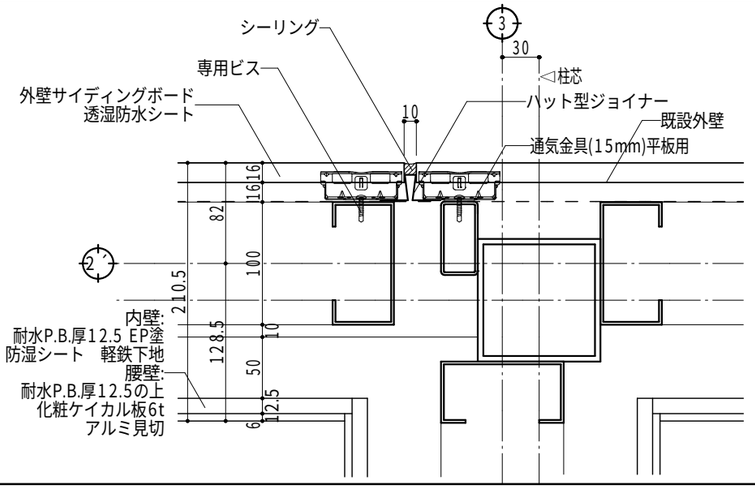
鉄骨造・横張り・通気金具留め　詳細図　S=1/5



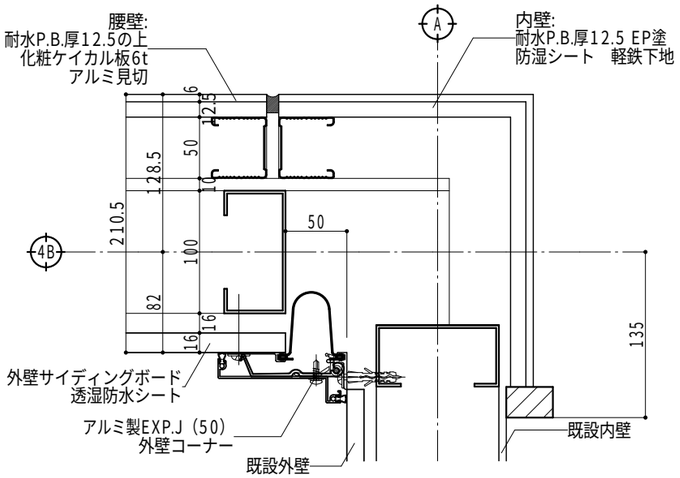
鉄骨造・横張り・通気金具留め　縦目地部納まり詳細図　S=1/5



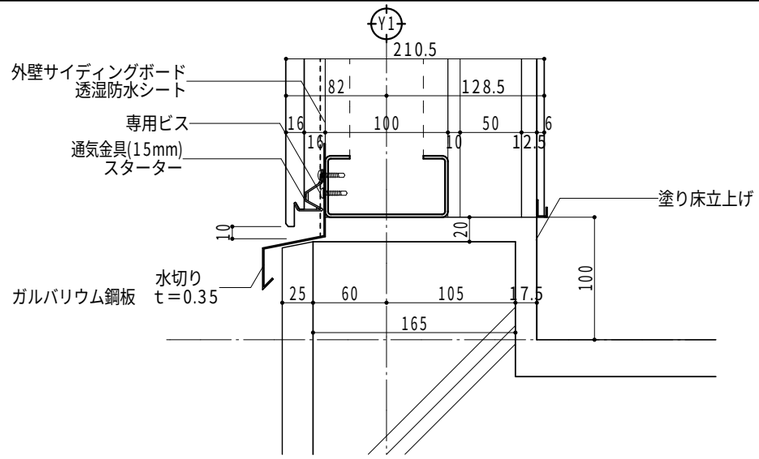
鉄骨造・一般壁　詳細図　S=1/5



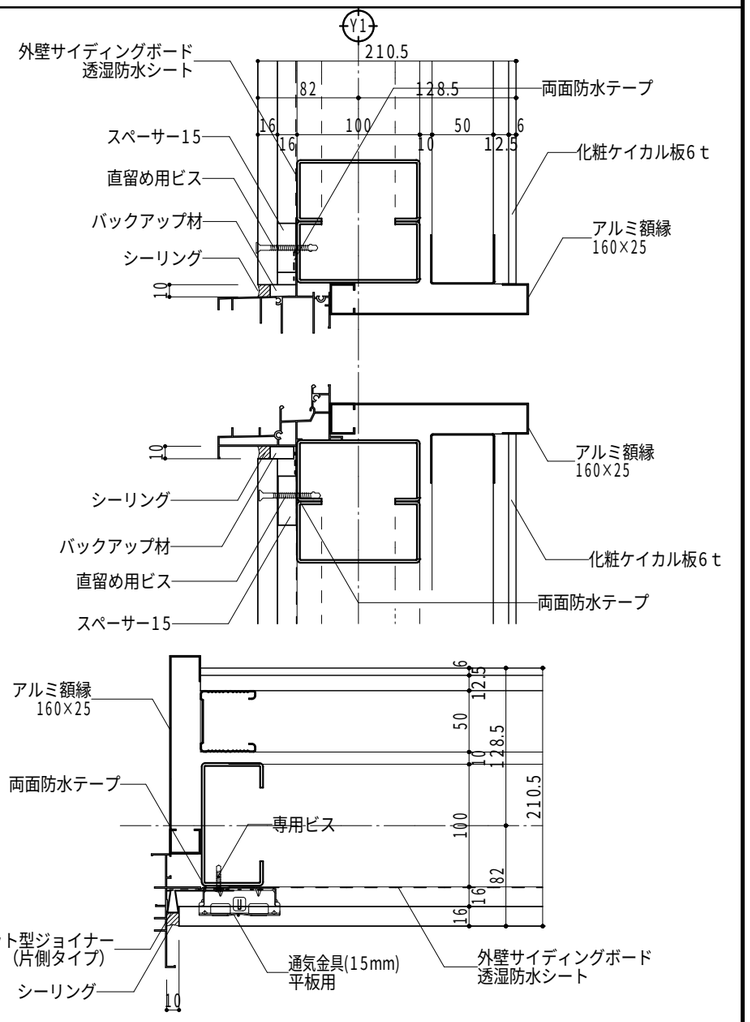
鉄骨造・入隅部壁　EXP.J詳細図　S=1/5



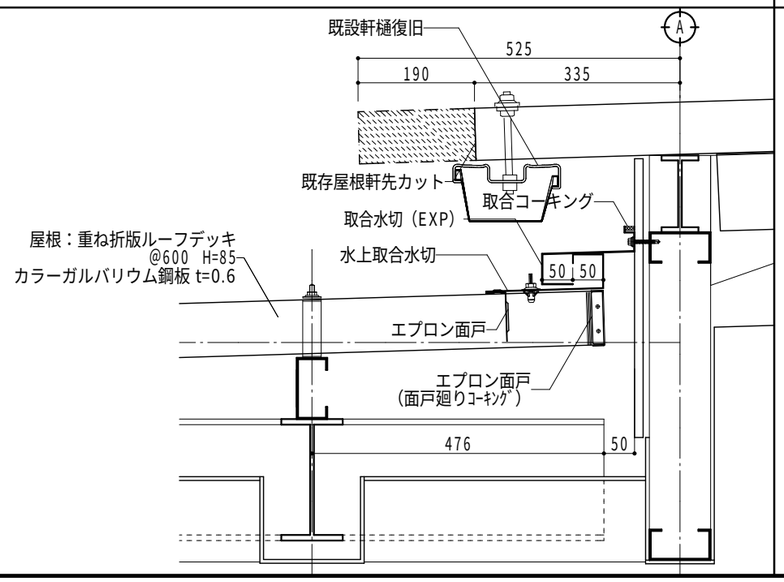
鉄骨造・土台部(アルミ通気土台水切り)納まり詳細図　S=1/5



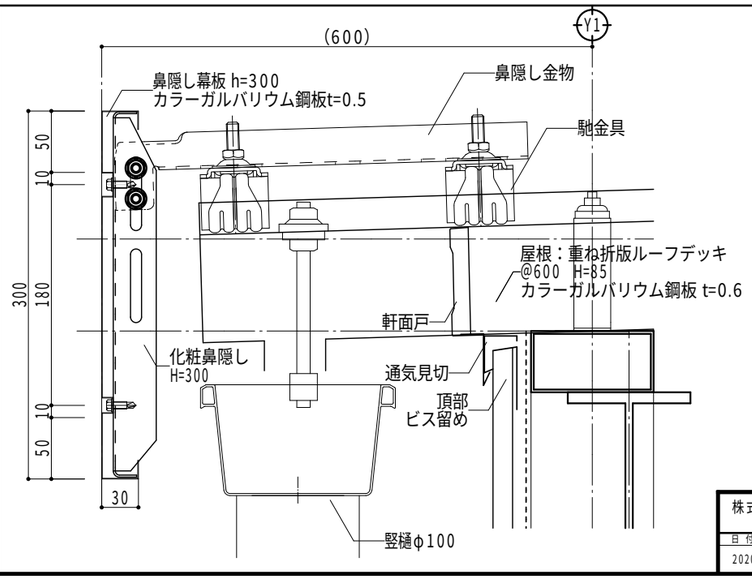
鉄骨造・開口部（縦断面）納まり詳細図　S=1/5



鉄骨造・下屋部　屋根取合い詳細図　S=1/10

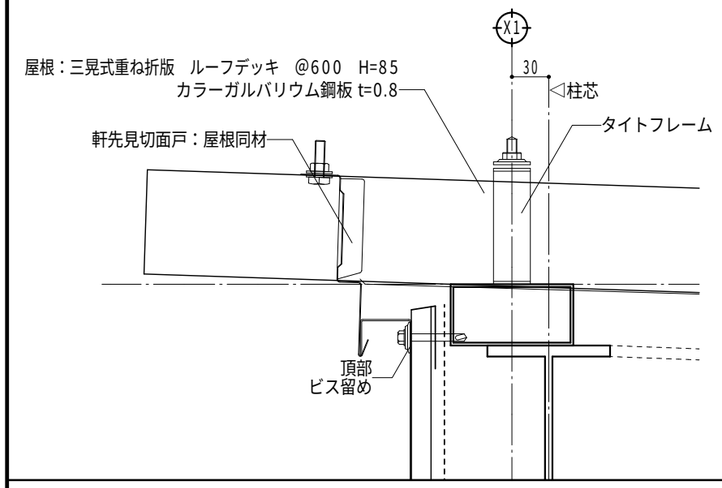


鉄骨造・軒先部　鼻隠し納まり　S=1/5

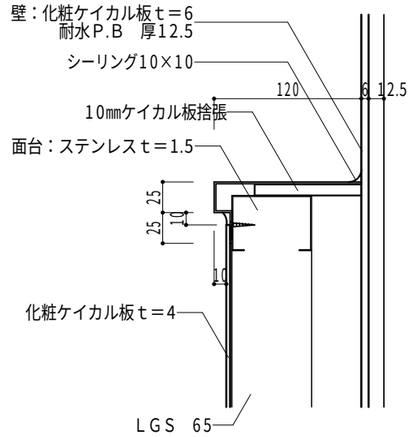


株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139　FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号　14337９　伊藤　公	工事名 井田川小学校給食洗浄室増築工事	設計番号
日付 2020.2.12	1級建築士登録番号　317976　太田　武志	図面名 給食室棟ワゴンブール　部分詳細図	縮尺 1/5,10　図面番号 A－54

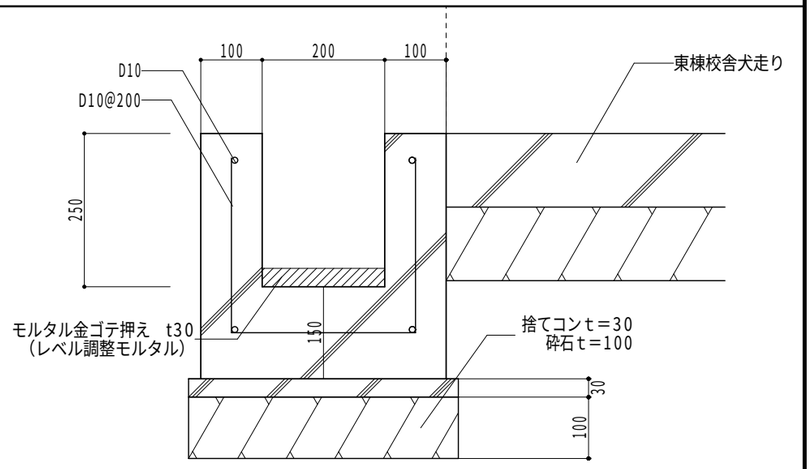
鉄骨造・軒先部（水上）　S=1/5



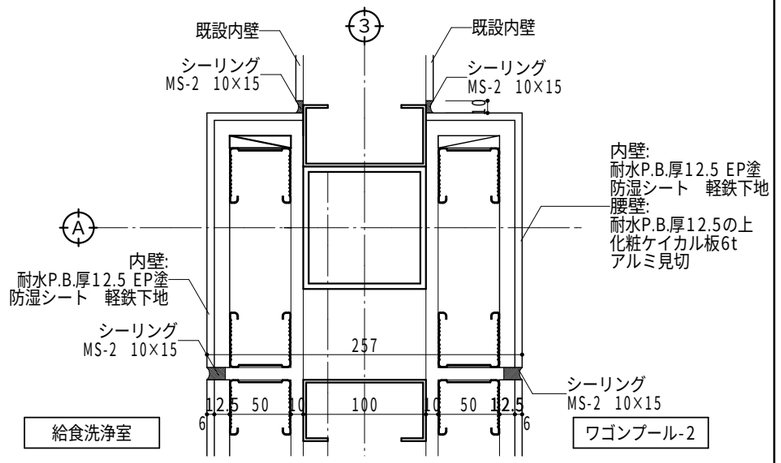
面台断面詳細図　S=1/5



東棟側溝断面詳細図　S=1/5

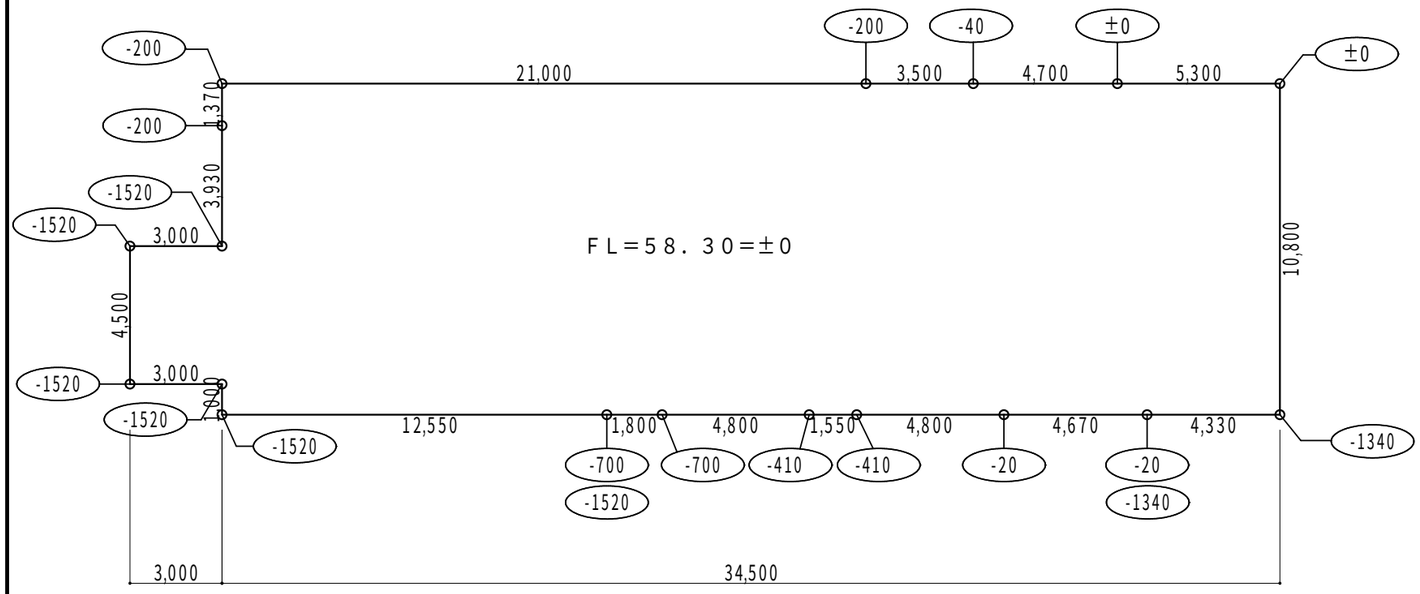


鉄骨造・一般壁　EXP.J詳細図　S=1/5



株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号 143379 伊藤 公	工事名 井田川小学校給食洗浄室増築工事	設計番号
日付 2020.2.12	1級建築士登録番号 317976 太田 武志	図面名 調理員用トイレ棟　部分詳細図	縮尺 1/5,10　図面番号 A－55

平均地盤高の算定



平均地盤面算定図　S=1/200

平均地盤面算定式	
21.0 × −0.2	−4.20
3.50 ×（ −0.2 ＋ −0.04 ）× 1/2	−0.42
4.70 × −0.04 × 1/2	−0.094
10.80 × −1.34 × 1/2	−7.236
4.33 × −1.34	−5.8022
4.67 × −0.02	−0.0934
4.80 ×（ −0.2 ＋ −0.41 ）× 1/2	−1.464
1.55 × −0.41	−0.6355
4.80 ×（ −0.41＋ −0.70 ）× 1/2	−2.664
1.80 × −0.70	−1.26
12.55 × −1.52	−19.076
1.00 × −1.52	−1.52
3.00 × −1.52	−4.56
4.50 × −1.52	−6.84
3.00 × −1.52	−4.56
3.93 ×（ −0.2 ＋ −1.52 ）× 1/2	−3.3798
1.37 × −0.2	−0.27
	-64.075
−64.075 ／ 96.60（周長）	−0.663 ＝ −0.67
∴平均地盤面はＦＬ−６７０（ＫＢＭ５７．６３）	

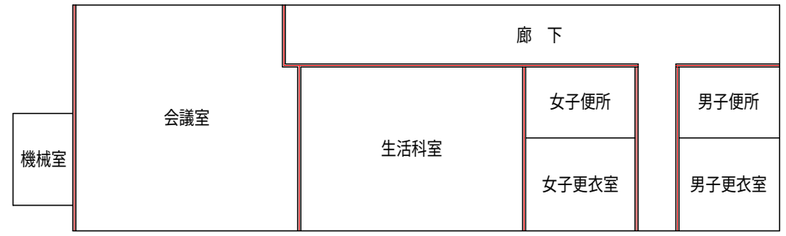
開口部の検討

室　名	床面積（㎡）	採光面積（法２８条の１、令１１６条の２の１） 必要面積 1／5	建具番号	W　H	開口面積	換気面積（法２８条の２） 必要面積 1／20	建具番号	W　H		排煙面積（令１２８条の３の２） 必要面積 1／50	建具番号	W　H	
会議室	11.00×10.80-0.25×2.955 118.06	23.61	AW1	2.265×1.100×２×３ 2.265×0.88 ×２×３ ＝26.90 判定：O.K	26.90	5.90	AW1 AW2	2.265 × 1.100 × 0.5× 2 ＝ 2.49 2.270 × 1.10 × 0.5 ＝ 1.24 2.265 × 1.10 × 0.5 ＝ 1.24 2.270 × 0.88 × 0.5 ＝ 0.99 2.265 × 0.88 × 0.5 ＝ 0.99 判定：O.K	6.95	2.36	AW13	1.095× 0.765 ×４ ＝3.35 判定：O.K	3.35
生活科室	7.85×11.02 86.51	17.30	AW2	2.270×1.100×３ ＝ 7.49 2.270×0.88 ×３ ＝ 5.99 2.265×1.100×３ ＝ 7.47 ＝20.95 判定：O.K	20.95	4.33	AW2	2.270 × 1.10 × 0.5 ＝ 1.24 2.265 × 1.10 × 0.5 ＝ 1.24 2.270 × 0.88 × 0.5 ＝ 0.99 2.265 × 0.88 × 0.5 ＝ 0.99 判定：O.K	4.46	1.73	AW15	1.10 ×0.765×４ ＝3.36 判定：O.K	3.36

採光補正係数の計算
校舎南面　d＝１００m　h＝1．6m　とし計算　１００／1．6×6−1．4＝374≧3　よって採光補正係数を3とする。

消防法上の有　無窓階のチェック				
階数	必要開口	有効開口	有効開口面積	判定
１階	386.10÷30 ＝12.87㎡	AW-1：1.10×1.132×2=2.49　AW-3：1.10×1.10+1.10×1.102=2.42 AW-2：1.10×1.135+　AW-9：1.30×1.132+1.30×1.135=2.94 1.10×1.132=2.49　AW-10：1.30×1.00+2.20×1.00=3.50 計　13.84㎡	13.84㎡	ＯＫ

防火区画図

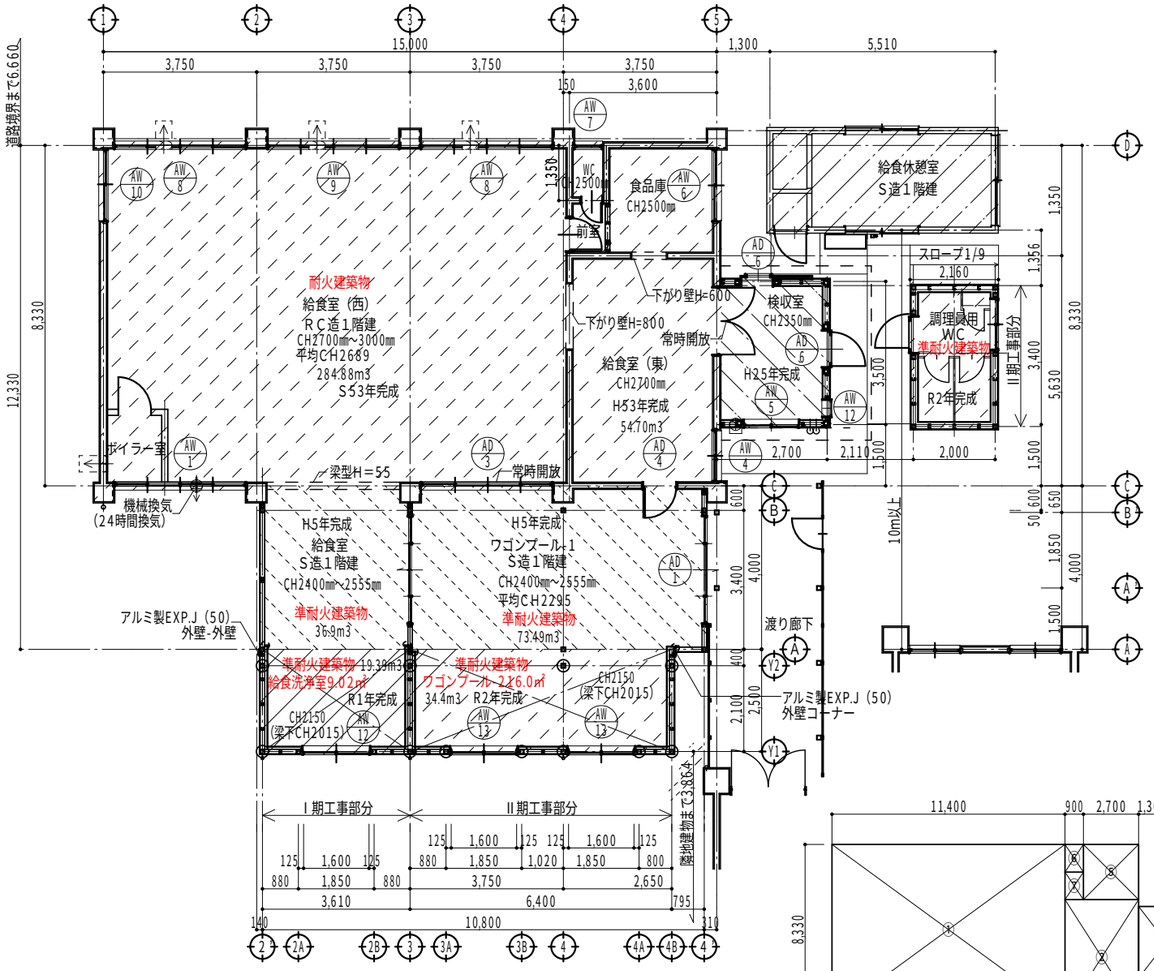


施工令第１１４条２項　界壁位置を示す
コンクリート壁　厚150
壁：耐火構造　告示第1399号

平均天井高

室名	計算式	数値
会議室	容積 0.58×3.00×11.00 （3.00+4.94）×7.22×0.50×11.00 （2.525×2.70+0.475×2.235）×11.00 計 床面積 11.00×10.80-0.25×2.955 平均天井高 421.12÷118.06	19.14 315.30 86.68 421.12㎡ 118.06㎡ 3,567㎜→3.57m
生活科室	容積 0.58×3.00×11.00 （3.00+4.94）×7.22×0.50×11.00 計 床面積 11.02×7.845 平均天井高 334.44÷86.45	19.14 315.30 334.44㎡ 86.45㎡ 3,868.6㎜→3.87m

株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号 143379 伊藤 公	工事名：井田川小学校校舎増築等工事	設計番号
日付：2020.2.12	1級建築士登録番号 317976 太田 武志	図面名：校舎棟　法規チェック図	縮尺：A3:1/100　図面番号：A−56



法規チェック図S=1/100

求積図S=1/200

凡例

- S53年完成　耐火建築物　124.95㎡
- H5年完成　準耐火建築物　43.20㎡
- H25年完成　準耐火建築物　9.45㎡
- R1年完成　準耐火建築物　9.03㎡
- R2年完成　準耐火建築物　16.00㎡

建物概要			
用途	学校	面積	202.60㎡
耐火要求	準耐火建築物	最高高さ	4150mm
階数	1階	軒高	3850mm
構造	RC造　一部S造		

面積算定			
給食室（西）	①	11.400×8.330=94.96	94.962㎡
給食室（東）	②	3.600×5.630=20.26	20.268㎡
給食室	③	3.610×4.000=14.44	14.44㎡
ワゴンプール-1	④	7.190×4.000=28.76	28.76㎡
食品庫	⑤	2.700×2.700=7.29	7.29㎡
WC	⑥	900×1.350=1.21	1.215㎡
前室	⑦	900×1.350=1.21	1.215㎡
検収室	⑧	2.700×3.500=9.45	9.45㎡
給食洗浄室	⑨	3.610×2.500=9.025	9.03㎡
ワゴンプール-2	⑩	6.400×2.500=16.00	16.00㎡
合計			202.63㎡
給食休憩室	⑪	5.510×2.435=13.41	13.41㎡
合計			13.41㎡
調理員用トイレ	⑫	2.000×3.400	6.8㎡
合計			6.8㎡

凡例

H24年申請時からの追加面積

消防法上の有　無窓階のチェック				
階数	必要開口	有効開口	有効開口面積	判定
1階	6.76㎡	AW-6：0.85×1.20=1.02　AW-13：0.8×1.08×2=1.72 AD-1：1.71×1.97=3.36　AW-12：0.8×1.08=0.86　1.02+3.36+1.72+0.86=6.96	6.96㎡	OK

火気使用室換気計算書

部屋名	面積（㎡）	天井高（m）	容積（m3）
給食室（改修後）	183.44	2.15～3.00	505.33

番号	厨房機器名	台数	ガス消費量 kW（Q）	理論廃ガス量（K）	換気装置別定数	必要換気量 m3/	換気機器風量 m3/h	備考
①	スチコン（TSCO-20GDC）	1	65.1	0.93	40	2,422		
②	回転釜（GHS-30）	2	37.2	0.93	40	2,768	3,700×3台 =11,100	フード（3,500×1,500×800×3）あり
③	回転釜（GHS-32）	3	50	0.93	40	5,580		換気量は既設図面参照
④	ガスコンロ	1	12.2	0.93	40	454		
⑤	食器洗浄機（AEN2-3NU）	1	46.6	0.93	40	1,734	1，900	フード（2，200×1,200×500H）あり II工事にてストレートシロッコファン設置
							1，200	居室換気用I期工事にて設置
					合計	12，957	14,200	

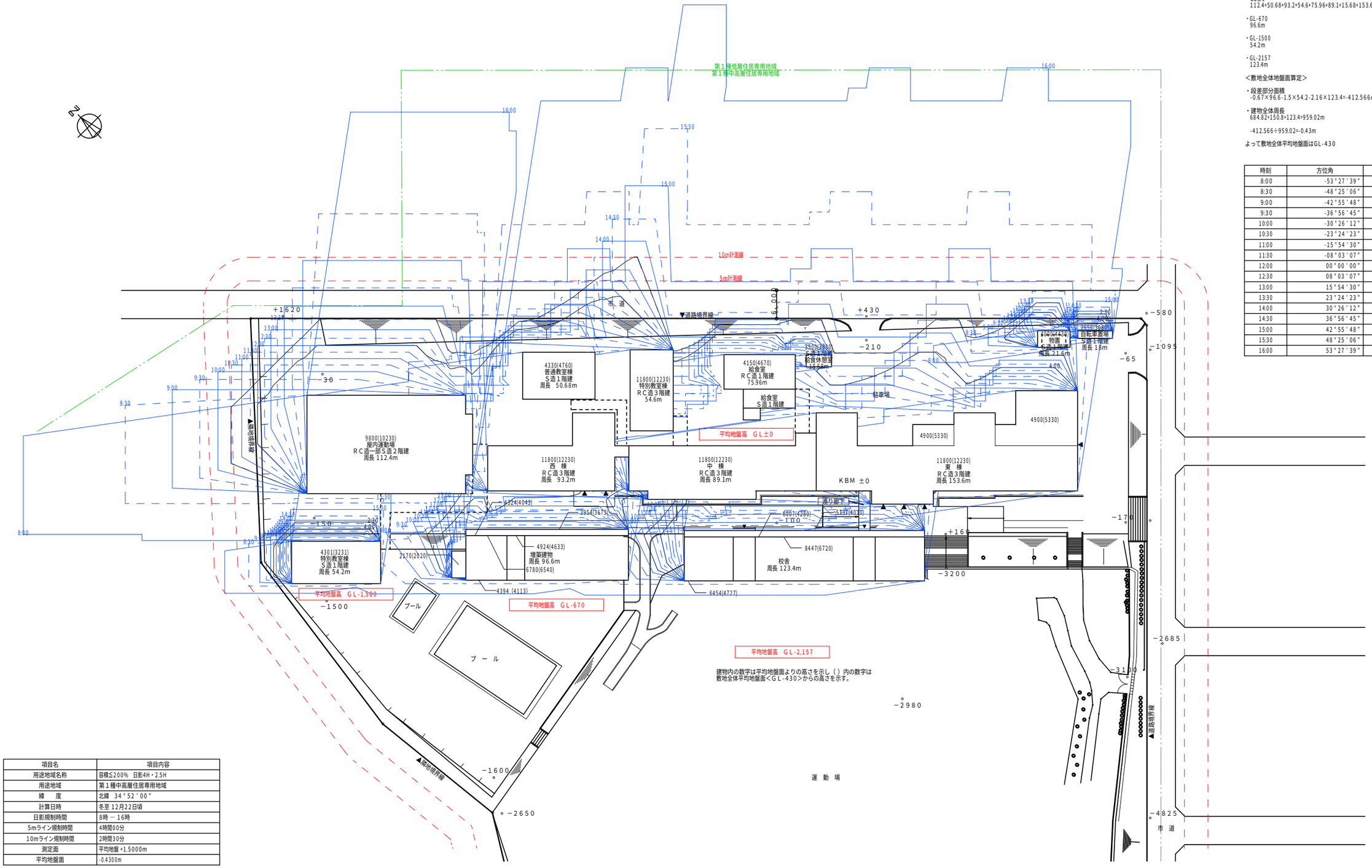
採光・換気・排煙計算書

室名	室床面積	必要面積 採光 1/20	必要面積 換気 1/20	必要面積 排煙 1/50	実質窓面積(建具表より)	判定	備考(緩和)
給食室（西） 給食室（東） 給食室 給食洗浄室	138.68㎡	6.94㎡			AW-8：（1.55×1.10+0.77×1.10）×2=5.10㎡ AW-9：（0.77×1.10）×2=1.69㎡ AW-10：1.70×0.80=1.36㎡　計 8.15㎡≧6.94㎡	OK	
			6.94㎡		AW-1：0.77×1.10=0.84㎡　AW-4：0.6×0.9= 0.54㎡ AW-8：0.77×1.10×2= 1.69㎡　AW-11：0.6×1.08=0.64㎡ AW-10：0.85×0.8= 0.68㎡　計 4.39㎡≦6.94㎡	NG	換気計算（自然）を全ての建具で行い結果NGとし、機械換気による
ワゴンプール-1	44.76㎡	2.24㎡			AD-2：2.57×1.97=5.06㎡　計 5.06㎡≧2.24㎡	OK	
ワゴンプール-2			2.24㎡		AD-2：1.28×1.97=2.52㎡　計 2.52㎡≧2.24㎡	OK	
機械換気計算表	284.88+54.70+36.9+19.39+73.49+34.40=503.76m3/h 503.76m3/h×0.3回=151.13m3/h　≦1200m3/h				居室の必要換気量（V=20Af/N） 138.68m²×20m3/h・人÷3m²=924.5m3/h　≦1200m3/h	OK	（株）三菱電機 形名　EX-30RH7 風量　1200m3/h

外部仕上表 S53新築部分		H5年増築部分	H25年度増築部分	R1年度I期工事部分	R2年度II期工事部分	R2年度II期工事部分（調理員用トイレ）
外壁	モルタル刷毛引アクリル系リシン吹付	センチュリーボード厚14 （横貼りスタッコ調三井木材同等品以上） 防火材444号　アスファルトフェルト17kg下地	木質系繊維混入セメント珪酸カルシウム板 厚16塗装品　横張り金物工法	窯業系サイディングボード 横張り金具留め（通気工法） 防火構造（不燃下地）PC030BE-9202	窯業系サイディングボード 横張り金具留め（通気工法） 防火構造（不燃下地）PC030BE-9202	窯業系サイディングボード 横張り金具留め（通気工法） 防火構造（不燃下地）PC030BE-9202
屋根	露出屋根防水SC-515（8層） アスファルト防水シルバー仕上 下地均シモルタル厚25	カラー鋼板厚0.6ルーフデッキ（三晃金属同等品以上） 裏打ち断熱：ポリエチレンフォーム厚4 （東レペフ同等品以上）勾配3/100 軒先鼻隠し：カラー鋼板厚0.6パネル加工	重ね折板屋根タイトフレーム留88型 ガルバリウム鋼板　厚0.6	アルミ亜鉛合金めっき鋼板（ガルバリウム鋼板）　厚0.6 ルーフデッキ（三晃金属同等品以上） 裏打断熱材：無機質高充填フォーム プラスチック系断熱材　FP030RF-0552	アルミ亜鉛合金めっき鋼板（ガルバリウム鋼板）　厚0.6 ルーフデッキ（三晃金属同等品以上） 裏打断熱材：無機質高充填フォーム プラスチック系断熱材　FP030RF-0552	アルミ亜鉛合金めっき鋼板（ガルバリウム鋼板）　厚0.6 ルーフデッキ（三晃金属同等品以上） 裏打断熱材：無機質高充填フォーム プラスチック系断熱材　FP030RF-0552
内部仕上表						
床	モルタルコテミガキ下地 デッキメント仕上	モルタル金ゴテ仕上　耐摩耗耐衝撃性 モルタル床仕上材　（美州興産セラレヅンEM同等品以上）	2液系エポキシ樹脂塗装厚膜タイプ平滑仕上	防滑工法　薄膜型エポキシ樹脂系防塵塗料 （ケミクリートEPカラー同等品）	防滑工法　薄膜型エポキシ樹脂系防塵塗料 （ケミクリートEPカラー同等品）	防滑工法　薄膜型エポキシ樹脂系防塵塗料 （ケミクリートEPカラー同等品）
壁	モルタルコテミガキ　AVP 一部モルタル刷毛　石綿吹付押工厚2	LGS下地フレッキシブルボード 厚6　不燃材1001号	軽鉄下地耐水P.B.厚12.5EP塗	内壁:耐水P.B.厚12.5 EP塗　軽鉄下地 腰壁:耐水P.B.厚12.5の上化粧ケイカル板6t　アルミ見切	内壁:耐水P.B.厚12.5 EP塗　軽鉄下地 腰壁:耐水P.B.厚12.5の上化粧ケイカル板6t　アルミ見切	内壁:耐水P.B.厚12.5 EP塗　軽鉄下地
天井	アスベスト厚6スカシ アクリル系リシン吹付	LGS下地　石綿ケイ酸カルシウム板厚6不燃材1001号 目透し貼りアクリルリシン吹付	軽鉄下地P.B.厚9.5EP塗	ケイ酸カルシウム板厚6 EP塗装　軽鉄下地	ケイ酸カルシウム板厚6 EP塗装　軽鉄下地	ケイ酸カルシウム板厚6 EP塗装　軽鉄下地

株式会社　中部都市建築設計事務所
TEL:059-226-0139FAX:059-226-5115
1級建築士登録番号　143379　伊藤　公
1級建築士登録番号　317976　太田　武志

日付	工事名	縮尺	設計番号
2020.2.12	井田川小学校校舎増築等工事		
	図面名：給食室棟ワゴンプール、調理員用トイレ棟 法規チェック図・面積表	A3:1/100	図面番号 A－57



<各地盤面における建物周長>

・GL±0
112.4+50.68+93.2+54.6+75.96+89.1+15.68+153.6+21.6+18=684.82m

・GL-670
96.6m

・GL-1500
54.2m

・GL-2157
123.4m

<敷地全体地盤面算定>

・段差部分面積
-0.67×96.6-1.5×54.2-2.16×123.4=-412.566㎡

・建物全体周長
684.82+150.8+123.4=959.02m

-412.566÷959.02=-0.43m

よって敷地全体平均地盤面はGL-430

時刻	方位角	日影倍率
8:00	-53°27'39"	6.6427
8:30	-48°25'06"	4.2171
9:00	-42°55'48"	3.1252
9:30	-36°56'45"	2.5134
10:00	-30°26'12"	2.1337
10:30	-23°24'23"	1.8887
11:00	-15°54'30"	1.7340
11:30	-08°03'07"	1.6479
12:00	00°00'00"	1.6202
12:30	08°03'07"	1.6479
13:00	15°54'30"	1.7340
13:30	23°24'23"	1.8887
14:00	30°26'12"	2.1337
14:30	36°56'45"	2.5134
15:00	42°55'48"	3.1252
15:30	48°25'06"	4.2171
16:00	53°27'39"	6.6427

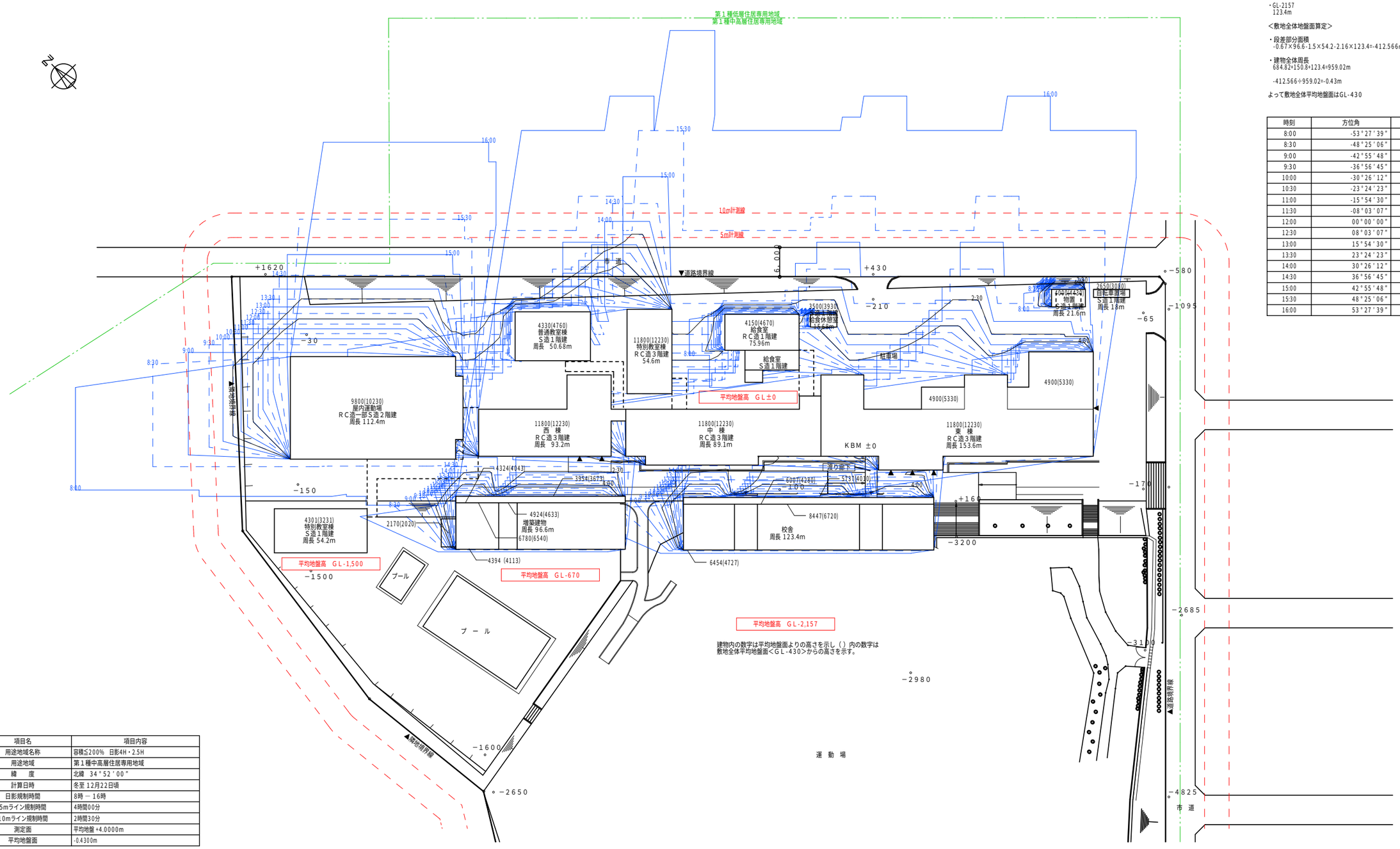
項目名	項目内容
用途地域名称	容積≦200%　日影4H・2.5H
用途地域	第１種中高層住居専用地域
緯　　度	北緯　34°52'00"
計算日時	冬至 12月22日頃
日影規制時間	8時 － 16時
5mライン規制時間	4時間00分
10mライン規制時間	2時間30分
測定面	平均地盤 +1.5000m
平均地盤面	-0.4300m

株式会社 中部都市建築設計事務所
TEL：059-226-0139 FAX：059-226-5115
1級建築士登録番号 143379　伊藤　公
1級建築士登録番号 317976　太田　武志

日付	
2020.2.12	

工事名	設計番号
井田川小学校増築工事	

図面名	縮尺	図面番号
日影図-1（測定面1.5m）	A3:1/800	A-58



＜各地盤面における建物周長＞

・GL±0
112.4+50.68+93.2+54.6+75.96+89.1+15.68+153.6+21.6+18=684.82m

・GL-670
96.6m

・GL-1500
54.2m

・GL-2157
123.4m

＜敷地全体地盤面算定＞

・段差部分面積
-0.67×96.6-1.5×54.2-2.16×123.4=-412.566㎡

・建物全体周長
684.82+150.8+123.4=959.02m

-412.566÷959.02=-0.43m

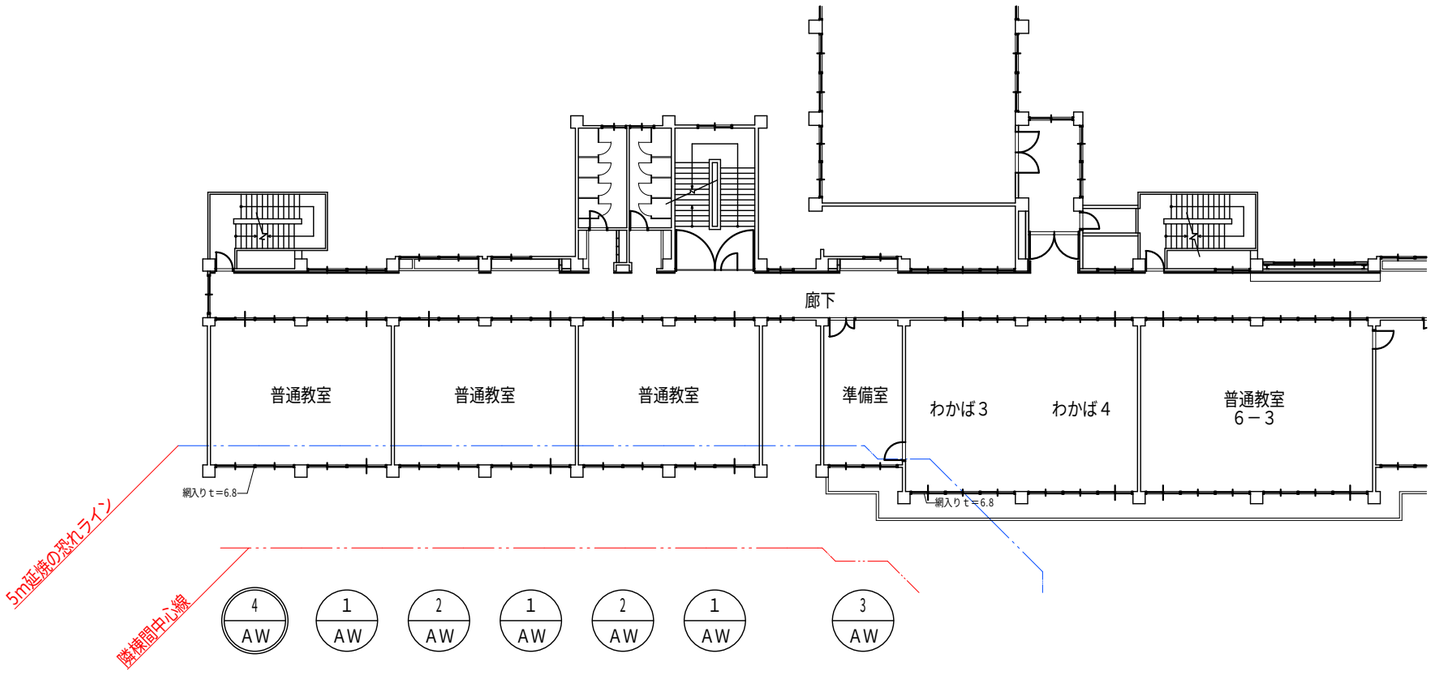
よって敷地全体平均地盤面はGL-430

時刻	方位角	日影倍率
8:00	-53°27'39"	6.6427
8:30	-48°25'06"	4.2171
9:00	-42°55'48"	3.1252
9:30	-36°56'45"	2.5134
10:00	-30°26'12"	2.1337
10:30	-23°24'23"	1.8887
11:00	-15°54'30"	1.7340
11:30	-08°03'07"	1.6479
12:00	00°00'00"	1.6202
12:30	08°03'07"	1.6479
13:00	15°54'30"	1.7340
13:30	23°24'23"	1.8887
14:00	30°26'12"	2.1337
14:30	36°56'45"	2.5134
15:00	42°55'48"	3.1252
15:30	48°25'06"	4.2171
16:00	53°27'39"	6.6427

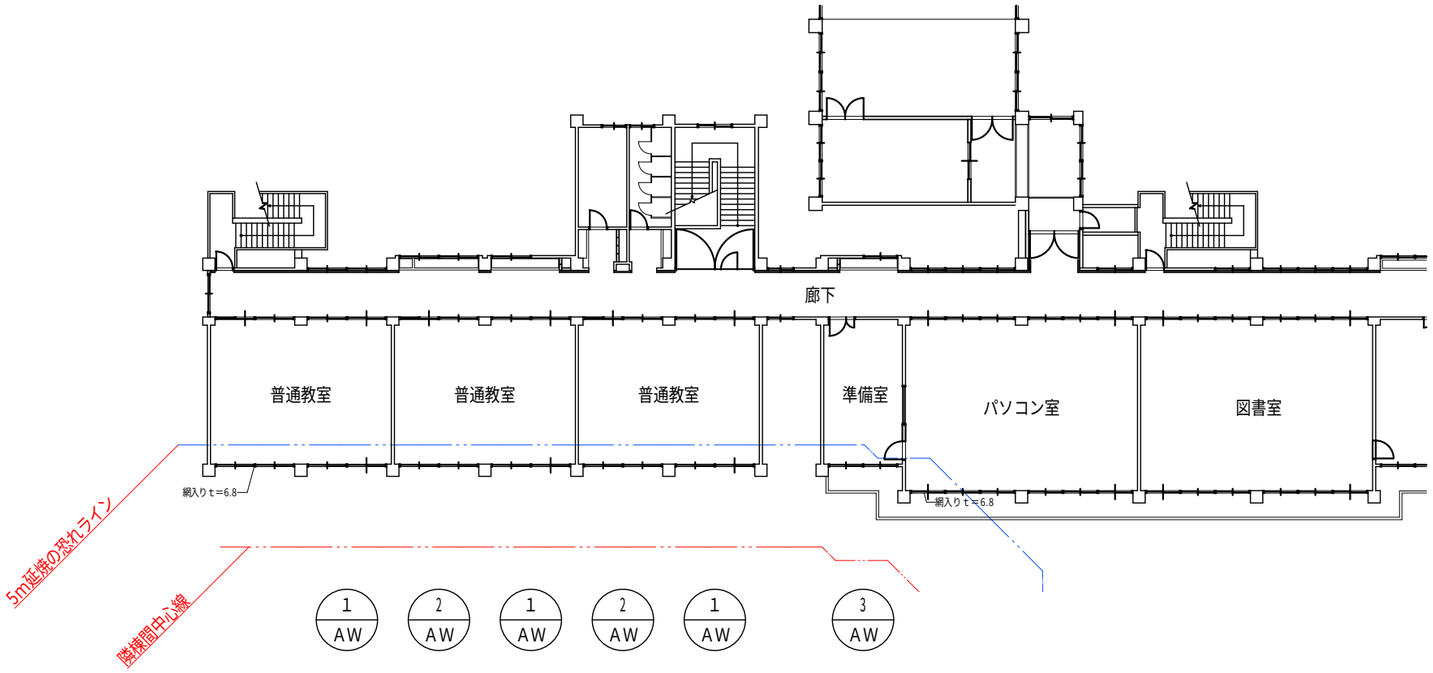
項目名	項目内容
用途地域名称	容積≦200%　日影4H・2.5H
用途地域	第１種中高層住居専用地域
緯　　度	北緯　34°52'00"
計算日時	冬至 12月22日頃
日影規制時間	8時 － 16時
5mライン規制時間	4時間00分
10mライン規制時間	2時間30分
測定面	平均地盤 +4.0000m
平均地盤面	-0.4300m

株式会社 中部都市建築設計事務所
TEL：059-226-0139 FAX：059-226-5115
1級建築士登録番号 143379　伊藤　公
1級建築士登録番号 317976　太田　武志

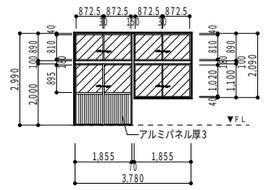
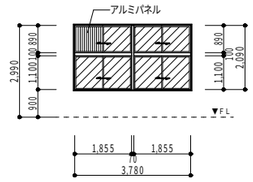
日付	工事名	設計番号
2020.2.12	井田川小学校増築工事	
	図面名：日影図-2（測定面4.0m）	縮尺：A3:1/800
		図面番号：A-59

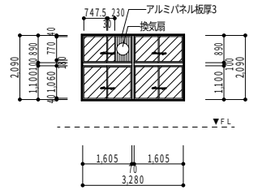
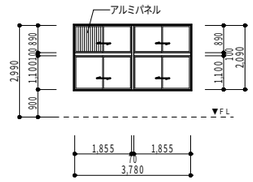


本校舎西棟２階キープラン



本校舎西棟3階キープラン

名　　称	1/AW　２連２段引違いガラス戸	2/AW　２連２段引違いガラス戸
取付箇所	普通教室	普通教室
姿　　図		
数　　量	6	4
見　　込	７０	７０
仕　　上	アルミ、アルマイト仕上	アルミ、アルマイト仕上
硝　　子	FL3→網入りガラスｔ＝6.8に取り替え	FL3→網入りガラスｔ＝6.8に取り替え
金　　物	戸車、クレセント、他金物一式	戸車、クレセント、他金物一式
備　　考	シーリング	シーリング

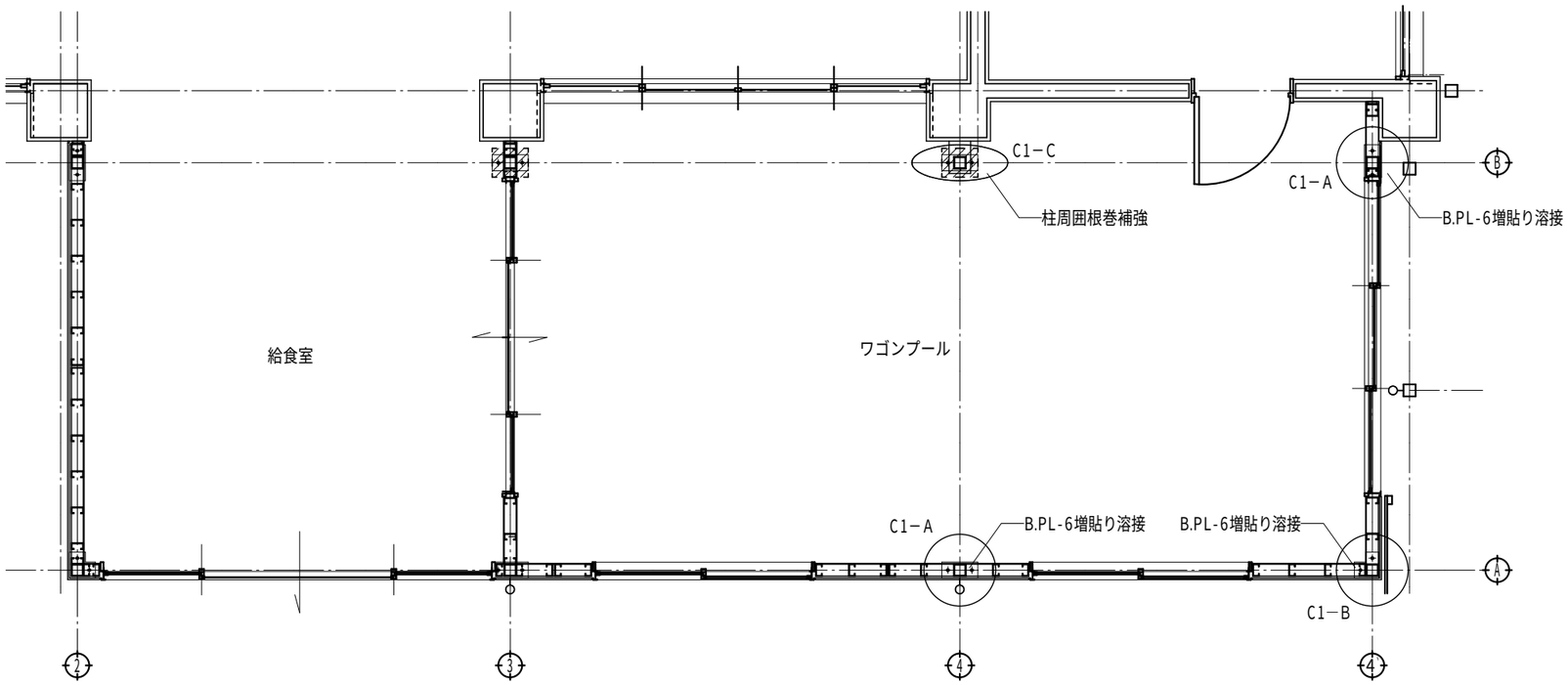
名　　称	3/AW　２連２段引違い窓	4/AW　２連２段引違いガラス戸
取付箇所	資料室	普通教室
姿　　図		
数　　量	2	2
見　　込	７０	７０
仕　　上	アルミ、アルマイト仕上	アルミ、アルマイト仕上
硝　　子	FL3→網入りガラスｔ＝6.8に取り替え	網入りガラスｔ＝6.8
金　　物	ＡＰ、ＡＦ	戸車、クレセント、他金物一式
備　　考	シーリング	シーリング

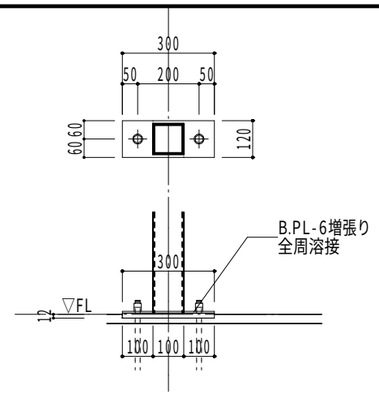
凡例

ハッチング部分ガラス取り替え

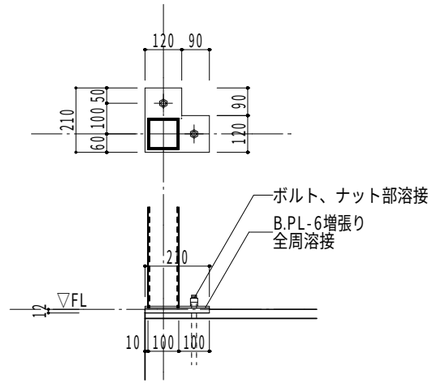
防火設備

株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号 143379 伊藤 公	工事名 井田川小学校校舎増築等工事		設計番号
日付 2020.2.12	1級建築士登録番号 317976 太田 武志	図面名 既存校舎建具キープラン・建具表	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 A－60

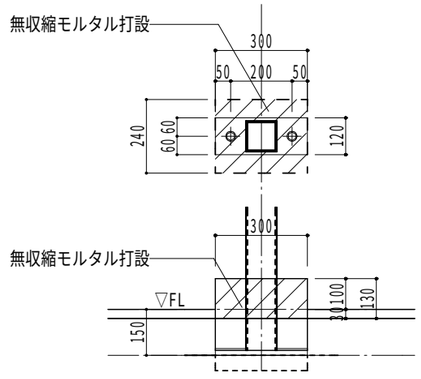




C１－A詳細図　S=1/20



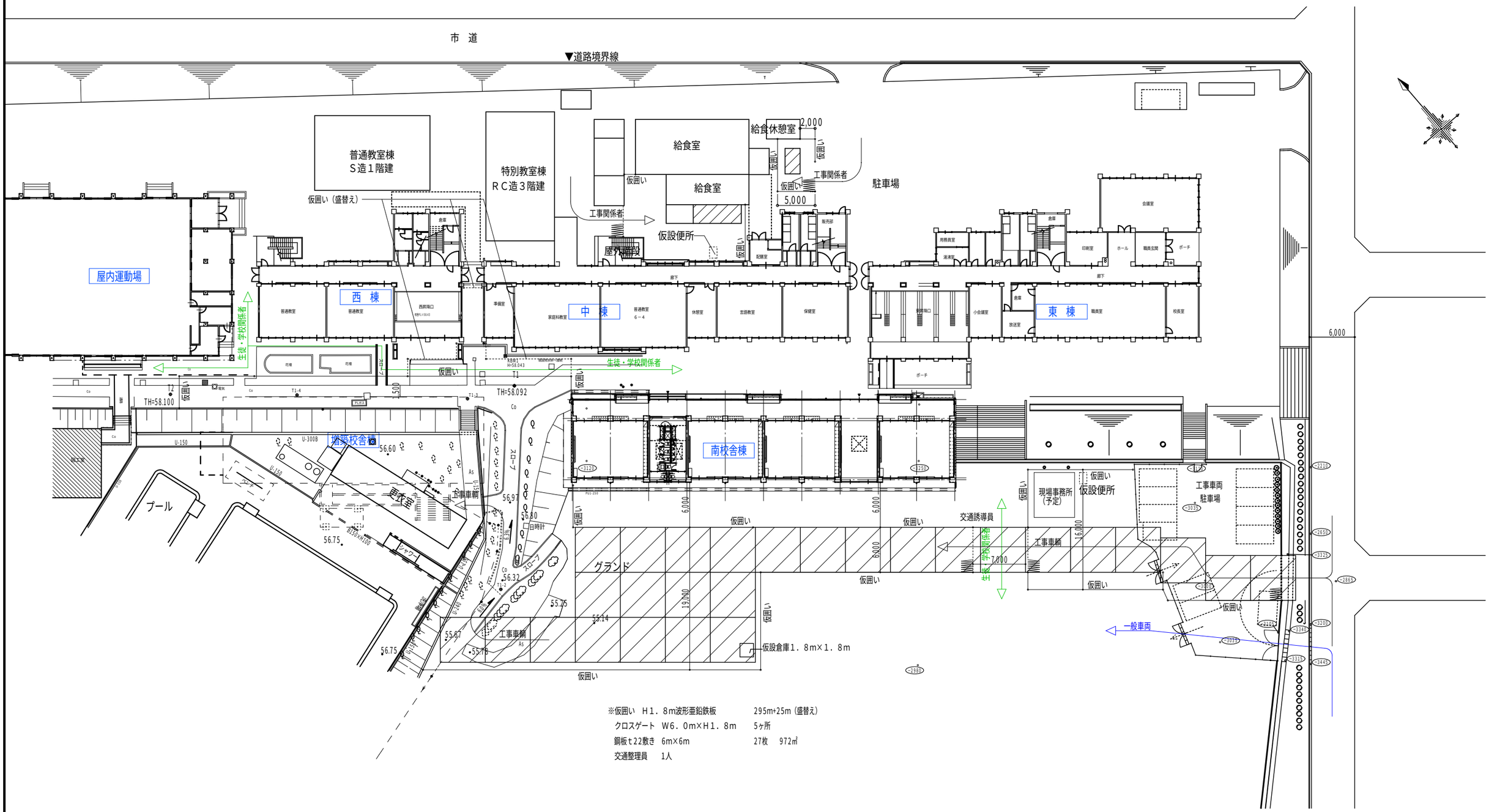
C１－B詳細図　S=1/20



C１－C詳細図　S=1/20

※工事着手前に監督職員と協議し施工方法をけっていること
※B通り部は特に注意すること

株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号 143379 伊藤 公	工事名 井田川小学校校舎増築等工事		設計番号
日付 2020.2.12	1級建築士登録番号 317976 太田 武志	図面名 プレート・根巻き改修図	縮尺 A3:1/50,1/20	図面番号 A－61



※仮囲い　H1．8m波形亜鉛鉄板　295m+25m（盛替え）
クロスゲート　W6．0m×H1．8m　5ヶ所
鋼板t22敷き　6m×6m　27枚　972㎡
交通整理員　1人

参 考 図

株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号 143379 伊藤 公	工事名 井田川小学校校舎増築等工事	設計番号
日付 2020.2.12	1級建築士登録番号 317976 太田 武志	図面名 校舎棟 仮設計画図	縮尺 A3:1/500 / 図面番号 A－62

Ⅰ．工事名　　井田川小学校校舎増築等工事

Ⅱ．工事概要
1　工事場所　　三重県亀山市みどり町52番地
2　敷地面積　　26,741.55m2
3　工事内容
構　　造：鉄骨造
建築面積：　83.25m2
延　面　積：　83.25m2
工事項目：解体工事

Ⅲ．解体工事仕様
1　共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、三重県公共工事共通仕様書、建築物解体工事共通仕様書（平成24年版）、建築工事における建設副産物管理マニュアル・同解説（平成18年版）による。
2　特記仕様
1)　項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2)　特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
特記事項に記載される内容が複数ある事項については○印の付いたものを適用し※印の付いたものは適用しない。

Ⅱ　建築工事仕様

1．共通仕様
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書(平成24年版）」（以下、「解体共通仕様書」という。）による。
ただし，「解体共通仕様書」に記載されていない事項は，「公共建築工事標準仕様書（平成28年版）」(以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書(平成28年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。
なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。

2．特記仕様
1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。
2）特記事項は、・印のついたものを適用する。・印のつかない場合は※印のついたものを適用する。・印と※印のついた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の［　］、（　）及び<　>内の表示番号は、それぞれ「解体共通仕様書」、「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

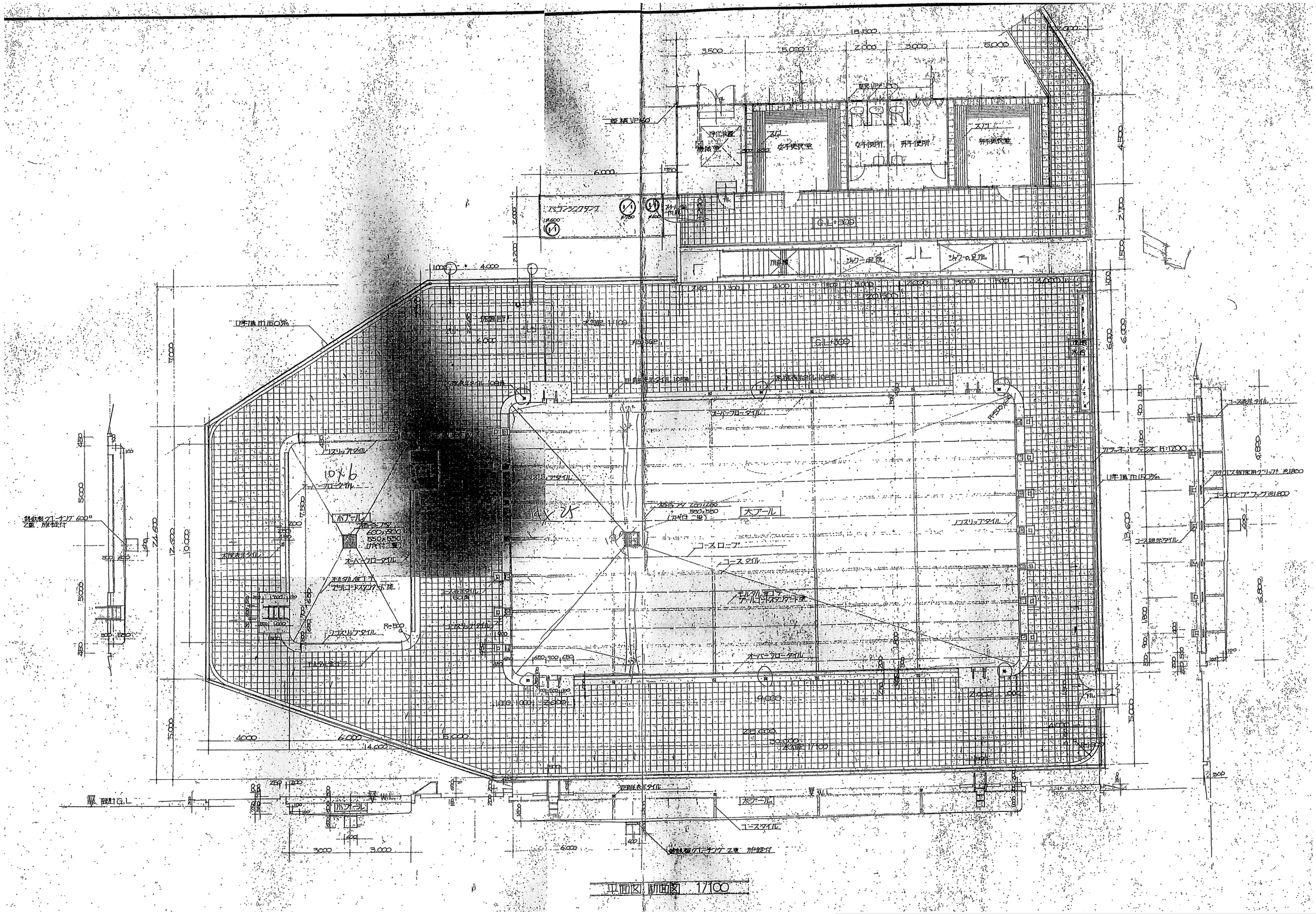
章	項目	特記事項
1 一般共通事項	① 適用基準	※産業廃棄物については、「廃棄物の処理及び清掃の関する法律」、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」及び「三重県副産物処理基準」に基づき適正に処理すること。
	2．工事実績情報の登録等	・請負者は受注時において工事請負代金額が500万円以上の工事について（財）日本建設情報総合センター（以下「JACIC」)という。）が運営する工事実績情報サービス(CORINS)に、「CORINS入力システム」により当該工事に係るデータ登録を行わなければならない。データ登録は、受注時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、契約後10日以内にJACICに対し登録申請を行い、JACICから「工事カルテ受領書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。 なお、工事請負代金額が2500万円以上の工事の場合は、受注時に加えて、変更及及び完成時においても同様に「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、登録内容の変更時にあっては、変更があった日から10日以内に、完成時にあっては、工事完成後10日以内にJACICに登録申請しなければならない。ただし､変更時と完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。 ・請負者は、下請負に付する場合は、別に定める三重県建設工事執行規則施工に関し必要な書類に様式を定める要綱に従い、部分下請通知書を監督員に提出しなければならない。 ・請負者は、工事を施工するために締結した下請契約の請負代金額(当該下請契約が二以上ある時は、それらの請負代金額の総額)が3,000万円以上になるとき施工体制台帳を作成し、工事現場に備えると共に、別に定める様式により監督員に提出しなければならない。 ・請負者は、各下請者の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し工事現場の見やすい場所に掲げなければならない。また、請負者は、施工体系図を別に定める様式により提出しなければならない。
	③ 発生材の処理等	・引渡しを要するもの（　　） ・特別管理産業廃棄物　※有(　　)　・無 処理方法(　　) ・現場において再利用を図るもの(　　) ⊙再生資材の利用を図るもの ⊙アスファルトコンクリート塊 ⊙セメントコンクリート塊 ・建設発生木材 ・引渡を要するもの、再生資源の利用を図るものについては調書作成し監督員へ提出すること。 ⊙引渡を要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適切処理し、監督員に報告する。（マニフェストA、B２、D票を提示し、E票は、写しを提出すること。）

4．建設副産物情報交換システム利用	※請負者は受注時において延べ面積が80㎡以上かつ500万円以上の解体工事については、工事着手前に「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を監督員に提出する。また、工事完了後にはJACIC（（財）日本建設情報総合センター）が運用する「建設副産物情報交換システム」へ実績報告を行うこと。
⑤ 三重県産業廃棄物税	※本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、請負者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の４月１日から８月３１日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。　なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。
⑥ 疑義	※設計図書に明記のない場合、または、疑いを生じた場合は、監督員と協議しその指示を受けてから施工すること
⑦ 工事時期	※土曜日、日曜日、祝日は休日とし、作業時間は原則として午前８時30分から午後５時までとする。
⑧ 危険災害の防止	※工事期間中、現場内入場者、近隣居住者および周辺建物に危害を与えぬよう注意すること。万一、紛争が生じた場合は、請負者が誠意をもって解決すること。 ※重機搬出入時、発生材搬出時、仮設材搬出入時には交通整理のための誘導員を配置すること。
⑨ 工事進入路	※重機搬出入、産業廃棄物搬出経路については、事前に施工計画書を提出し監督員の承認を得ること。また、工事現場から搬出入する土砂により工事用進入路を汚した場合は速やかに清掃を行うこと。
⑩ 工事写真	※着工前：解体建物・敷地周辺・付近道路・工作物の撮影を行うこと。 ※工事中：随時撮影を行うほか、監督員の指示による。 ※上記すべてｶﾗｰｻｰﾋﾞｽ版で一部提出すること。
⑪ 完成写真	※台紙貼り１部（ｶﾗｰｻｰﾋﾞｽ版） ※全景写真のほか、監督員の指示による。
⑫ 電子納品	・工事写真は三重県ＣＡＬＳ電子納品マニュアル、デジタル写真管理情報基準（案）に基づき納品すること。 (提出部数　※２部　・　　部) ・工事完成図書については、工事完成図書電子納品要領（営繕版）に基づき電子納品すること。 (提出部数　※２部　・　　部)
⑬ 事故報告	※工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに事故発生報告書（三重県公共工事共通仕様書第13号様式）を監督員に速やかに提出すること。また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況、聴取、調査、検証等に協力すること。
⑭ 提出書類	※施工計画書、仮設計画書、工事写真、工事日報、マニフェスト(Ｅ票)の写し､その他監督員の指示するものとする。
⑮ 産業廃棄物	※施工計画書には、工事現場から産業廃棄物処理場までの運搬経路、産業廃棄物処理契約書の写し、産業廃棄物収集運搬業者及び産業廃棄物処理業者許可書の写し、その他監督員の指示するものを添付すること。
16．電気保安技術者	・適用する　　・適用しない　[1.3.3]

2 仮設工事	1．仮囲い	・設ける　(位置、延長等は図示) ・万能鋼板　(H=　　)　・波形鉄板　(H=1800 mm　) ・単管シート (H=　　)　・防音シート (H=　　) ・防音パネル (H=　　) ・パネルゲート　(W=　　H=　　)×　　箇所 ・シートゲート　(W=　　H=　　)×　　箇所 ・クロスゲート　(W=6000mm　H=1800mm　)×　5　箇所
	2．騒音、防塵等の対策	・設ける（適用範囲、高さ等は図示)　[2.2.1] ・防音パネル　・防音シート ・設けない
	3．交通誘導員	・配置する（　1日　×　1人　＝　1人日)　・配置しない
	4．監督職員事務所	・設ける 既存建物内の一部を使用する。 ・構内に新設する　(規模　　内程度) ・備え付ける備品　(　　) ・設けない
	5．工事用水	構内既存の施設　※ 利用できる（※ 有償　・無償) ・利用できない
	6．工事用電力	構内既存の施設　※ 利用できる（※ 有償　・無償) ・利用できない
	7．工事用通路	・指定しない　・指定する（図示)
	8．足場その他	内部足場　・脚立、足場板等　・　　<2.2.1> 外部足場　※ Ａ種　施工個所面に枠組足場を設ける。 ・Ｂ種　施工個所面にくさび緊結式足場を設ける。 Ｃ種　仮設ゴンドラを使用する。 ・Ｄ種　移動式足場を使用する。 ・図示による 防護シート　・設ける　(・　防音シート　・　その他) ・設けない 材料の運搬　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　　<表2.2.1> ※ Ｄ種　・Ｅ種 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月策定）」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。
	9．その他	・酸素・アセチレン・軽油等の危険物は所定の位置に施錠できる小屋等に保管すること。 ・作業通路は，指定通路表示を行い，足場等の堅固なもので頭上の保護を行うこと。 ・建物周辺は，粉塵防止や火災発生に備えて散水を行うこと。 ・工事に関係部分の出入の表示を行うこと。
3．解体施工	① 解体工法	※　解体工法は，低振動・低騒音型の機械器具等の選定を心がけ，防音シートや散水等により騒音・振動の減少、粉塵の防止に努めること。 ※　解体方法及び手順は，「分別解体等に係る施工方法に関する基準（建設リサイクル法規則第２条）」による。
	② 施工計画書等	[1.2.1，2] 工程表・施工計画書・仮設計画書等は，工事契約後速やかに監督職員に提出し，承諾を得ること。
	3．杭	杭の解体　[3.9.2] ・行う　(※杭頭から　　mまで　　・全長　)
		杭の解体工法 ・引き抜き工法（・振動　・ケーシング　・　　) ・粉砕による解体
	④ 樹木等	樹木の伐採伐根及び移植　[3.10.1] ⊙ 行う　(　／　図による)
	⑤ 地下埋設物の埋設配管	地下埋設物及び埋設配管の解体　[3.11.1] ⊙ 行う　(　／　図による)
	⑥ 解体後の整地	解体後の埋戻し及び盛り土　[3.12.1] ・行う 埋戻し及び盛土の材料　(3.2.3)(表3.2.1) ・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 ・構造物撤去等により自現場で発生するコンクリート塊を現場内で破砕したもの（粒径４０mm以下）を使用する。 埋戻し範囲　・図示による Ｃ種の場合 建設発生土受入量　　m3 発生場所 受入条件 整地の高さ　・現状ＧＬ ・図示（　／　図による)

3 建設廃棄物の処理	1．再資源化等	[4.4.1(a)(b)] 建設廃棄物の種類 / 中間処理施設又は再資源化施設の名称等 / 所在地（km） ・コンクリート ・コンクリート及び鉄から成る建設資材 ・アスファルト、コンクリート ・木材 ・金属類 ・小型二次電池 [4.4.1(c)] 建設廃棄物の種類 / 再資源化の有無 / 再資源化施設の名称等 / 所在地（km） ・蛍光ランプ HIDランプ　・する ・しない ・硬質塩化ビニル管・継手　・する ・しない ・ガラス　・する ・しない 現場利用する再資源化された建設廃棄物　[4.4.1(f)] 種　類 / 利用する場所(箇所)等 ※ 鉄筋コンクリートを現地で破砕し，再生材クラッシャラン（0～40）として利用する場合は，標準仕様書(表22.3.1)の再生材クラッシャランによることとし，すりへり減量を50%以下にすること。
	2．産業廃棄物広域認定制度の活用	[4.4.2] 種　類 / 所在地等（km）
	3．最終処分	・（安定型）　[4.4.4] 種　類 / 受入施設名称等 / 所在地(Km) / 備考 ・（管理型）（遮断型） 種　類 / 受入施設名称等 / 所在地(Km) / 備考 １～３の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。 また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること
	4．処分に注意を要する建設廃棄物	[4.5.1] 種　類 / 処理施設名称等 / 所在地(Km) / 備考 ・CCA処理木材 ・ヒ素又はカドミウム含有石膏ボード <対象となる石膏ボード> 小名浜吉野石膏（株）　いわき工場　昭和48年10月～平成9年4月の間に製造されたもの 日東石膏ボード（株）　八戸工場　平成4年10月～平成9年4月の間に製造されたもの
5 特別管理産業廃棄物の処分等	1．施工調査	[5.1.2] 材　料　名 / 仕様等（型式、厚さ、数量） / 調査の範囲 ※ 図示 ・ 工事対象範囲
	2．特別管理産業廃棄物等の処理及び回収計画	[5.1.3][1.2.2(a)][5.4.1] ※ 種類別に具体的な処理、回収計画を定め施工計画書に記載する。 特別管理産業廃棄物の種類 / 処分場の名称 / 所在地等（km）
	3．PCBを含む機器類等	PCB（ポリ塩化ビフェニール）含有機器　・有（数量：　）　[5.4.3] ・無 PCB含有シーリング材　・有（施工範囲は図示）[5.4.4] ・無 PCBを含有する機器等については、飛散、流出がないように適切な容器に納め、適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す。
	4．廃油	・熱源の残油の処理（オイルタンク及び配管内含む）　[5.4.5] ・タンク内部の清掃　行う
	5．廃酸 廃アルカリ	・臭化リチウム改修、破壊処理　[5.4.6] 対象機器（　　）
	6．ダイオキシン類	回収・処理方法　※図示による　[5.4.7]

株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号 143379 伊藤 公	工事名 井田川小学校校舎増築等工事	設計番号
日付 2020.2.12	1級建築士登録番号 317976 太田 武志	図面名 解体特記仕様書 / 縮尺 A3:1/100 A3:1/200	図面番号 A－63



平面図 断面図 1/100

株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115	1級建築士登録番号 143379 伊藤 公	工事名 井田川小学校校舎増築等工事	設計番号
日付 2020.2.12	1級建築士登録番号 317976 太田 武志	図面名 既設解体建物（参考図）- 1	縮尺 A3:1/100 A3:1/200 / 図面番号 A－64